

# 平成 26 年度事業報告

社会福祉法人ゆうかり学園

## 1、評議員会・理事会の開催状況

本年度は、下記のとおり評議員会及び理事会を開催した。

第一回評議員会 平成 26 年 5 月 28 日（火）

評議員 13 名中 11 名出席

第一号議案 平成 25 年度事業報告（案）審議の件について

第二号議案 平成 25 年度決算報告（案）審議の件について

第三号議案 監事監査報告の件について

第四号議案 千歳療護園移転新築工事関係について

①千歳療護園の定員変更、第二千歳療護園の新設について

②千歳療護園、第二千歳療護園の竣工（7 月 31 日予定）に伴い  
登記、定款変更（基本財産への編入）等の一連の手続きに  
ついて

③診療所（千歳療護園）の閉鎖について

④工事進捗状況報告

第一回理事会 平成 26 年 5 月 28 日（水）

理事 6 名中 6 名出席 監事 2 名中 1 名出席

第一号議案 平成 25 年度事業報告（案）審議の件

第二号議案 平成 25 年度決算報告（案）審議の件について

第三号議案 監事監査報告の件について

第四号議案 千歳療護園移転新築工事関係について

①千歳療護園の定員変更、第二千歳療護園の新設について

②千歳療護園、第二千歳療護園の竣工（7 月 31 日予定）に伴い  
登記、定款変更（基本財産への編入）等の一連の手続きに  
ついて

③診療所（千歳療護園）の閉鎖について

④工事進捗状況報告

- 第五号議案 平成 26 年度（平成 27 年度事業）  
共同募金配分申請について
- 第六号議案 久留米市より改善指導に対する回答書について
- 第七号起案 その他の件

第二回評議員会 平成 26 年 12 月 12 日（金）

評議員 13 名中 12 名出席

- 第一号議案 平成 26 年度当初予算（案）【第二千歳療護園】  
平成 26 年度第一次補正予算（案）  
【法人法部、ゆうかり医療療育センター、コアラ園  
耳納学園、千歳療護園】審議の件について
- 第二号議案 積立金の取り崩しについて
- 第三号議案 千歳療護園移転新築工事について・定款変更  
手続きについて
- 第四号議案 その他の件

第二回理事会 平成 26 年 12 月 12 日（金）

理事 6 名中 5 名出席 監事 2 名中 2 名出席

- 第一号議案 平成 26 年度当初予算（案）【第二千歳療護園】  
平成 26 年度第一次補正予算（案）  
【法人法部、ゆうかり医療療育センター、コアラ園  
耳納学園、千歳療護園】審議の件について
- 第二号議案 積立金の取り崩しについて
- 第三号議案 千歳療護園移転新築工事について・定款変更  
手続きについて
- 第四号議案 行政監査結果報告の件について
- 第五号議案 人事院勧告の件について
- 第六号議案 ゆうかり医療療育センターの賠償責任保険（医療型）  
加入の件について
- 第七号議案 J-VER クレジットの件について
- 第八号議案 ゆうかり医療療育センターの医療機器購入及び  
財務サーバー取り替えに伴うリース契約の件について
- 第九号議案 耳納学園車輛リース契約の件について
- 第十号議案 その他の件について

第三回評議員会 平成 27 年 3 月 2 日（月）

評議員 13 名中 12 名出席

- 第一号議案 平成 26 年度第二次補正予算（案）審議の件について
- 第二号議案 平成 27 年度事業計画（案）審議の件について
- 第三号議案 平成 27 年度当初予算（案）審議の件について
- 第四号議案 役員報酬（案）審議の件について
- 第五号議案 その他の件について

第三回理事会 平成 27 年 3 月 2 日（月）

理事 6 名中 6 名出席 監事 2 名中 1 名出席

- 第一号議案 平成 26 年度第二次補正予算（案）審議の件について
- 第二号議案 平成 27 年度事業計画（案）審議の件について
- 第三号議案 平成 27 年度当初予算（案）審議の件について
- 第四号議案 監査等指導内容及び改善報告について
- 第五号議案 施設長等の契約更新について
- 第六号議案 役員報酬（案）審議の件について
- 第七号議案 給食納入業者、洗濯業務委託業者選定及び契約の件について
- 第八号議案 その他の件について

2、平成 26 年度心身障害児者の施設利用状況

ゆうかり医療療育センターの利用状況は医療型障害児入所施設（定員 150 名）では延 10,194 名、一日平均 27.9 名、療養介護事業所（定員 150 名）では延 35,293 名、一日平均 96.7 名であった。入所率は 150 定員に対して 83.1%であった。短期入所では 30 名の利用があり、延利用日数は 587 回であった。一方、日中一時支援も 30 名の利用があり、延 468 回の利用があった。

コアラ園では、児童発達支援事業（定員 20 名）に対し延 2,268 名、一日平均 9.3 名が利用された。また、放課後等デイサービス事業（定員 10 名）では延 501 名、一日平均 2.05 名であった。

耳納学園においては、施設入所支援（定員 34 名）に対し、延 12,261 名の利用があり、一日平均 33.6 名、充足率は 98.8%、就労継続支援 B 型（定員 40 名）では、年間作業参加実績延 7,931 名、定員から見た充足率は、82.3%、一日平均作業参加実績利用者数は 32.9 名であった。

千歳療護園は 8 月より新築移転に伴い定員変更（施設の二分化）を行ったので例年と報告内容に差異が生じている。移転前の 4 月から 7 月までの状況とし

ては、生活介護（定員 90 名）が延 10,980 名で 96.1%の充足率、施設入所支援（定員 80 名）は延 9,760 名で、101.9%の充足率であった。ショートステイ利用者は延 36 名、日中一時の利用はなかった。

移転後の 8 月から 3 月の生活介護（定員 50 名）は延 10,908 名で 92.0%の充足率、施設入所支援（定員 40 名）は延 10,110 名で 106.0%の充足率であった。ショートステイ利用者は延 73 名、日中一時の利用はなかった。

8 月より新規に開設した第二千歳療護園の利用状況は、生活介護（定員 40 名）に対して延 9,740 名で 100.2%、施設入所支援（定員 40 名）は延 9,740 名で 100.2%の充足率である。ショートステイの利用者は延 30 名、日中一時の利用はなかった。

施設毎の事業報告の詳細は別紙の通りである。

### 3、大規模新築移転事業の完了

25 年度国庫補助事業であった千歳療護園移転新築及び第二千歳療護園新築工事は、全国的な工事関係人手不足等の影響から工期が大幅に遅れたが 7 月末に竣工することが出来た。平成 22 年度にスタートした一連の建築工事（第一期：法人本部及びゆうかり医療療育センター、第二期：コアラ園及び地域支援棟、第三期：耳納学園、第四期：千歳療護園及び第二千歳療護園）のすべてが完了した。尚、土地取得・造成、建築工事等の総費用 4,120,657,375 円に対し国庫補助（県・市負担を含む）1,493,325,000 円、福祉医療機構借入金 800,000,000 円、自己資金 1,827,332,375 円であった。

### 4、千歳療護園・第二千歳療護園落成式の挙

9 月 9 日落成記念式典を地域支援棟・地域交流ホールにて、昼食会を大研修室にて挙

行政関係、施設関係、地域代表者、利用者代表、保護者代表、及び法人役員約 100 名参加のもと開催し、半田・黒田特定建設工事共同企業体、DEN 建築設計事務所へ感謝状及び記念品を贈呈した。

### 5、賛助会員の状況

今年度は個人会員 137 名、4 団体が加入。年 3 回広報紙を送付した。また、温泉利用者数は延 3,936 名、（前年度 2,033 名）一日平均 42 名であった。

## 6、おぎゃー献金基金による車両整備事業

26年3月31日交付決定を受けた車両（トヨタレジアスウエルキャブ）の贈呈式が福岡県産科医会の総会に合わせ、平成26年6月23日福岡市八仙閣にて行われた。整備費総計4,848,200円、全額助成金にて整備した。

## 7、オリックス宮内財団社会貢献事業による福祉車両寄贈

全国肢体不自由児施設運営協議会の推薦により、公益財団法人オリックス宮内財団様より福祉車両をいただくことになり、トヨタハイエースを要望した。平成27年1月28日、オリックス財団およびオリックス福岡支店様にご来園いただき贈呈式を行った。車両価格3,257,430円であった。

## 8、利用者様のサービス向上に関する事項

苦情解決委員会をはじめとする各委員会活動を通じて、利用者様のサービスの向上、並びに職員の資質向上に努めた。

## 9、定例事業

### (1) 盆踊り・花火大会の開催

恒例の盆踊り花火大会は本年度で29回目を数え、平成26年7月24日(木)、田主丸町植木農業協同組合、福岡県緑化センターを主会場として開催した。

### (2) 運動会の開催

昨年度運動会に替えて開催した各施設でのお楽しみ会を本年も平成26年10月19日(日)にそれぞれで工夫をこらし開催した。保護者様によると昨年以上に好評であった。

### (3) 韓国瑞林福祉院との職員交流研修事業

本年は9月22日から25日まで当法人より5名（団長：海田一郎）が瑞林福祉院を訪問し、25日の帰国時に瑞林福祉院より5名（団長：林泰珉）が当法人を訪れ28日まで有意義な交流研修を行った。

(4) 耳納学園展示即売会

第8回目となる恒例の展示即売会を本年度は1月10日(金)から12日(祝)まで『ゆめタウン久留米 ウエストコート』にて開催したが、昨年同様に売り上げを伸ばすことが出来なかった。来年以降も同会場で開催するが、製品の見直し等を含め中・長期計画を策定し就労継続事業の向上を図っていきたい。

10、職員研修事業（園内）

(1) 外部講師による人権研修

(2) 新任職員研修

いずれも別添報告書の通り内容を進化させながら実施した。

11、委員会活動

苦情解決委員会はじめ各委員会活動を活発に行ってきた。各委員会からの報告は別添のとおりであった。

# 施設事業報告

- ゆうかり医療療育センター
- コアラ園
- 相談支援事業所 夢の紀
- 耳納学園
- 千歳療護園
- 障害者支援センター「ちとせ」
- 第二千歳療護園

## 医療部診療課 外来

### 《概況》

外来受診者の中で、入所前受診者は重症化の傾向にある。

療育前診察は昨年と同様、広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害、言語発達遅滞等の受診者が多く、1人あたりの診療時間を長く必要とする。

また、リハビリ実施計画書に基づく診察も行っているため、診療予約日を早めに設定し、診察がスムーズに出来るよう心掛けた。診察室は、5部屋で個室になり、プライバシーが守られ、より良い対応が出来たと思われる。

平成 26 年度 受診者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計	新患	71	59	50	61	61	45	38	42	27	77	48	51	630
	再来	895	988	1044	930	850	957	1009	1186 ※	837 ※	908	967	1089	11,660

※インフルエンザ予防接種者を含む

- ・インフルエンザの流行時期は予防対策として、外来者は受付で体温測定を行い、かぜ症状のある時はマスク着用をお願いし、医師に報告し対応した。
- ・入所者の重症化に伴い、ガス滅菌器の使用頻度が増加した。その準備時間とコストは増しているが、感染防止に欠くことはできない。



## 医療部診療課 エックス線

### 《概況》

一年間を通して、レントゲン業務は胸部が多い。その中でチューブ確認や胃瘻造影などの特殊な撮影もあり、おひさま寮ではポータブル撮影も多かった。整形外科的な撮影は、利用者様の緊張の度合いもあり、正確に2方向は撮れないものの、骨折などがわかるようにCR装置を駆使し、良い画像が得られている。

### 平成26年度 エックス線撮影件数

#### 一般撮影

(名)

月 病棟・外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
おひさま	28	35	29	30	38	45	31	24	28	22	26	19	355
なかよし	14	9	10	10	7	7	9	17	10	9	11	4	117
ともだち	15	12	6	10	11	6	2	2	9	9	5	3	90
外 来	18	31	18	22	12	14	21	16	80	19	25	27	303
合 計	75	87	63	72	68	72	63	59	127	59	67	53	865

#### CT

(名)

日 病棟・外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
おひさま	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
なかよし	0	0	0	1	0	0	2	1	0	2	1	0	7
ともだち	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	4
外 来	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1	7
合 計	1	0	2	2	1	1	5	3	2	2	1	1	21

- ・12月は35歳未満の職員健診のために外来が増加した。
- ・おひさま寮は、チューブ確認や胃瘻のための胸腹部の撮影が多かった。
- ・なかよし寮とともだち寮は、感染症のために月々の撮影にばらつきが多かった。
- ・CR撮影は、一定の時間を要することから、利用者様の体調によっては撮ることができないので、撮影件数は少ない。

## 医療部診療課 検査

### 《概況》

今年度は、利用者様と職員の健康診断用検査に関しては予定通り実施出来た。11月中旬、なかよし寮から始まり、ともだち寮・おひさま寮の利用者様に、ノロウイルス胃腸炎の感染拡大がみられた。2月に入りインフルエンザウイルス A 型の感染が利用者様をはじめ職員に流行した。従って、ノロウイルスとインフルエンザウイルスに対する感染予防策の重要性について、再確認することが出来た。

26年 月	健診用検査			白血球数・CRP	血液生化学	検尿・検便	血液ガス分析	心電図	脳波	腹部超音波	迅速診断	外注検査
	6カ月	誕生月	外部・入園時									
4	22	23	1	17	17	18	6	16	3	2	5	111
5	21	23	1	23	13	15	5	19	2	4	3	105
6	16	22	3	24	30	21	1	15	3	2	12	117
7	19	17	1	28	23	24	1	16	3	3	4	106
8	19	22	1	19	21	19	4	20	1	6	7	155
9	14	16	1	32	18	14	2	9	3	3	2	121
10	22	22	17	31	22	21	3	32	1	5	5	120
11	22	21	3	40	14	11	5	12	2	2	22	171
12	26	16	3	33	15	17	2	11	1	4	24	221
1	16	18	4	21	12	15	0	21	2	3	37	153
2	25	20	6	43	17	13	9	18	3	3	50	179
3	14	15	8	24	15	25	1	27	0	8	15	141
合計	236	235	49	335	217	213	39	216	24	45	186	1700

《概況》

医師の処方箋に基づき調剤を行った。平成 26 年度の処方箋枚数及び調剤数については下表の通りである。

① 平成 26 年度受付処方箋枚数及び調剤数

外来（千歳、耳納、その他）・病棟（おひさま寮、なかよし寮、ともだち寮）

		外来						病棟					
		臨時		定期		注射		臨時		定期		注射	
月	日数	枚数	剤数	枚数	剤数	枚数	剤数	枚数	剤数	枚数	剤数	枚数	剤数
2014/4	21	56	118	0	0	15	15	856	1269	95	208	22	22
5	20	51	81	0	0	11	11	847	1131	95	206	53	53
6	21	63	49	0	0	12	12	806	1055	95	207	48	48
7	22	38	51	0	0	14	14	912	1192	94	206	89	90
8	18	51	84	0	0	14	14	847	1106	95	206	16	16
9	20	43	91	0	0	20	20	975	1296	92	202	57	57
10	21	52	86	0	0	12	12	989	1230	95	204	55	55
11	18	70	136	0	0	14	14	1071	1326	94	201	142	142
12	19	73	117	0	0	15	17	1107	1356	94	205	40	40
2015/1	19	92	154	0	0	10	10	943	1190	94	204	21	21
2	19	95	296	0	0	12	12	1010	1276	94	202	78	80
3	22	98	150	0	0	14	14	1055	1334	94	201	54	54
合計	240	782	1413	0	0	163	165	11418	14761	1131	2452	675	678

★今年度より吸入処方箋は、外用剤でカウント

② オーダリングシステムの稼働により、効率的な調剤業務が可能となったが、近年、利用者の状態悪化による処方箋の増加傾向が進み、薬剤師 2 名での業務は限界にきている。

③ 薬事審査会開催

各科先生による新規採用医薬品の申請書提出に基づき審査を行った。

また、医薬品に関する安全性情報などの提供を行った。

④ 救急カート点検

急変時に必要となる注射薬の期限をチェックし、期限の切れたものについては随時交換を行った。

⑤ 院内感染症対策委員会参加

⑥ 医療安全対策委員会参加

⑦ 給食委員会への参加

臨床検査値の異常が投薬中の薬剤に起因するかの調査を、検討するとともに情報提供を行った。

⑧ おひさま寮権利擁護委員会参加

⑨ 出張 平成 26 年 11 月 6 日 福岡県病院薬剤師研修会 参加  
福岡県保健医療介護部薬務課、福岡県病院薬剤師会主催

## 医療部診療課 口腔衛生

園内歯科受診者 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
Dr	76	59	127	71	76	146	80	49	64	75	81	77	981
D.H	255	273	289	234	228	253	267	168	145	240	228	234	2814

Dr（歯科医師） D.H（歯科衛生士）

（平成 26 年度外来受診者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	34	24	56	30	35	39	28	27	33	27	24	33	390

- ・本年度 8 月より千歳療護園の移転に伴い、利用者様の歯科疾患への対応が今まで以上にスムーズに出来るようになり、園内歯科の需要が高まった。
- ・コアラ園は「歯の衛生週間」に合わせて口腔検診を施行した。
- ・感染症発症に伴い、外来診療中止になった期間は利用者様、外来患者様に迷惑をかけた。

## 看護部看護課

### 《概況》

利用者様の重症化に伴い、より高度な看護介護が必要となり、職員の資質向上をめざし施設内研修を充実、施設外研修にも積極的に参加した。

業務改善として看護記録を見直すために、定期的に記録委員会を開催した。

* 委託入院	久留米大学病院	13 件	聖マリア病院	4 件
	田主丸中央病院	2 件		
◆ 超重症児	5 名	◆ 準超重症児	5 名	
◆ 気管切開者	13 名	◆ 鼻腔カテーテル挿入者	7 名	
◆ 呼吸器使用者	3 名	◆ 胃瘻チューブ挿入者	18 名	

* インフルエンザ予防接種	125 名
インフルエンザ A 型罹患者	18 名
* 短期入所者（延）	587 名
* 日中一時支援利用者（延）	468 名

### < 実習生受入数 >

介護実習	福岡医療秘書専門学校	2 名
医学・看護学生	久留米大学医学部医学科	48 名
	久留米大学医学部看護学科	9 名
	昭和学園高等学校看護学科	56 名
	八女筑後看護専門学校	31 名
体験研修	新採用県職員	9 名
ボランティア		5 名

### ① 平成 26 年度入退園者状況

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
措置入園			1					1				
退園									1			
契約入園	1					1						
退園												

## ② 平成 26 年度 在籍者数（月初日）

平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
療養	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96
医療	27	28	28	29	29	29	30	30	31	30	30	30

## ③ 年齢別入所者数

平成 27 年 3 月 31 日現在

歳	0～6	7～12	13～15	16～19	20～29	30～39	40 以上	合計
措置	2	6	3	2	0	0	0	13
契約		7	2	10	11	29	54	113

## 【なかよし寮】

- 利用者の状態が重症から軽症と様々で、個々のニーズに合ったサービス提供が出来るように、努めていかなければならない。
- 自傷・他傷行為での外傷のアクシデントや、原因不明の骨折もあり、日々の見守り、職員間の連携・コミュニケーションの大切さを再認識し職員間で共有した。

## 【おひさま寮】

- 久留米大学小児外科医の定期的な来園を通して、平成 26 年度は胃瘻造設術を施行した利用者は 3 名、気管開窓術者は 1 名であった。経鼻カテーテル留置による事故報告が多く、リスクが高い利用者様に対して施行された。
- 感染症については、インフルエンザ罹患者が 1 名、ノロウイルス感染症 2 名であった。ノロウイルス感染症の感染経路は不明で、感染症状出現と共に、感染対策や個室対応などが速やかにでき拡大防止に繋がった。
- 重大な事故として、大腿骨骨折が 1 ヶ月の内に 2 名あった。  
原因は不明であるが、30～40 歳代の男性、女性各 1 名である。入所者の年齢も、40 歳以上が 17 名になっており、日常生活における、介助をより丁寧に行うように、寮カンファレンスにて、全スタッフに周知徹底している。
- 業務内容として、濃厚な医療ケアを必要とする人工呼吸器装着児が 1 名増え 3 名となった。従って、ケアの個別化を図るために、育成部、看護部でユニット対応を平成 27 年 1 月より開始した。  
職種に関係なく、協力しながら日常生活のケアを行っている。部署間のコミュニケーションも出来、少しずつではあるが、サービス向上に努めている。

【ともだち寮】

- 平成 26 年 4 月より、寮内で初めて訪問学級の授業を開始した。
- 誕生日健診で胸部、腹部エコーを行い、再検にて専門外来への受診が増加している。
- 不定愁訴で情緒不安定な利用者様へのメンタルケアの必要性を痛感した。
- 保護者の高齢化にて、成年後見人が兄弟へと変更が増えてきている。

病類別入所者数

平成 27 年 3 月 31 日現在

病 名		病 名	
脳性麻痺	69	染色体異常	3
低酸素性虚血性脳症	2	脊髄破裂後遺症	2
副腎白質ジストロフィー	2	マーシャルスミス症候群	1
脳損傷後遺症	1	先天性眼球欠損症	1
頭蓋内出血後遺症	2	二分脊椎	1
化膿性髄膜炎後遺症	2	レット症候群	3
左癱性麻痺	1	低酸素性脳症後状態	1
滑脳症	2	インフルエンザ脳炎後遺症	1
厚脳症	1	硬膜下出血後遺症	1
クラインフェルター症候群	1	頭蓋咽頭腫摘出術後状態	1
髄膜炎後遺症	1	猫鳴き症候群	1
ダウン症候群	2	乳幼児揺さぶられ症候群	1
右中頭蓋窩クモ膜胞	1	心肺停止蘇生後状態	1
麻疹脳炎後遺症	1	脳腫瘍手術後状態	1
脳炎後遺症	2	頭蓋骨早期頭蓋癒合	1
無酸素性脳症	2	先天性筋緊張ジストロフィー症	1
水頭症	3	超低出生体重児	2
精神発達障害	6	水頭無脳症	1
		頭部外傷後遺症	1

計 126 名

<出張関係>

◆ 第 59 回重度・重症児（者）医療・療育（基礎）講習会 5月13日～16日	介護福祉士	1名
◆ 平成 26 年度日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会 5月15日～16日	看護師	1名
◆ 平成 26 年度社会福祉施設役職員研修 職場内研修指導者養成コース 6月4日 12日 19日	看護師	1名
◆ 平成 26 年度第 1 回施設長・職員研修会 6月12日～13日	看護師	2名
◆ 第 77 回重度障害児（者）・肢体不自由児者等看護師講習会 6月16日～20日	准看護師	1名
◆ 平成 26 年度医療機器安全基礎講習会（第 36 回 ME 技術講習会） 6月21日	看護師	1名
◆ 平成 26 年度九州沖縄地区経営研究会 7月3日～4日	看護師	2名
◆ メンタルヘルス対策セミナー 7月15日	看護師	1名
◆ 平成 26 年度社会福祉職員研修基礎Ⅱ 9月4日 11日	看護師	2名
◆ 平成 26 年度メンタルヘルス講習会 9月8日	看護師	2名
◆ 平成 26 年度児童福祉施設新任職員研修 9月9日	介護福祉士	1名
◆ 平成 26 年度全国重症心身障害児者施設職員研修（看護師コース） 9月10日～12日	看護師	1名
◆ 第 33 回九州身体障害児者施設研究大会 9月11日～12日	看護師	1名
◆ 第 59 回西日本肢体不自由児施設運営研究会 9月11日～12日	看護師	2名
◆ 施設における感染症予防研修会 10月2日	看護師	1名
◆ 第 36 回看護指導者講習会 10月7日～10日	看護師	1名
◆ 平成 26 年度コーチング研修 10月7日 8日 27日	看護師	1名



◆ 平成 26 年度リスクマネージメント研修	10 月 7 日 8 日 12 月 5 日	看護師	1 名
◆ 第 83 回肢体不自由および重症心身障害の児童にかかわる看護師研修会	10 月 21 日～24 日	看護師	1 名
◆ 平成 26 年度全国重症心身障害児者施設職員研修会（看護管理コース）	10 月 29 日～31 日	看護師	1 名
◆ 平成 26 年度（第 34 回）全民連中堅職員研修会	10 月 30 日～31 日	看護師	1 名
◆ 第 35 回日本重症心身障害福祉協会西日本協議会総会	11 月 20 日～21 日	看護師	1 名
◆ 平成 26 年度感染症予防研修	12 月 1 日	介護福祉士	1 名
◆ 平成 26 年度第 2 回施設長・職員研修会	2 月 12 日	看護師	1 名
◆ 平成 26 年度久留米市医療安全対策研修会	2 月 19 日	看護師	1 名
◆ 第 96 回摂食指導（基礎・実習）講習会	3 月 3 日～ 4 日	看護師	1 名
◆ 第 2 回摂食（応用）講習会	3 月 18 日	看護師	1 名

## 育成部育成課

### 《概況》

今年度は移転 2 年目で利用者様および職員も新しい環境に慣れ、三寮とも個別支援計画のもと、利用者様一人一人のニーズに応えるべく園内外の活動や季節毎の行事、各種のレクリエーションへの取り組みを中心に事業を展開した。園外活動においては、一泊旅行をなかよし寮にて実施することが出来た。また、昨年同様、法人全体での運動会にかかわるものとして、各寮にてそれぞれ催し物を実施し、利用者様、保護者様に大好評であった。

### 【なかよし寮】

今年度は学卒者の一泊旅行を計画、実施出来た。参加利用者様・保護者様は 10

年ぶりでもとても喜ばれた。

学卒者の方々は、少人数の趣味活動・グループ活動を中心に行い、月1～2回は学園バスを使って午前のドライブや午後のレクリエーションを行った。

就学児は、車輛での登下校にも慣れ大きな事故も無く、外の景色などによって、寮内とは違った表情が見られた。今後も特別支援学校と連携をとり学業の向上に取り組みたい。

園外活動では、土曜日の午後を使い3～4名ずつドライブを行った。

個々の外出活動がなかなか出来ず、利用者様達には少し物足りない事が多く、次年度は、個別支援計画が始まる事もあり、多くの要望に対応・支援を行わなければならないと思う。

#### (園外活動)

学卒者午前ドライブ	4/11 (金)	6名
	5/16 (金)	7名
	5/30 (金)	6名
	6/20 (金)	6名
	7/11 (金)	7名
	10/24 (金)	7名
	10/31 (金)	5名
	3/18 (水)	7名
	学童児午後ドライブ	4/12 (土)
5/17 (土)		3名
6/ 7 (土)		4名
6/28 (土)		3名
7/19 (土)		4名
7/26 (土)		4名
学童児午前ドライブ	8/ 7 (木)	3名
	8/12 (火)	4名
	8/19 (火)	5名
	8/22 (金)	5名
	11/ 4 (火)	7名
身体障害者体育大会	4/26 (土)	3名
学卒者一泊旅行	5/20 (火)～21 (水)	28名
一洗庵一泊外出	8/11 (月)～12 (火)	4名
久留米児相交換大会	10/25 (土)	3名

買物外出	11/ 6 (木)	3名
	11/28 (金)	2名
ミュージックフェスティバル	2/ 1 (日)	5名
(園内活動)		
花祭り	4/ 5 (土)	全員参加
端午の節句	5/ 2 (金)	全員参加
七夕	7/ 5 (土)	全員参加
茶話会	7/18 (金)	学卒者
調理実習	8/ 8 (金)	6名
お楽しみ会	8/29 (金)	全員参加
茶話会	12/19 (金)	学卒者
クリスマス会	12/25 (木)	全員参加
節分	2/ 7 (土)	全員参加
ひな祭り	3/ 7 (土)	全員参加
茶話会	3/19 (金)	学卒者
誕生会	第3土曜日	全員参加
(ボランティア・慰問)		
アレンジ教室	毎週木曜日	希望者
生花教室	毎月第2火曜日	希望者
音楽教室	毎月第1金曜日	11名
理容ボランティア	1.5ヶ月毎	全員対象
K2 バンド慰問	10/11 (土)	全員参加
日産ユースクラブ慰問	12/14 (日)	全員参加
ネイル	月曜日 (不定日)	希望者

## 【おひさま寮】

### (生活援助)

今年度おひさま寮では、ユニットへ向け個別の対応を深めている状況にあり、まずはグループ分けをし、サービスの向上に努めている。

自己表現、自己主張の難しいおひさま寮の利用者様の現状を考えると、大きな道筋として環境変化の提供、適切な体位交換が重要と考えられる。ベッド上、フロアー、車椅子上と状況に応じ生活の中に取り入れていくことで、その目的がある程度達成され、またその中に散歩、音楽活動などの活動頻度を高めることでサービスの向上

に繋がると思われる。今後は、食事の経口摂取の利用者様、注入者の生活パターンにより合った日課の組み替えを検討していくと同時に、経口摂取者の場合ゆとりある食事環境を整えていくことが大事と思われる。

## ◎ 慰安・娯楽

(活動内容)

4月	花祭り	(全員参加)	ドライブ外出	(4名)
5月	端午の節句	(全員参加)	ドライブ外出	(4名)
6月	ドライブ外出	(8名)		
7月	七夕まつり	(全員参加)	盆踊り大会	(全員参加)
	ドライブ外出	(4名)		
8月	ドライブ外出	(8名)		
9月	ドライブ外出	(4名)		
10月	お楽しみ会	(全員参加)	ドライブ外出	(2名)
12月	クリスマス会	(全員参加)	ドライブ外出	(2名)
1月	ドライブ外出	(2名)		
2月	節分	(全員参加)	ドライブ外出	(2名)
3月	ひな祭り	(全員参加)	ドライブ外出	(6名)

その他主な活動

- ・毎月第3水曜日誕生会 (全員参加)
- ・集団レクリエーション (週2回)
- ・幼児保育 (週5回)
- ・理容 (月1回程度)
- ・音楽活動 (日常的に)

## 【ともだち寮】

(生活援助)

継続目標として、利用者様へのよりよいサービスと、自己決定及びその実現に向けた生活援助を心掛け、個別支援計画に基づき、充実した毎日を過ごせるようにそれぞれの利用者様に合わせた活動と各種行事を計画実施した。

園外活動では、ドライブ外出(土曜日の午後2時間程度)を年間一人2回ずつ実施した。外出先は、利用者様の希望も考慮して、買い物外出としても行った。

更に希望外出では、ゆっくりとした長時間での園外活動(大型ショッピングセンターでの買い物食事・公園・鳥類センター、カラオケ、映画鑑賞など)や他施設利用者様との交流の久留米児童相談所管内交歓大会へ参加した。(内1名の利用者様は、交歓大会実行委員として会議に出席)

又、福岡県身体障害者体育大会には、3名の利用者様がエントリー、出場した。

園内活動では、午前 10:00 より 50 分間のグループ活動(毎週月・水・木・金)を行った。内容としては、今月の歌・散歩・短冊書き・リラックスタイム(自販機でのジュース飲み)・足湯・トランプゲーム・茶話会・クイズ・タッチケア・日光浴などを実施した。また、季節の行事、毎月の誕生会、お楽しみ夕食会などを計画し、利用者様の生活が充実されたものになるように努めた。

趣味活動では、日中での余暇時間や夕食後 18:00～19:15 の時間帯を利用して、本人様が希望する個別活動(パソコン・携帯電話などによるメール、ゲーム、音楽鑑賞、DVD 視聴など)をサポートした。

10 月の運動会に代わる行事のレクリエーション会では、2 部構成により午前中に全員(利用者様、保護者様、職員)参加形式でのゲーム、又午後からは演奏会、カラオケを実施した。

#### (園外活動)

(1) ドライブ外出(土曜 PM) [年間一人 2 回]		各 2 名参加
(2) 施設交流交歓大会(小郡市体育館)	10/25(土)	3 名参加
(3) 鳥類センター外出	5/27(火)	3 名参加
(4) 身体障害者体育大会	4/26(土)	3 名参加
(5) 公園外出	8/19, 8/28, 9/18, 3/24, 3/26	10 名参加
(6) 買い物外出	6/17, 6/27, 1/29	6 名参加
(7) 映画鑑賞	9/19(金)	2 名参加
(8) 主にドライブ中心の外出	1/30, 2/17	4 名参加
(9) カラオケ外出	2/12(木)	4 名参加

#### (園内活動)

(1) 花祭り	4/ 9(水)	全員参加
(2) 端午の節句	5/ 7(水)	全員参加
(3) 七夕	7/ 2(水)	全員参加
(4) レクリエーション会	10/19(日)	全員参加
(5) お楽しみ夕食会	11/12(水)	全員参加
(6) クリスマスお楽しみ会	12/24(水)	全員参加
(7) クリスマス・プレゼント	12/25(木)	全員参加
(8) 節分	2/ 4(水)	全員参加
(9) 雛祭り	3/ 4(水)	全員参加
(10) 誕生会	毎月第三水曜日	全員参加

- |                        |                |        |
|------------------------|----------------|--------|
| (11) グループ活動            | 月, 水, 木, 金(午前) | 5~7名参加 |
| (12) 生花教室              | 毎月第四火曜日        | 4名参加   |
| (生花教室メンバー12名~年間一人3回実施) |                |        |

<実習生の受け入れ 3寮分>

・精華女子短期大学	55名	・中村学園大学	12名
・西九州大学	5名	・中村学園大学短期大学部	5名
・西九州大学短期大学部	2名	・福岡こども短期大学	2名
・純真短期大学	2名	・久留米大学	6名
・西南学院大学	2名	・九州龍谷短期大学	2名
・香蘭女子短期大学	45名	・九州大谷短期大学	10名
・福岡女子短期大学	6名	・筑紫女学園大学短期大学部	4名
・福岡女学院大学	4名	・近畿大学九州短期大学	1名
・東筑紫短期大学	8名	・筑紫女学園大学	4名
・福岡教育大学	1名		

<出張関係>

第52回福岡県身体障害者体育大会引率役員連絡会議

クローバープラザ (福岡県春日市) 育成員1名

平成26年度社会福祉施設役職員研修 職場内研修指導者養成コース

クローバープラザ (福岡県春日市) 育成員1名

平成26年度社会福祉施設役職員研修 新任職員研修

クローバープラザ (福岡県春日市) 育成員1名  
保育士2名

福岡県身体障害者施設協議会

平成26年度第1回研修委員会

クローバープラザ (福岡県春日市) 育成員1名

平成26年度児童福祉施設新任職員研修会

久留米児童相談所 (福岡県久留米市) 育成員1名  
保育士2名

平成26年度第33回九州身体障害児者施設研究大会

マリトピア (佐賀県佐賀市) 育成員1名  
保育士1名

第 59 回西日本肢体不自由児施設運営研究会		
小倉リーガルホテル	(福岡県北九州市)	育成員 1 名 保育士 1 名
平成 26 年度第 34 回全民連中堅職員研修会		
前橋市民会館	(群馬県前橋市)	育成員 1 名
平成 26 年度リスクマネジメント研修		
福岡センタービル	(福岡県福岡市)	育成員 1 名
平成 26 年度全国重症心身障害児施設職員研修会		
「保育士・児童指導員等コース」		
山西福祉記念会館	(大阪府大阪市)	保育士 1 名
平成 26 年度社会福祉施設役職員研修基礎研修		
クローバープラザ	(福岡県春日市)	育成員 2 名
福岡県身体障害者施設協議会		
平成 26 年度第 2 回施設長・職員研修会		
クローバープラザ	(福岡県春日市)	育成員 2 名
平成 26 年度久留米児童相談所管内児童福祉施設懇親会		
	(福岡県久留米市)	育成員 1 名
第 76 回重症児(者)療育職員講習会		
	(東京都)	育成員 1 名
平成 26 年度相談支援従事者初任者研修		
ウエルとばた他	(福岡県北九州市)	育成員 1 名
久留米児童相談所管内児童交歓大会実行委員会		
	(福岡県久留米市)	育成員 1 名
SWE 支援ネットワーク		
聖ヨゼフ・若楠療育園	(福岡県大刀洗町・佐賀県鳥栖市)	育成員 3 名

## 心理療育部

### 《概況》

平成 26 年度は心理療育部、相談援助課として、一般生活援助業務との一部兼務で心理的援助活動を業務指針に基づき展開した。主な内容は、利用者様の日常生活の観察、触れ合い並びに治療・検査場面を通じて心理的関係性をつくることである。

また重症児・者に対しては、他領域との連携のもと心理的側面から、適正ポジショニング活動やタッチケア、「いい表情づくり」活動などを通じ、個としての尊重を基本として業務を行った。

地域支援としては、子どもの発達や母親の子育てなどの心理相談の要請に対し、市町村と連携・協力しながら相談支援・発達支援を実施した。それに伴い、外来診察及びコアラ園利用案内さらに直接的心理相談や外来での心理療育につなげるケースも増加した。また今年度より、うきは市巡回支援派遣事業として、保育所等巡回支援事業が加わった。

#### 《心理療育・相談援助の内容》

「落ち着いているか」「安心しているか」を治療の基点として「人と関われるか」「関わりは適切か」更に「楽しんでいるか」「喜んでいるか」との相互機能関係により個々のニーズに応じ、絵画表現療法、箱庭療法、抱っこ法・タッチケア、遊戯療法・行動療法、カウンセリング、感覚統合法、知育活動、音楽療法などを施行した。心理的関わりの中で、寄りかけられる存在として、日常の触れ合い、遊び、介護、その他を通じての信頼関係作りが主要テーマである。

地域における相談活動においては、母子並行面接を基本として、限られた時間の中でいかに信頼関係を作り、悩み・心配・不安に寄り添い共感的援助をしていけるかを目標に、判定並びに相談支援を行った。

#### 【なかよし寮】

- ① 遊びを媒介とした自己表現（投影・情緒解放）
- ② 発達援助＝知育活動（情緒安定を基盤とした認知学習）・感覚運動
- ③ 面談援助 解決→解消（うなずく・聴く・心の汲み取り・共感・発散・個としての尊重）
- ④ 困った行動（表現として捉える）癖・攻撃・熱発・下痢・身体表現等の理解
- ⑤ 音楽療法
- ⑥ 散歩（寮内・園内・園外）
- ⑦ タッチケア・マッサージ
- ⑧ 知能検査・発達検査
- ⑨ 自由訪室

#### 【おひさま寮・ともだち寮】

- ① 多動・興奮行動への対応 散歩法 ―エネルギーの解放―
- ② 腹臥位を基点としたポジショニング（活動協働）



- ③ 面談（心のエントツそうじ・表出能力に応じた受けとめ）
- ④ 音楽療法
- ⑤ 介護支援
- ⑥ タッチケア、絵本、絵カード、語りかけなど「いい表情づくり」活動  
「集団の中での個としての尊重」
- ⑦ 知能検査・発達検査

#### 【児童発達支援センター コアラ園】

- ① 発達支援（個別・集団）
- ② 遊戯療法（感情表現・認知発達・感覚調整）
- ③ 母親等へのカウンセリング（子どもの理解～プラス面へのスポットライト）
- ④ 行事（計画立案・実施）
- ⑤ 就学・就園（保育園等）相談援助
- ⑥ 知能検査・発達検査

#### 【千歳療護園・第二千歳療護園】

- ① 面談活動（カタルシス）
- ② 散歩療法（発散・リフレッシュ）
- ③ 表現療法（遊び活動・自己表現・生きがい・興味拡大・信頼関係）
- ④ ポジショニング（リラクゼーション・慢性痛の軽減・QOLの拡大等）
- ⑤ 前頭前野活性化法（読み聞かせ・公文カード・ドリル等）
- ⑥ 介護全般
- ⑦ メンタルヘルス（外出・カウンセリング）
- ⑧ 環境調整、その他

#### 【耳納学園】

自己決定やプライバシーの尊重という立場から基本的には業務展開はないが、心理的側面からの評価・分析の必要性から耳納学園の依頼により実施した。

#### 《治療対象児・者》

日常の行動観察、生育歴、身体障害の程度、家庭環境などから、精神的サポートの必要性と質に応じて、定期的あるいは不定期的に行った。心理的対応の特殊性から、臨時・緊急の場合も多く、他職種との連携をもとに対応を行った。

※短期利用者を含む

単位：名

	なかよし	おひさま	ともだち	コアラ	耳納	千歳	合計
治療対象児・者 ※	50	38	43	66	0	82	279

### 《音楽療法対象児・者》

入所においては表出能力に困難のある利用者を優先的に、必要性に応じて下記人数に対して行った。コアラ園・外来においては、医師の指示または保護者からの要望に応じて対応を行った。

単位：名

	なかよし	おひさま	ともだち	コアラ	外来	合計
音楽療法対象児・者	21	20	21	2	0	64

### 《心理検査》

知能検査と発達検査は定期的に行い、その他の検査、評価は必要に応じて行った。実施数は下記の通りである。

単位：名

	なかよし	おひさま	ともだち	コアラ	千歳	耳納	外来・地域
発達検査	12	20	28	6	0	0	23
知能検査	16	0	10	16	5	0	59
性格検査	0	0	0	0	0	0	0

### 《地域支援》

地域支援事業は市町村の母子保健活動と連携して展開してきたが、保育所での療育・保育的側面からの心理判定、相談等にも対応した。今後も地域の信頼に適確に応えていく事業展開を目指したい。

今年度より、親子のびのび教室の新たな開催場所として、久留米市北野町も加わっている。また、うきは市内保育所等に通園する乳幼児のより良い成長と発達のために、うきは市保育所等巡回相談が開始された。12施設を3ヵ月に1度、計4クールで訪問し、園児についての相談・直接的な観察・触れ合いの中で、子どもの行動の理解・対応についての検討を行った。

そして、市町村統廃合に伴う事業として実施されてきた東部地区子育て相談は、10年経過し終了となった。今後は「子育て応援ネットワーク」として、支援センターの方々と連携し、子どもの発達・成長のために専門的な相談が必要な場合は、直接ゆうかり学園の方へ相談に来ていただくということで対応していく。

朝倉市	1歳6ヵ月児健診	計 12回	対象者 395名	うち 相談者 46名	
	3歳児健診	計 12回	対象者 393名	うち 相談者 64名	
	朝倉・杷木健診	計 6回	対象者 157名	うち 相談者 17名	
	にこにこども相談	計 6回	相談者 22名		
	療育支援わいわい学級	計 23回	参加児 述べ 169名		
うきは市	1歳6ヵ月児健診	計 6回	対象者 262名	うち 相談者 19名	
	3歳児健診	計 6回	対象者 296名	うち 相談者 32名	
	すくすく発達相談	計 6回	8名		
	療育指導教室 (たまご・ひよこ・らっこ)	計 34回	参加児 延べ 206名		
	保育所等巡回相談	計 48回			
北筑後 保健福祉 環境事務所	乳幼児発達診査事業		計 2回	5名	
久留米市	田 主 丸 町	1歳6ヵ月児健診	計 4回	対象者 84名	うち相談者 14名
		3歳児健診	計 4回	対象者 108名	うち相談者 25名
		ママパパ気持ち楽々相談	計 2回	相談者 2名	
	北 野 町	1歳6ヵ月児健診	計 4回	対象者 102名	うち相談者 22名
		3歳児健診	計 4回	対象者 93名	うち相談者 20名
		ママパパ気持ち楽々相談	計 2回	相談者 8名	
	三 瀬 町	1歳6ヵ月児健診	計 4回	対象者 104名	うち相談者 18名
		3歳児健診	計 4回	対象者 96名	うち相談者 22名
		ママパパ気持ち楽々相談	計 2回	相談者 6名	
	城 島 町	1歳6ヵ月児健診	計 4回	対象者 88名	うち相談者 18名
		3歳児健診	計 4回	対象者 105名	うち相談者 25名
		ママパパ気持ち楽々相談	計 2回	相談者 6名	
	南部	ママパパ気持ち楽々相談	計 2回	相談者 7名	
	低出生体重児支援教室リトルにこにこ			計 3回	参加児述べ 20名
親子のびのび教室(本庁/三瀬/城島/南部/北部)			計 30回	参加児述べ 184名	
東部地区子育て相談			計 24回	相談者述べ 72名	
その他の相談対応 (電話・メール・来所・訪問)			計 36回		
コアラ園見学案内	11名	コアラ園心理療育	391回		
外来利用児総数	39名	外来心理療育回数	577回		
情報提供書作成数	35件	診察案内	17名		

<出張関係>

- ・福岡県相談支援従事者初任者研修 9月12～13日、10月18日、11月19～20日
- ・福岡県児童発達支援管理責任者研修 10月29日、2月25～26日
- ・児童福祉施設新任職員研修会 9月9日
- ・社会福祉施設役職員研修：新任職員研修 5月20日、5月23日
- ・WISC-IV 解釈講座～新たな解釈法にもふれて～ 12月14日
- ・相談支援専門員研修 11月20日、21日
- ・地域相談支援研修 1月29日、30日

### 《概況》

医療療育部門における訓練は、すべて医師の処方に基づき個別で実施し診療報酬は脳血管疾患等リハビリテーション料(I)および運動器リハビリテーション料(I)で算定請求した。入所部門において6月、9月、12月、3月、リハビリテーション総合実施計画書を作成した。計画書の説明や交付手順は郵送形式とし、返信用ハガキで同意の返事があった分について、リハビリテーション総合計画評価料を算定した。年間の総収入は1億5913万4500円であった。

コアラ・外来部門は、土曜日の利用者様など診察の機会そのものが取れない方もいるため、リハビリテーション総合実施計画書の説明をセラピストが行い、その内容を主治医に確認していただき交付した。

毎月第2火曜日に医師、看護師、保育士、心理士、栄養士および訓練部(PT・OT・ST)のスタッフが出席してリハビリテーションカンファレンスを開いている。感染症の影響で年間9回であったが、個別支援計画書のチェックシートの検討および中間評価の作成などについて協議した。チェックシート・中間評価の見直し後、各寮の個別のカンファレンスを実施した。

訓練は、利用者様の潜在能力や可能性ならびにモチベーションなど多方面から対象児(者)のニーズを見極め、個別に計画を立てて行なうものである。特に、乳幼児期を担当するスタッフは成長や発達全体を深く理解し、幅広く支援する能力が必要である。そこで、児童発達支援センター契約者に対しては発達全体の手助けおよび保護者の指導を目的に、PT・OT・STが密に保護者とコミュニケーションがとれるよう集団でのリハビリテーションではなく個別のリハビリテーションで対応した。

新しい施設は、空中懸垂装置を導入したためブランコなどを設置し感覚訓練がより身近になり、利用者様のリラクゼーションや非日常的な感覚の提供が行えた。また、関節の拘縮や変形、異常筋緊張、呼吸問題など生活全般に問題を抱えている重度の障がい児(者)に対しては、独自の姿勢保持具を作製し活用するとともに、他部署の職員に対しても姿勢管理や移動・移乗・食事介助などの方法について、インシアチブを取りアプローチすることで利用者様のQOLの向上につなげた。さらに摂食・嚥下機能に問題のある利用者様に対しては、嚥下食導入に向けた意識を他部署とともに高めているところである。

各部門の報告は以下に示す。

## ● 理学療法

### 【なかよし寮】

対象 46 名に対し、理学療法士 3 名で個別に実施し、利用者 1 名当たりの訓練回数は週 1～3 回、年間訓練実施単位数は 7,990 単位であった。

対象児（者）を疾患別にみると脳性麻痺が最も多く、その他は脊椎破裂後遺症、レット症候群、頭部外傷後遺症、筋ジストロフィー、マーシャルスミス症候群、精神運動遅滞などであり、他の疾患と重複する例が多い。

訓練内容は、個々のニーズやレベルに合わせた目標を設定し、基本動作訓練、移動能力訓練、筋力増強・持久力訓練、ROM 訓練、ADL 訓練などの運動療法を実施した。今年度は感染症が長期化および拡大し定期的な実施が行えない時期があったものの、概ね利用者様の身体能力に大きな変化はなく経過している。

学童児への訓練としては、小学生などの年齢的に若い利用者様は身体機能向上や移動動作獲得などを主として行い、中・高等学校生に対しては卒園後を想定した訓練（ADL 訓練・買い物外出・園外活動）を提供することで、社会参加・自立に向けて意識を高め、卒園後の生活に順応出来やすいように努めた。

学卒者への訓練は身体機能の維持向上を図ると共に、屋外への外出や複数の利用者様と合同で実施するなど固定したプログラムにならないように心掛けた。

また各利用者様に車椅子や装具、姿勢保持器具などを随時検討、作製し環境面からの援助も行っている。

これらの個別・年代別に対応した訓練により移動動作や排泄動作の向上・獲得がみられる例もあり少しずつ成果が表れている。

今後は他職種や特別支援学校とより連携を図ることでニーズや問題点を的確につかみ、現状に合ったより良い訓練・療育を行うよう心掛ける。

### 【おひさま寮】

対象 38 名に対し理学療法士 2 名で実施。年間訓練実施単位数は 6,308 単位であった。

対象児（者）は、重度の運動機能障がいおよび重度の知的障がいを重複している人が多く、加齢に伴う身体機能面の低下や筋緊張の亢進など様々な原因により非対称姿勢をとることが多く、変形・拘縮の要因となっている。また、人工呼吸器での呼吸管理や胃瘻の方が増えており、日常生活は全介助を要し、リスク管理は非常に重要である。

訓練内容は、ROMex を中心にマッサージ、リラクセーション、ポジショニング、現在の機能の維持および基本動作の維持・向上、排痰や呼吸介助（スクイーピング）などの理学療法を行った。また毎年 1 回、個人の身体機能面の評価として ROM・側

彎などの計測を OT と共に実施。今後、どのようにこの数値的なデータを利用者様の生活の中に生かすのか、来年度に向けて評価の検討を行った。

利用者様 38 名全員を対象に、他職種と情報交換を行い協力しながら、姿勢ケアを実施した。姿勢ケアについては、クッションにて個々にあったプロンキーパー・頭部保持クッションや側臥位保持用クッションを作製し、リラクセーション・排痰・側彎変形・拘縮の進行予防に努めた。また、学童児の運動機能や認知機能面の向上を目的に、OT や特別支援学校の担任教諭と情報交換を行い、それによって、利用者様一人ひとりにあった QOL 向上を心掛けた。

### 【ともだち寮】

利用者 42 名に対し理学療法士 3 名で行い、年間訓練実施単位数は 6,313 単位であった。11・12 月の感染症拡大により、訓練が一定期間実施することが出来なかったため昨年度と比べ単位数が減っている。

利用者様の疾病状況は脳性麻痺（および関連疾病の重複障がい者含む）76%、その他、化膿性髄膜炎後遺症、脳損症後遺症、脳炎後遺症、視力障がい 24%となっている。

壮年期・中年期の利用者様が多く、年々、四肢の関節可動域や筋力、活動量など減少傾向を示している。また、寮生活において姿勢のバリエーションも少なく、変形の増悪や関節拘縮・褥瘡を引き起こしやすい状態にある。さらに、自発的な運動の欠如による体重増加や循環障がいによる四肢の浮腫などもみられるようになっている。そのためリハビリテーションの内容は四肢の関節可動域運動やポジショニングによるリラクセーション、移動・歩行練習を行った。

姿勢ケアの必要な利用者様には、身体機能に合うクッションを作製し、車椅子上・ベッド上での安楽性の向上および多種多様な姿勢を提供し、日中から夜間にかけての姿勢管理に努めた。

自発的な運動や意思表示が少ない利用者様には感覚刺激を中心とした活動を行ない色々な表情や反応を引き出せるように心掛けた。

また歩行能力が高い利用者様を対象に、OT・ST と連携した QC 活動として、月 1～2 回の頻度で地域の公園や季節の名所を歩行・散策し、十分な活動量を提供するよう努めた。

4 月にはともだち寮利用者様から 3 名の方に身体障害者スポーツ大会に参加して頂いた。意欲的に練習に取り組み、大会では上位入賞することができ大きな達成感を得られた様子であった。来年の大会では優勝するという目標を定め、大会が終了した以降もモチベーションを絶やさず練習に取り組まれている。

## ● 作業療法

### 【なかよし寮】

対象者 46 名に対し、作業療法士 4 名（コアラ園との兼任 2 名）が週 1～3 回個別で行い、年間訓練実施単位数は 3,687 単位であった。

対象児（者）の疾患は、脳性麻痺などの中枢性運動障がいを中心として、重度の運動機能障がいおよび重度の知的障がいの重複、精神運動遅滞、ダウン症候群、広汎性発達障がいなどである。

訓練内容は、身体機能面（上肢機能）の向上および維持を目的に、ROMex やリラクゼーション、玩具や感覚遊び、作業活動を媒介としたアプローチを行った。また、身の回りの動作の向上や獲得を目指し、直接的かつ反復した練習や環境調整を行った。

学卒者に対しては、余暇活動の一つとして週 4 回の集団活動（①集団で場を共有しての個別活動、②集団での製作活動、③三寮合同での集団活動、④音楽療法）を行った。集団の中では活動の選択、役割分担を促していく中で、利用者様同士の声掛けや自己主張、互いに称賛する場面もよく見られた。三寮合同のグループ活動では、それぞれ特徴的な障がいがあるにも関わらずゲームや感覚遊びなどを行い、楽しみを共有・共感できる場として活用した。また、音楽療法士と言語聴覚士と共に音楽が好きな利用者様を対象に音楽療法を行った。

学童児に対しても、前年に引き続き PT・ST と協力しながら集団活動を実施した。対象児は、小学部から中学部の利用者様で、同年代の相互交流を促し集団行動でのマナーやルールを守るなどのソーシャルスキルの向上を目的に行った。集団の中で発表の場を設け、学んだことを他利用者様の行動からフィードバック出来るようにした。それにより自己表現の場であるとともに、他利用者様に対して注目する・注目されるという体験が出来た。その他、一部の学童児の利用者様に対しては、自立支援を目的に園外活動（買い物）を取り入れた。入所の利用者様にとっては非日常的な体験の中で社会経験を積んだことで、新たな課題も見えるようになってきた。

### 【おひさま寮】

対象 38 名に対し、作業療法士 2 名が週 1～3 回個別で実施し、年間訓練実施単位数は 5,615 単位であった。対象児（者）は、重度の運動機能障がいや重度の知的障がいを重複した人が多く、視力障がいや嚥下障がい、加齢にともなう身体機能の低下や変形・拘縮など、それぞれ多岐多様な問題を抱えており、症状も重度化している。

訓練内容としては、身体機能の維持、日常生活動作（以下 ADL）の改善、精神面の安定を目的に関節可動域訓練、ADL 訓練（食事動作）、集団活動、感覚訓練（トラ

ンポリン、スイング)などを行った。また、姿勢ケアについては、クッションを使用した姿勢管理(排痰、側弯進行予防)や座位保持装置を作製し、リラックスできる生活環境作りを行った。さらに、寮内での生活が中心となっている利用者様に対し、他寮や屋外への散歩を行うことで、環境変化による感覚的な刺激を経験してもらいながら、四季それぞれの季節感や自然環境を感じてもらった。

集団活動では、普段あまり関わる事のない他寮の利用者様と楽しみの共有を目的として、三寮合同のグループ活動を実施した。キャンドル作りなどの製作活動をはじめ、ゲーム、感覚遊び、季節を感じる事が出来る活動(野菜作り、水遊び)など、様々な活動を行う事が出来た。活動を通して、利用者様同士の交流や楽しい雰囲気味わう事が出来、病棟ではみられない利用者様の表情や反応を見ることが出来た。

### 【ともだち寮】

対象42名に対し、作業療法士2人で週1~3回実施し、年間訓練実施単位数は6,138単位であった。対象児(者)の疾患は、脳性麻痺や水頭症、化膿性髄膜炎後遺症などの中枢神経系の異常による運動障がいおよび知的障がい、染色体異常などであった。年々、加齢に伴う身体機能の低下や変形・拘縮もあり、ADL動作の低下が見られている。

訓練内容としては、身体機能やADL動作、認知機能の維持および向上、情緒の安定やリラクゼーションを目的に行なった。その手段としてROMexやADLex(食事、更衣、整容)、感覚遊び、製作活動、集団活動などを用いた。

集団活動としては(①他寮の利用者様と合同での集団活動②PT・STと合同でともだち寮利用者5名の小集団での活動)を行った。①では製作活動や感覚遊び、歌やゲームを行ってきた。②では歩行可能な利用者様を対象とし、屋外での歩行を主として、7月~11月に計8回、学園車を利用して公園などに出かけた。車を利用することで揺れや振動、視覚的な変化や加速度を感じる事が出来た。それに加え普段とは違う場所での歩行は、光や風を感じるとともに地域の方と同じ場を共有したことで社会交流の場にもなった。

個別活動としては、一般道で電動車椅子を利用した買い物訓練や、耳納学園に協力していただいた陶芸作品の製作活動など、個々のニーズに合わせた様々な活動を行い、利用者様の楽しみや達成感、他者からの称賛や自己実現につなげてきた。また、園芸活動を複数の利用者様と協力して行った。季節に合わせた農作物を育てる中で、季節を感じていただき、普段食べている食物にかかっている手間や時間を実感していただく事が出来た。



## ● 言語聴覚療法

### 【なかよし寮】

対象 46 名に対し、担当者 3 名で週 1～5 回実施した。今年度も地域支援事業、児童発達支援センターと兼任し、年間訓練実施単位数は 5,750 単位であった。

対象児(者)の疾患は、脳性麻痺などの中枢性運動障がいを中心となっているが、精神運動遅滞、ダウン症候群、広汎性発達障がい、先天性緊張性ジストロフィーなどであった。

重度の知的発達の遅れが見られる利用者様に対しては、主にスキンシップ、歌遊び、音遊び、楽器遊び、絵本での読み聞かせなど、楽しくリラックスできる雰囲気の中で、聴覚、視覚、触覚などのさまざまな感覚を用いた関わりを行い、感覚・認知・理解面・表現力(表現方法)の発達を促した。また、音楽療法士、作業療法士とともに音楽療法を実施した。

言語発達の遅れが見られる利用者様に対しては、絵本、ままごと、歌遊び、お絵かき、絵カードやかな文字などを介した遊びや学習の中で言葉の成長を促した。

音声言語によるコミュニケーションが困難な利用者様に対しては、コミュニケーションボードなどの代替手段の工夫や TEACCH や絵カード交換式コミュニケーションシステム(PECS)を用いた視覚支援、手話の学習、その他を行い非言語的コミュニケーション手段の確立、拡大も目指した。

学童期の利用者様を対象に集団訓練を実施した。グループでの遊びや学習、活動内での各々の役割分担や劇などを通じ、同年代との関わりを楽しむことが出来、社会生活に必要なコミュニケーションスキルの向上、ソーシャルスキルの獲得を促した。

麻痺による発声発語障がいや摂食・嚥下障がいが見られる利用者様に対しては、アイスマッサージやバンゲード法などの筋刺激訓練、リラクゼーション、発声発語器官訓練、構音訓練、摂食・嚥下訓練などを行った。食事場面では、利用者様に応じて PT・OT と相談し、姿勢(車椅子を含めた)や上肢機能の側面から自助具の使用、食形態の検討も行い、成長期にある経鼻経管栄養の利用者様に対しては段階的な経口摂取の練習も行った。また、寮内における摂食・嚥下委員会を発足し、利用者様の摂食・嚥下評価や病棟スタッフの摂食・嚥下に対する意識の向上に努めた。

### 【おひさま寮】

対象者 30 名に対し言語聴覚士 2 名で週 1～5 回個別に実施し、年間訓練実施単位数は 3,178 単位であった。

対象の病名・障がい名としては、脳性麻痺、精神(発達)遅滞などを中心とした身体障がいと知的障がいを併せ持つ重度の重複障がいである。

訓練内容は、口腔機能訓練（口腔とその周辺のケアや活性化を含む）、摂食・嚥下訓練、発声発語器官に対しての筋刺激訓練やマッサージ、ストレッチ、リラクゼーション、構音訓練、言語発達を促す訓練、コミュニケーション訓練、音声や音楽を用いた聴覚的な刺激による訓練などを行った。

摂食に関しては、広く摂食・嚥下に関する器官に対しての感覚訓練、筋刺激訓練、マッサージ、ストレッチ、脱感作や味覚学習などの口腔内感覚の改善、間接嚥下訓練といった間接訓練と、摂食・嚥下機能そのものの維持・改善訓練、介助法の改善、食形態の調整、頸部や体幹の座位姿勢の調整、姿勢を安定させ筋緊張を緩和するためのクッションなどの調整、食べ物に対する心理的拒否に対して安心して食べられるためのアプローチなどを行った。

これらを通じて摂食・嚥下機能の維持・向上を行い、安心して快適にスムーズに食事ができるための支援を行った。

おひさま寮の最重度の心身障がい児（者）に対して、リラックスした楽しい関わりの中で、心地よい聴覚的刺激・視覚的刺激や身体的感覚などを充足させるアプローチを通して、心身が心地よく満たされゆったりと落ち着くことが出来るような関わりを持ち、また感覚・認知・理解面の成長も促した。

今年度も iPad やパソコンなどの機器を用いて、重度心身障がい児（者）も楽しみ、使用可能な機能を使って効果的に発達を促し生活の充実を目指した。

呼吸器系障がいに対しては、排痰、口腔内清掃やマッサージなどによる口腔内機能の活性化により、呼吸器やその関連する器官の環境を整え、できる限り不快な状態を改善して、穏やかに生活出来るよう支援を行った。

## 【ともだち寮】

対象 24 名に対し言語聴覚士 1 名で個別訓練を毎回 1～3 単位、月に 1～2 回ないし週 1～2 回実施した。年間訓練実施単位数は 2,331 単位であった。

対象者は脳性まひ、MR、てんかんなど症状は様々で、年齢も 10 代から 60 代と広い年齢層でのアプローチを行った。

歩くことや話すことが難しい利用者様専用のパソコンや専用スイッチの使用を検討し、iPad やスイッチを使って自分で機器を操作して主体的に活動をする取り組みや、自分自身の身体動作でスイッチを押し、普段は他者に介助してもらっている写真撮影や音楽鑑賞を自分自身で行っていただいた。また、身体障害により既存のナースコールを使用出来ない方に対しては、特殊型ナースコールの作製および操作練習を行った。

摂食・嚥下訓練においては口腔ケアや食事訓練、食形態の調整および、スムーズな自力摂取動作も摂食・嚥下機能に間接的ではあるが関わると考え、使用する食器

具の検討も行った。また、胃瘻の利用者へは口腔機能の維持として、口腔ケアやマッサージを通して口腔器官への刺激入力を行った。

音声言語面の訓練としては会話や発声、唄を歌うことによる発声発語器官の運動による訓練を行った。

## 『コアラ園及び外来』

### ● 理学療法

対象 60 名（契約利用者 8 名、外来利用者 52 名）に対し、理学療法士 1 名を中心に実施し、利用者 1 名当たりの訓練回数は週 1～2 回、年間訓練実施単位数は 3,570 単位であった。

対象児（者）は、脳性麻痺による重症心身障がいや肢体不自由児、精神運動発達遅滞、ダウン症候群、筋ジストロフィーなどで、年齢も 1 歳の幼児から成人までと幅広い。

理学療法の内容として、乳幼児期から学童期においては、運動発達の促進や基本動作能力の獲得を目指し実施した。自助具や姿勢保持用クッションの作製、福祉機器（ウォーカーや装具）の提案を行い作製し、豊かな遊びが経験出来るよう場面に応じて使用していただき、身体機能面の向上だけではなく情緒面の発達および生活場面の中での自立を促した。また、保育所や保護者の協力を得ることが出来、自発的に移動する機会を作ることで、他者との交流および危険な場所を避けるなど、運動機能の向上だけでなく言語面や認知面の向上にもつながった。

学童期から青年期以降には、運動機能の維持、二次障がいの予防、介助者の介助量軽減などを目標に、支援学校や地域の小学校の先生と情報交換を行い、個々のニーズに合わせた支援を行った。重症心身障がい児（者）においては、二次障がいによる脊柱の変形や運動機能の低下を予防する目的で、側弯の評価や下肢を中心に関節可動域の測定を年末から年度末にかけて実施した。第二次成長期に伴い、脊柱の変形による側弯の進行や下肢の関節拘縮が認められる方が増えている状況である。理学療法としては、クッションを作製し、腹臥位による姿勢ケアや排痰の咯出を促した。また、姿勢筋緊張を緩和しリラクゼーションや股関節を中心に関節可動域運動やストレッチを行い、脊柱の変形や関節拘縮の予防に努めた。さらに、保護者へ日中の姿勢ケアのアドバイスや支援学校の先生方と姿勢や身体機能面について情報の共有を行い、目標を一つに取り組んだ。身体機能面を維持し、介助量の軽減やレスパイトケアなどの福祉サービスの提供について、地域事業部・夢の紀のスタッフと連携を行うなど、多面的な支援を必要とした。

その他として、耳納学園の利用者様には、運動能力の維持のため定期的なリハビリテーションを実施した。ADL 面を中心に取り組み、生活に必要な動作を取り入れ

練習した。

### ● 作業療法

対象 110 名（契約利用者 47 名、外来利用者 63 名）に対し、作業療法士 2 名を中心に実施し、利用者 1 名当たりの訓練回数は週 1～2 回、年間訓練実施単位数は 5,262 単位であった。

対象児（者）は発達障がい（広汎性発達障がい、注意欠陥・多動障がい、自閉症スペクトラム）、脳性麻痺、神経筋疾患、さらに精神運動発達遅滞など多岐にわたり、幅広い対応が必要となっている状況である。

訓練内容は、トランポリンやボールプール、スイングなどの遊具遊びを中心とした運動活動やままごとなどのやりとり遊び、作業活動を通じて、こどもの発達課題（運動面・日常生活技能・学習基礎能力）や、現在から将来にわたる生活面に着目・考慮し、個々の必要性に応じた取り組みを実施した。また、日常生活で配慮すべき点や介助方法などはもちろんのこと、保護者に対し我々スタッフも理解者としての立場を大切にしながら話を聞き、助言・アドバイスを行ってきた。

訓練場面以外でも日常生活で主となる保育園・幼稚園・学校の先生方との情報交換・共有を行い、お互いの療育に活かせるように努めた。さらに、小学校就学を控え通園部門を卒園される児童の進路に関わる各関係機関に情報提供を行い、卒園後の支援についての提案や意見交換にも取り組んだ。

### ● 言語聴覚療法

対象 159 名（契約利用者 60 名、外来利用者 99 名）に対し、週 1～2 回、1 回 2 単位（40 分）を基本として、言語聴覚士 3 名を中心に訓練を実施した。年間訓練実施単位数は 7,187 単位であった。

対象児（者）は発達障がい（広汎性発達障がい、注意欠陥・多動障がい、学習障がい）、言語発達遅滞、精神運動遅滞、構音障がい、脳性麻痺、ダウン症などの症候群、摂食・嚥下障がい、難聴、吃音と多岐に渡り、年齢も 1 歳の幼児から成人までと幅広い。近年は特に自閉症スペクトラムを主とする利用者様が増加傾向にある。

訓練において、観察や情報収集、各種検査結果をもとに評価し、訓練プログラムを立案し実施した。情報収集時には保護者だけでなく、保育園・幼稚園・学校の先生方とも情報交換を行い、療育に活かせるように努めた。また、地域事業部、心理療育部との連携に努め情報を共有することで、より必要な支援を立案し提供することに努めた。

訓練内容は、利用者様一人ひとりの状態に応じて、机上課題や遊びを中心とした課題などを選択し、言語面・コミュニケーション面の能力向上を目標に実施した。摂食訓練の際には、給食時間への介入、定期的な評価、訓練、指導を行った。

訓練場面だけでなく、就学後の定期的なフォローや、対象児（者）への接し方の指導、問題とされる行動が見られる理由の分析から環境調整のアドバイス、構音訓練の宿題の提供。また、利用者様と共に保護者（支援者）の想いも受け止めるなど、日常生活場面においても、対象児（者）の成長につながるよう努めた。さらに、聴覚スクリーニング検査や、他医療機関との連携にも積極的に取り組んだ。

<地域支援事業等>

1. 肢体不自由児早期訓練事業（県肢体不自由児協会委託、飯塚市）  
 医師 1名・・・2回      PT、OT 各1名・・・22回      ST 1名・・・12回
2. 子どもの療育相談（上陽町）  
 OT 1名・・・20回      他、幼稚園訪問 1回
3. 朝倉市乳幼児発達診査（朝倉市環境福祉事務所委託、朝倉市）  
 ST 1名・・・7回

<実習生の受入状況>

【理学療法士】

平成26年 5月 12日	～	7月 5日	柳川リハビリテーション学院	1名
7月 7日	～	9月 13日	麻生リハビリテーション大学校	1名
7月 22日	～	9月 13日	柳川リハビリテーション学院	1名

【作業療法士】

平成26年 8月 4日	～	10月 11日	麻生リハビリテーション大学校	1名
平成26年 5月 7日	～	7月 5日	福岡国際医療福祉学院	1名

施設見学

平成26年 6月 19日		麻生リハビリテーション大学校	夜間部	18名
平成26年 6月 26日		麻生リハビリテーション大学校	昼間部	41名

【言語聴覚士】

なし

《概況》

地域事業部は地域・社会の多様なニーズや問い合わせに対し、法人内全事業所機能の紹介並びに利用までの手続き、更に当該者と事業所または事業所間の連携や調整を図る目的で機能してきた。

地域・社会からの相談や問い合わせの内容は、入所や短期入所、日中一時預かりなどの施設利用目的のもの、児童発達支援センター通所や外来リハにつながる療育目的のもの、それらに付随する送迎支援や見学依頼が殆どである。

対象地域は、久留米市、うきは市、朝倉市及びその近隣地域としているが、対象地域以外からの問い合わせも多数あり、資源不足の現実を感じている。

地域に出向き実施する在宅児支援は既に各部署が取り組んでいるが、主に地域事業部が担う久留米市立屏水中学校におけるタイムケア事業は4年目を迎え、より充実した内容で取り組めた。また、久留米市、うきは市、朝倉市における乳幼児健診後のフォロー教室等も順調に取り組んでいる。

<相談支援事業>

地域事業部が受け付けた相談や問い合わせは次の表の通りで、ご本人様（ご家族）からの問い合わせが多く、その他は相談支援事業所や行政、医療機関のソーシャルワーカーからの問い合わせであった。

問い合わせの内容	問い合わせ件数
① 入所利用について	25 件
② 短期入所・日中一時支援について	28 件
③ 通所利用や放課後デイ・保育所等訪問利用について	19 件
④ 外来療育・リハの利用について	54 件
⑤ その他の相談	18 件
⑥ 上記の相談に付随した送迎や見学依頼	27 件

①については、25件の問い合わせに対して法人全体で3名の入所につながっている。施設入所に関する問い合わせは、その大多数が療養介護に該当する超重症の方や介護保険適応クラスの高齢の方であり、入所を強く希望されても対応が難しく待機者リストにあげるにとどまっている現状である。

②についての問い合わせも重症の方が多く、診察、契約まで進み利用まで至ったケースは10例であった。こちらも、呼吸管理の必要な方など重症児（者）に対する短期入所の実施が困難な状態であり、課題といえる。

③の児童発達支援について、利用を希望され契約まで至ったケースは10例であった。放課後デイサービスは、通常のコアラ園終了後の15時以降の実施は出来ているものの、希望の多い長期休み中や15時以前の利用が実施出来ていないため、課題といえる。

④の外来療育・リハについては、29例が診察を経て療育・リハにつなげている。

⑤のその他の相談は18例あるが、サービス等利用計画に関係した相談が新たに発生している。

⑥の見学依頼については、11月から2月の期間、一部制限したものの期日変更などをお願いし、全て対応した。短期入所や日中一時支援に付随した送迎は、ゆうかり学園と田主丸特別支援学校間の送迎のみではあるが、実施出来ている。

#### <予約調整業務>

上記の相談受け付けから利用希望されたケースについては、外来や関係部署と連携をとりながら診察予約及び見学・説明等を行い、利用者様にとって安心してスムーズな利用開始を心掛けた。

#### <在宅支援業務>

地域事業部スタッフを派遣した在宅児・者支援は次の通りであった。

事業名	実施場所	回数
久留米市タイムケア事業	久留米市立屏水中学校	93回
朝倉市療育支援事業	朝倉市ピーポート甘木	24回
乳幼児発達診査事業	北筑後保健福祉環境事務所	2回

#### <出張関係>

11月20～21日 九州地区障がい者相談支援事業合同研修会（大村市）  
相談支援専門員1名

1月17日 重症心身障害児とともに生きる研修会  
相談支援専門員1名

1月27日 社会貢献セミナー（福岡市博多区）  
相談支援専門員1名

3月20日 社会福祉法人経営者セミナー（福岡市博多区）  
相談支援専門員1名

<その他>

- ・久留米市相談支援事業所連絡会出席…11回
- ・うきは市地域障害者協議会出席…児童部会、就労支援部会含め全4回
- ・5月14日 田主丸地区民生委員定例会出席
- ・7月22日 田主丸特別支援学校相談会出席
- ・8月6日 田主丸特別支援学校地域支援研修会出席
- ・8月6日～8日 田主丸特別支援学校職員の現場実習1名受入
- ・9月3日 久留米市難病支援勉強会出席
- ・9月9日 大橋校区民生委員定例会出席
- ・9月20日 田主丸特別支援学校進路講話講師として出席
- ・11月12日 朝倉私立幼稚園教職員研修会講師側として出席
- ・11月27日 田主丸特別支援学校相談会出席

**給食部（中央給食）**

給食部理念：栄養管理・健康管理に努め、真心のこもった調理で食の喜び、  
大切さを伝える。

(1) 給与栄養量

	熱量 (Kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)
平成26年4月	1960	73.1	51.6
5月	1985	73.4	54.9
6月	1965	74.9	52.5
7月	1933	72.0	52.6
8月	1992	72.8	53.2
9月	1916	73.8	47.6
10月	1922	74.1	48.4
11月	1938	71.7	49.9
12月	1866	67.7	47.1
平成27年1月	1910	70.7	46.1
2月	1939	68.9	52.1
3月	1928	69.7	48.8
平均	1938	71.9	50.4



(2) 喫食率 (%)

	おひさま寮	ともだち寮	なかよし寮
平成 26 年 4 月	97.6	93.5	96.4
5 月	98.0	92.4	97.5
6 月	98.2	92.4	97.7
7 月	97.8	92.2	96.2
8 月	97.4	92.1	97.9
9 月	98.3	92.0	96.4
10 月	98.1	92.7	98.2
11 月	94.7	93.2	95.6
12 月	97.3	92.8	97.4
平成 27 年 1 月	98.2	92.2	98.0
2 月	98.2	92.3	97.0
3 月	98.5	93.6	98.4
平均	97.7	92.6	97.2

(3) 行事食

平成 26 年 7 月 盆踊り大会

カレーライス、バナナ

模擬店（焼き鳥、たこ焼き、焼きそば、綿菓子、ジュース）

11 月 特別支援学校文化祭弁当

ゆかり御飯、卵焼き、エビフライ、肉団子

ブロッコリー、南瓜含め、プチトマト、リンゴ、桜大根

12 月 コアラ園クリスマス会

おにぎり、ローストチキン、卵焼き、ウインナー、ハンバーグ

サニーレタス、ミニトマト、スパゲティナポリタン、イチゴ

コーンスープ、ケーキ、ミニ菓子パン

ゆうかり医療療育センタークリスマス料理

オードブル（ピザ、テリーヌ、お好み焼き、コロケ、角煮まん）

ステーキ盛り合わせ、ケンタッキーフライドチキン盛り合わせ

おでん、ポタージュ、ケーキ盛り合わせ

フルーツ盛り合わせ（苺、オレンジ、メロン、キウイ）

いなり寿司、おにぎり（なかよし寮、ともだち寮）

茶わん蒸し（おひさま寮）

平成 27 年 1 月 おせち料理 元旦（昼）  
がめ煮、エビれんこん、松かさイカ、昆布巻、数の子  
エビのつや煮、お多福豆、紅白なます、角煮、卵焼き、かまぼこ  
栗の甘露煮、果物

(4) 研修関係

平成 26 年	7 月	定例報告等説明会	(久留米市)
	8 月	病院立ち入り検査説明会	(久留米市)
	8 月	特定給食施設等研修会	(久留米市)
	9 月	西日本肢体不自由児施設運営研究会	(北九州市)
	10 月	全国重症心身障害児施設職員研修会	(大阪市)
平成 27 年	2 月	重症児栄養研究会打ち合わせ	(糟屋郡)
	3 月	重症児（者）食・栄養研究会	(ゆうかり)
	3 月	地域福祉栄養士等研修会	(久留米市)

(5) 実習生の受け入れ

6/16(月)～6/21(土)

久留米信愛女学院短期大学より栄養士 2 名

(6) 衛生管理

- ① 食品の納品時、品質のチェックと納品時間記入  
(冷蔵品は表面温度記入、冷凍・冷蔵品は収納庫の温度記入)
- ② 手洗い液（アルボース）による手洗いとウエルパスによる消毒の励行
- ③ 調理時、中心温度計にて中心温度測定、記入
- ④ 調理の出来上がり時間記入
- ⑤ 調理後、冷蔵庫に入れるものは入れた時間・温度記入
- ⑥ 調理器具やシンクの除菌にアルコール、バリアス 1（食品添加物除菌剤）使用
- ⑦ 冷蔵庫の清掃、温度記入
- ⑧ 調理室の温度・湿度記入
- ⑨ 検収室の温度記入
- ⑩ 盛りつけ時、使い捨て手袋、使い捨てマスク使用
- ⑪ 洗浄室、下処理室にて専用のエプロン、スリッパ使用
- ⑫ 水質検査 始業前、終業後に残留塩素測定（毎日）  
業者による管理（毎月）

⑬ 細菌検査（検便）

腸管出血性大腸菌（O-157 他）を含む病原腸内細菌検査（毎月）

ノロウイルス抗原検査 10月、3月

⑭ 業者（トキワビル）によるネズミ・ゴキブリ駆除 毎月

(7) 給食委員会

構成メンバー 所長、事務局長、看護部長、薬剤師、看護課  
育成課、訓練課、給食部より代表者  
園生代表者（ともだち寮2名、なかよし寮2名）

開催回数 年9回

内容

今年度は、感染症拡大予防のために給食委員会が中止の時期があり、開催回数が9回となった。委員会開催が出来ない時にはメールや電話で連絡をとった。委員会の中では利用者様から料理の味付け、堅さ、見た目など多岐にわたり意見を出して頂いた。そのほか誕生会のメニュー、食器について、非常食についての検討なども行った。利用者様の意見が直接聞ける良い機会なので、今後も貴重な意見を参考に食事作りに取り組んでいきたい。

(8) まとめ

今年度は、千歳療護園の移転があり、千歳を含めた中央給食になった。当センターでは曜日によって御飯、麺、パンの日が決まっていたが、千歳療護園と一緒になるのを機に、ランダムな献立にした。利用者様には、前もって了解を得て、今までより変化のあるメニューになったと思う。

また、なかよし寮、ともだち寮では食事委員会が開催され、訓練、医務、育成、給食の職員が集まって、食事の形態、介助方法など検討を重ねてきた。他部署と関わることにより、給食だけで取り組むより、客観的な判断が得られ、手探りだった食形態の見直しも出来るのではないかと思われる。今後も少しずつ確実に取り組んでいきたい。

	主メニュー	おひさま寮	ともだち寮	なかよし寮
4月	オムライス	誕生者なし	あんこ入りパフェ	ケーキ アラモード
5月	カツ丼	チョコパフェ	あんみつ	チョコパフェ
6月	カツ丼	チョコパフェ	プリンアラモード	フルーツ アラモード
7月	焼肉丼	いちごパフェ	誕生者なし	チョコパフェ
8月	オムライス	フルーツパフェ	チョコパフェ	プリンアラモード
9月	うな丼	プリンアラモード	ムース	チョコパフェ
10月	焼肉丼	チョコパフェ	ケーキ	パフェ
11月	ちらしずし	フルーツ アラモード	パフェ	プリンアラモード
12月	オムライス	チョコパフェ	チョコパフェ	たこ焼き
1月	ビビンバ丼	いちごパフェ	ホットケーキ アラモード	チョコパフェ
2月	牛丼	ケーキ アラモード	いちごパフェ	プリンアラモード
3月	カツ丼	いちごパフェ	誕生者なし	ホットケーキ アラモード

## 総務部

### 《概要》

本年度の新任職員研修は、4月1日から4日間実施し、内容が充実した研修になるように心掛けた。対象者は、12名であった。

外部からの見学者は、12団体205名で、総務部管理課および地域事業部が受け付け案内した。見学はまず施設の沿革や概略を説明し、本館棟、ゆうかり医療療育センター三寮、地域支援棟・コアラ園、調理環境、千歳療護園、第二千歳療護園、耳納学園の順で巡回、見学にかかる所要時間は2時間を要した。耳納学園の見学を最後に計画し、売り上げ向上に貢献した。

施設見学の詳細は表の通りである。

月	日	曜日	時 間	団 体 名	人数
7	22	火	10:00～12:00	田主丸町耳納校区老人会第四クラブ	20
7	30	水	10:00～12:00	福岡県立嘉穂特別支援学校教職員	14
8	8	金	10:00～12:00	久留米市特別支援教育研究協議会（東部地区）	27
9	5	金	10:00～12:00	久留米市東国分校区まちづくり振興会高齢者学級	20
10	1	水	10:00～12:00	八女市身体障害者福祉協会（立花支部）	15
10	9	木	10:00～12:00	久留米市東国分校区まちづくり振興会女性学級	19
10	15	水	14:00～16:00	障害者支援施設もみじの里（第1班）	16
10	22	水	14:00～16:00	障害者支援施設もみじの里（第2班）	16
10	29	水	14:00～16:00	障害者支援施設もみじの里（第3班）	16
10	29	水	10:00～12:00	福岡市城南区堤地区人権尊重推進協議会	22
2	26	木	13:30～15:00	支援センターちとせ保護者会	4
3	13	金	14:00～16:00	朝倉市甘木地区コミュニティ協議会	16

## こもりぐま保育所

本園では、家庭に代わり子供達を預かり家庭内の温かさにより近づけるよう、愛情溢れたスキンシップの保育を目指してきた。健康で意欲的、創造的な心と身体を育成する目的で、戸外活動も取り入れており、自然に恵まれた環境の中、四季折々の果物・花・虫などと触れ合っている。また、毎年恒例のバス遠足と、月1回の買い物は、子供達が楽しみにしている行事のひとつである。

その他、個人の能力、年齢に合わせた生活習慣の習得を子供の発達状態をよく見極めて、無理なく個別指導をしている。そして、集団の中における協調性を遊びの中で養ってきた。

本園がまず何よりも、大切にしているのは家庭的雰囲気の中での保育である。そのためにも健康状態など、家庭との連絡を密に心掛けている。

【 平成 26 年度 利用児 】  
 延べ 676 人 開所日数 232 日 1 日平均 2.9 名

【 バス遠足（H26.10.30） 】  
 JR久留米 新幹線見学 ・ ゆめタウン

## 児童発達支援センター コアラ園

福祉型児童発達支援センターとして、3事業（①児童発達支援 ②放課後等デイサービス ③保育所等訪問支援）に取り組んだ。

### ①児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の便宜を付与することを目的とし、月曜日～金曜日の週5日、「あそび教室」というかたちで、グループ療育及び個別療育を実施した。内容として、基本的な生活習慣（食事・排泄・衣類着脱等）の獲得、感覚あそび、知育あそび、歌あそび、製作、母子あそび、運動あそび、プール、戸外あそびなど、個々の成長段階に合わせて提供した。遊びを通しての楽しさ、自己表現、作品完成への自信や達成感を味わうことを大切にし、不快ではなく、快な状態を出来るだけ多く提供する事を心掛けながら進めていった。

また、母子関係の安定と充実に努め、そこから対人関係づくりへと発展出来るように配慮し、集団における社会性や協調性を伸ばすことも目的とした。

年間行事としては、母親講座（11名参加）、親子レクリエーション（交流ホールにて38名参加）、クリスマス会（年長児17名・年中児13名・年少未満児18名参加）、卒園式（13名参加）などの園内行事と、海水浴（雨天時活動となり園内にて5名参加）、遠足（嬉野メルヘン村にて8名参加）、ゆうかり学園全体で行う盆踊り花火大会（36名参加）などの園外活動も行った。

また、月1回の避難訓練（12月は消防署立会い）を実施し、避難誘導等の訓練を園児、保護者と共に経験した。

その他、就学を迎える園児の保護者に対し、特別支援学校、特別支援学級の見学案内を行うとともに、並行通園をしている保育園、幼稚園への情報提供書の作成も行った。また、出産を迎える母親に対してのサポートとして、単独通園を受け入れた。地域へも出向き、久留米市、うきは市、朝倉市と連携をとりながら保育療育・子育てに関する相談業務を行い、地域支援事業・子育て支援事業を行った。年間で66名の契約利用児を受け入れ、1日平均で約10～15名の利用があった。

### ②放課後等デイサービス

生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与することを目的とし、月曜日～金曜日の週5日、15時～18時の時間帯で就学児を受け入れた。田主丸特別支援学校の生徒6名（高校生3名、中学生2名、小学生1名）、本郷小学校生徒1名（小学生1名）が利用している。

### ③保育所等訪問支援

当該施設を訪問し、当該施設における障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他の便宜を供与することを目的とし、事業をすすめるも今年度の利用実績はない。

#### <学校見学案内>

	期 日	学 校 名	参加保護者数	参加園児
1	6/10(火)	久留米市立特別支援学校	4名	1名
2	6/ 4(水)	田主丸特別支援学校	3名	1名
3	6/ 5(木)	日田特別支援学校	5名	0名
4	6/10(火)	小郡特別支援学校	7名	2名
5	6/17(火)	福岡視覚特別支援学校	1名	1名
6	7/ 2(水)	うきは市立御幸小学校特支学級	1名	1名
7	7/ 2(水)	うきは市立妹川小学校特支学級	1名	1名
8	7/ 3(木)	久留米市立山川小学校特支学級	3名	1名
9	7/16(水)	朝倉市立石小学校特支学級	3名	1名
10	7/16(水)	久留米市立水縄小学校特支学級	1名	0名
11	7/17(木)	日田市立石井小学校特支学級	2名	0名
12	7/17(木)	日田市立桂林小学校特支学級	2名	0名
13	7/17(木)	日田市立咸宜小学校特支学級	1名	0名
14	9/17(水)	うきは市立江南小学校特支学級	2名	1名
15	9/18(木)	久留米市立合川小学校特支学級	3名	1名
16	10/20(月)	日田市立三和小学校特支学級	1名	1名
17	10/22(水)	久留米市立南小学校特支学級	1名	1名
18	10/29(水)	久留米市立特別支援学校	1名	1名
19	11/ 4(火)	うきは市立妹川小学校特支学級	2名	1名

《心理検査》

発達検査	5
知能検査	16

上記の様に、必要に応じて発達検査並びに知能検査を行い、対象児の課題等を見  
つけ出すと共に、今後の療育方針を決定する上での参考資料としていった。

また、就学を迎える年長児への情報提供として実施した。

《通園児診断名》

診 断 名	該 当 児
構音障害	41
発達性協調運動障害	38
言語発達遅滞	32
自閉症スペクトラム障害	20
精神運動発達遅滞	19
言語発達障害	7
自閉性障害	6
運動発達遅滞	4
ダウン症候群	3
自閉症	2
摂食機能障害	2
気管切開	2
脳性麻痺	1
広汎性発達障害	1
裂脳症	1
滑脳症	1
セッケル症候群	1
ピエール・ロバン症候群	1
契約児 66 名（診断名複数該当あり）	

<出張関係>

出張名	出張者	期 日	会 場
幼児通園療育職員講習会	保育士 1名	H26. 1/26～1/30	心身障害児総合医療療育センター 療育研修所（東京）



## 相談支援事業所 夢の紀

### 〈概況〉

法人内全施設との連携をはじめ、久留米市障害福祉課、市内の他相談支援事業所並びにサービス事業所との連携を中心に、事業展開を行った。

医療型障害児施設をもつゆうかり学園の相談支援事業所としては、医療的ニーズを地域の中で強く求められており、ゆうかり医療療育センターと先駆相談支援事業所との連携で応えていった。地域における相談支援事業所として、これらの要望は今後もさらに求められてくるものであり、積極的に応えていく姿勢が必要である。

今年度はゆうかり医療療育センター、千歳療護園、耳納学園の入所利用者様の支援区分の更新に合わせたサービス等利用計画の策定が必要な年であり、サービス管理責任者および各所属長の協力を得ながら集中的に行った。法人施設入所者のサービス等利用計画の作成を中心的に行ったため、在宅生活者の相談に対してはその都度対応してきたが、十分な対応が出来なかった。法人内の相談支援事業所としての役割と共に、地域における相談支援事業所としての役割を果たしていきたい。

今後も、各市町村障害福祉課やサービス事業所等との連携を取りながら、法人施設利用者をはじめ地域生活における障がい児者への相談対応、並びにサービス等利用計画の作成・相談対応を行っていく。

### 【相談件数】

相談支援の種別	相談件数（述べ）
基本相談	地域事業部相談支援に記載
一般相談支援（地域移行・地域定着）	0件
特定相談支援	168件
障害児相談支援	18件
継続計画相談支援	7件

<今年度参加会議>

- ・久留米市相談支援事業所連絡会<くるめ相談ネット> (月1回)
- ・田主丸特別支援学校相談会(年3回)
- ・久留米市事業所ネットワーク協議会、研修会
- ・九州地区障がい者相談支援事業合同研修会
- ・八女筑後・久留米圏域相談支援従事者研修会
- ・久留米介護福祉サービス事業者連絡協議会
- ・医療ケア短期入所等支援体制整備事業
- ・田主丸校区民生委員定例会
- ・大橋校区民生委員定例会
- ・田主丸特別支援学校地域支援研修会
- ・久留米市難病支援勉強会出席
- ・田主丸特別支援学校進路講話(講師)

## 耳 納 学 園

### 《概況》

今年度の社会福祉を取り巻く環境に於いては、社会福祉法人制度改革が行われ、社会福祉法人の役割や存在意義が問われた年であった。施設内の処遇向上はもとより地域貢献や地域サービスの充実などが期待される一方で、社会福祉法人への課税の検討や報酬改定など厳しい内容の見直しが進められてきた。そのような中で当園は移転して2年目を迎え、利用者様は作業面・生活面ともに以前のような落ち着きを取り戻された一年であった。

作業面に於いては、恒例の「ゆめタウンくるめ展示即売会」をゆうかり学園職員の協力を得て今年度も開催することが出来た。残念ながら昨年の上実績を超えることは出来ず、ほぼ同等の収益であった。一年を通して陶芸・手工芸製品の販売高が伸び悩む中であって、今年度から本格的に生産を始めた食品加工部門の「焼き肉のたれ」は職員の口コミなどもあり、評判も良く着実に売り上げを伸ばしている。

生活面に於いては、冬場にノロウイルス感染症が発症したが、職員が初期対応策を実施したことにより、他の利用者様への感染は防止することが出来た。また、日頃から看護師による手洗い・うがい励行の声掛けや、栄養士による規則正しく食事を摂ることの重要性の話をするなどの働き掛けにより、利用者様が自ら意識してご自分の健康管理に努められるようになることを目指した。身体機能面では、利用者様ご本人が自覚された具体的な生活動作能力の低下防止を目的に訓練を受ける希望者を募り、ゆうかり医療療育センターの訓練部に依頼して、専門の訓練士より適切な訓練を受けることにした。また、入浴の介助スキルなども、実際にご本人の状況を訓練士に観てもらい、アドバイスを受けている。

利用者様からの園生活や人間関係への要望・苦情などには、日頃より素早く対応をして、要望の内容によっては利用者様との話し合いなどを持ち、問題解決に向けての対応策を見出し、直ぐに実施をすることにより快適な生活と仕事の場の実現に取り組んできた。

利用者様の利用状況については、年度内に3名(女性1名、男性2名)の方が退園され、男性2名は近隣(瀬高町、大刀洗町)の生活介護事業所へ、女性1名は法人内の生活介護事業所へ移られた。一方、入園の方は0名であった。3月末現在、施設入所事業の定員より2名減の在園32名で、入園希望の待機者は0名の状況である。

1) 本年度の各事業別利用状況

《施設入所支援》定員 34 名

年間延べ利用者数 12,261 名、充足率 98.8%、1 日平均利用者数 33.6 名

《就労継続支援 B 型》定員 40 名（通所 6 名含む）

年間作業参加実績延べ利用者数 7,931 名、定員から見た充足率 82.3%、

1 日平均作業参加実績利用者数 32.9 名

2) 本年度の地域別入退園状況は、別表（1）の通りである。

別表（1） 本年度の地域別入退園状況

地域別 入園状況	前年度末		入 園		退 園		本年度末	
	男	女	男	女	男	女	男	女
福岡市		1						1
久留米市	5	3					5	3
柳川市	1	4			1			4
朝倉市	2	1					2	1
大川市	1	1					1	1
小郡市		1						1
うきは市	2	2				1	2	1
太宰府市		1						1
新宮町		1						1
八女市	1	1					1	1
みやま市		1						1
大刀洗町	1				1			
上毛町	1						1	
東峰村	1						1	
唐津市	1						1	
武雄市	1						1	
佐賀白石町		1						1
計	17	18	0	0	2	1	15	17

### 【就労支援課】

本年度は、利用者の方々、職員共に新しい作業場に慣れてきたこともあり、昨年度に比べると生産活動をよりスムーズに展開することが出来た。

販売に於いては、これまで通り道の駅3ヶ所と三気堂薬局などの委託販売や出向販売、各種イベントへの参加や独自販売などを行い、売上の向上を目指した。とりわけ出向販売での売上高向上の大きな原動力となったのは食品加工部門の「焼肉のたれ」であり、発売以降売上は堅調な伸びを示し、リピーターも多く見受けられるなど確実に販売の裾野を広げている。今後は道の駅などでの委託販売も視野に入れ、安全性の確保や衛生管理などにより一層注力しなければならない。

販売の大きなイベントとしては、県内のセルフ製品が集結する「まごころ製品」大規模販売会が今回も福岡三越で5日間行われた。62施設が参加する中、当園も一応の売上を納めることが出来た。また、法人行事であり当園にとって最大のイベントでもある恒例の「ゆめタウン展示即売会」は昨年度の実績を踏まえ売上向上に対する高い意識を持って臨んだが、売上の面では昨年とほぼ同等の収益であった。今回、展示会終了後に期間中販売や搬入、搬出などの各作業に従事してもらった職員の方々に対してアンケート調査を行い、率直な意見を多数戴いており、今後の展示会運営の面で参考としていきたい。

今後も利用者様一人ひとりに適した作業内容、作業環境などに十分配慮し、仲間意識や連帯感を育みながら、生産活動や日常生活を送る上での更なる意欲の向上につなげていきたい。

1) 本年度の売上及び工賃支給状況は、別表(2)の通りである。

別表（2）売上及び工賃支給状況

月	売上金額	工賃支給額
4月	172,900	202,808
5月	917,912	204,201
6月	318,634	204,052
7月	314,993	202,264
8月	187,843	203,319
9月	329,360	204,304
10月	496,712	204,636
11月	351,926	206,541
12月	339,030	206,012
1月	1,838,779	570,132
2月	230,364	272,174
3月	769,008	271,104
合計	6,267,461	2,951,547

※ 本年度の工賃支給率は、47.1%

### 【厚生課】

今年度は、引っ越しから2年目となり利用者様も生活に慣れられて自分の部屋で一人おひとりが思い思いの生活を楽しんでおられるように観えた。

行事関係では、秋のボウリング大会の参加者を募集し、19名の方が参加された。4、5名ずつの5班にて久留米市内のボウリング場で実施した。久しぶりのボールの感触やピンがはじける音、ピンのそばでボールが曲がり残念そうな声、ストライクの時の歓声など楽しい時間を過ごした。また、今年も運動会が出来ないため保護者様にもご案内をして、利用者様、ボランティアの方と職員も参加して食事会とレクリエーションを行った。ボランティアの方には焼きそば・お好み焼を調理して戴き参加の皆さんに好評であった。食事後は、さかなつりゲームや玉入れゲームなどを参加者全員で行った。日頃このようなゲームをされることのない保護者様の真剣な表情を見ることが出来、とても楽しい一日であった。

生活面に於いては、利用者様より色々な要望が上がってきた。その都度、面談を行って利用者様の意見をよく聴いた上で、どうすれば困っていることが解決出来るのかを話し合い対策を考え実行してきた。職員がよく話を聴くことで利用者様の強い要求が収まっていく場面もあり傾聴することの大切さを感じるが多かった。次年度も、利用者様からの要望などの相談ごとには迅速に対応し、全職員で問題の解決に向けて取り組んで行きたい。

1) 本年度の在園期間別人員数及び平均在園期間は、別表(3)の通りである。

別表(3) 入園期間別人員数及び平均入所期間

区分	1年未満	1～5未満	5～10未満	10～15未満	15～20未満	20年以上	計	平均
男	0	3	0	2	2	8	15	33年9ヵ月
女	0	3	1	3	1	9	17	36年0ヵ月
計	0	6	1	5	3	17	32	34年10ヵ月

2) 本年度の年齢区分別人員数及び平均年齢は、別表(4)の通りである。

別表(4) 年齢区分別人員数及び平均年齢

区分	20歳未満	20～30歳未満	30～40歳未満	40～50歳未満	50歳以上	計	平均
男	0	0	2	3	10	15	52歳8ヵ月
女	0	1	1	6	9	17	51歳4ヵ月
計	0	1	3	9	19	32	52歳0ヵ月

3) 本年度の主な実施事項は、別表(5)の通りである。

別表(5) 主な実施事項

月	日	行 事	月	日	行 事
4	11	開園記念行事	10	19	1日レクリエーション
4	26	第25回 県身体障害者体育大会	10	23	ボウリング大会
5	6	保護者会臨時総会 (バーベキュー会)	10	28	ボウリング大会
6	20	夕食会	10	30	ボウリング大会
7	24	ゆうかり盆踊り大会 (ゲーム・ビデオ映写会)	11	21	夕食会
8	8	1日レクリエーション	12	25	もちつき・忘年会
9	30	ボウリング大会	2	19	1日レクリエーション (喫茶店)
10	9	ボウリング大会	3	12	1日レクリエーション (ラーメンを食べよう)

#### 4) 本年度実習生の受け入れ

高等部後期現場実習（小郡特別支援学校） 1名

保育実習Ⅰ（九州大谷短期大学） 4名

#### 【看護課】

今年度は、健康診断で全く異常無かった方が小脳梗塞を発症されたり、いつもと比べて活気が無いように感じたため受診した方が、精密検査の結果リウマチ性多発筋痛症の診断が出るなど、突然に発症したり、急激に症状が悪化される利用者様が目立った。

感染症では、嘔吐、下痢、発熱などで、16名の方に隔離対応し、その中の2名の方が検査の結果でノロウイルス感染症と判明したが、宿直者、日直者の初期対応及び隔離後の蔓延予防対策にて、その後の他利用者様への感染はなかった。

機能訓練は18名の方が受けられているが、感染症で中止になることが多々あった。今年度末はこのような寮担当の訓練士が出入り出来ない時の対応として、感染症の影響を受けない外来担当の訓練士が代理で訓練を行うという方法を取ったことにより、ご本人にとって週1回の訓練が中止になるという事態を減らすことが出来たので良い対応であったと思う。

今後、加齢とともに日常生活動作能力の低下が考えられるため、予防可能な疾病は利用者様と十分に話し合い、ご本人の自覚を高めることに努めたい。同時に転倒などによる外傷防止についても、適切な訓練を受けて歩行状態の安定を図ったり、各居室の環境整備を実施したりして、その予防に努めたい。

1) 月別受診人員数は別表(6)の通りである。



別表（6）月別受診人員

月別 疾病別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定期薬内服	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
呼吸器疾患	5	4	9	2	4	2	2	4	2	1	1	4	40
内科疾患	38	35	31	55	35	34	27	30	31	23	25	34	398
外傷性疾患	3	5	2	4	1	3	3	1	0	3	2	0	27
外科疾患	10	10	28	21	14	29	19	14	25	11	17	24	222
内科疾患	74	63	69	67	42	61	71	32	3	0	24	63	569
皮膚疾患	9	10	6	10	10	4	7	8	1	3	9	8	85
歯科	17	10	24	19	21	13	15	8	6	8	22	10	173
耳鼻科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
眼科	4	5	3	1	7	0	0	6	0	0	9	0	35
婦人科	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	16
精神科	1	1	3	2	3	3	3	2	2	2	2	3	27
入院	1	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	1	7
合計	165	145	178	183	141	152	151	108	74	53	113	149	1612

## 給食部

今年度は、千歳療護園の移転が8月にあり、中央給食として200食以上の食事を提供するようになった。それに伴い、曜日によって固定された献立が無くなった。小さい変化ではあるが、利用者様にとっては毎週の献立を見る楽しみが増えたように思われる。また、利用者様も健康を考える年齢になられ、健康について相談をされることも多くなったため、個人的な健康指導も行っている。

今後も美味しく、喜んでもらえる食事を提供し、健康で楽しく過ごしていただける様に支援を行っていきたいと思う。

### 1) 給食理念

栄養管理、健康管理に努め、真心のこもった調理により、食の喜びや食の大切さを伝える。

## 2) 給食計画

イ. 栄養指数による個人の喫食状態の把握

ロ. 個人特別食

糖尿病食 …………… エネルギー、炭水化物、脂肪制限

心臓病食 …………… エネルギー、塩分制限

腎臓病予防食 … たんぱく質、塩分制限

脂肪肝治療食 … エネルギー、脂肪制限

## 3) 行事食

平成 26 年	4/11	開園記念日	お弁当
	5/6	保護者会	バーベキュー
	7/24	盆踊り	カツカレー、焼きそば他
	8/8	レクリエーション	バーベキュー
	12/25	餅つき・忘年会	おでん、ケーキ、チキン、果物 飲み物
平成 27 年	1/1	おせち料理・お雑煮・お屠蘇	

## 4) 研修

平成 26 年	9 月	日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（東京）
	10 月	全国重心施設職員研修会（大阪）
	11 月	第 25 回福祉施設 QC 全国発表大会（東京）
平成 27 年	3 月	重心研修会（ゆうかり医療療育センター）

## 5) 衛生管理

- ① 冷蔵庫の掃除、温度計測、記入
- ② 納品時の品質のチェック（表面温度の測定含む）と納品時間の記入
- ③ アルボースによる手洗いとウエルパスによる消毒の励行
- ④ 調理の出来上がり時間記入
- ⑤ 検食の確保—原材料および調理済み食品を、食品毎に 50 g 程度ずつビニール袋に密封して、-20℃以下で 2 週間以上（学園では 3 週間）保存とする。
- ⑥ 水質検査 残留塩素の測定（始業前、終業後 1 日 2 回）  
業者による管理（毎月）… 理化学と細菌検査
- ⑦ 細菌検査 腸管出血性大腸菌（O-157 他）を含む病原腸内細菌検査（毎月）  
ノロウイルス抗原検査（10 月、3 月）
- ⑧ 調理済み食品の中心温度測定

- ⑨ 使い捨て手袋の使用（盛り付け・調理済み食品に触れる時）
- ⑩ アルコールによる除菌（調理器具・シンクなど）
- ⑪ 業者（トキワビル）によるネズミ・ゴキブリ駆除（毎月）
- ⑫ 調理室の温度・湿度記入
- ⑬ 検収室の温度記入
- ⑭ 洗浄室、下処理室にて専用のエプロン、スリッパ使用

#### 6) 給食会議

給食会議は、利用者様(代表)の休憩時間を利用して行ってきた。しかし、移転後、作業棟と住居棟までの距離も長くなり、休憩時間内に移動して話し合うのは時間が限られているため会議を行うことが難しく、集まることが困難になり、今年度は開催することができなかった。今後の給食会議についての話し合いを3月の自治会(全員参加)で行い、次年度より自治会の開催日に一緒に月1回の給食会議を行うように決定した。

#### 7) 調理実習

平成26年 6/20(金) そば、おにぎり、デザート  
 11/21(金) 鍋(しゃぶしゃぶ、カレー)

#### 8) 誕生日メニュー

H26年4月	2名	ガーリックライス盛り合わせ、スープ
5月	6名	天ぷらの盛り合わせ、卵豆腐、すまし
6月	1名	から揚げの盛り合わせ、枝豆腐、味噌汁
7月	5名	トルコライス、豆腐サラダ、スープ
8月	2名	ステーキ丼、茶碗蒸し、すまし
9月	1名	ステーキ丼、茶碗蒸し、すまし
10月	3名	牛丼、ポテトサラダ、すまし
11月	4名	カツ丼、わかめスープ、サラダ
12月	2名	炊き込み御飯、天ぷらの盛り合わせ、すまし
H27年1月	3名	牛丼、野菜サラダ、すまし
2月	2名	から揚げ丼、マカロニサラダ、すまし
3月	2名	ステーキ丼、サラダ、すまし

\*誕生日者にはデザートを出している。

9) 栄養給与量は表(7)の通りである。

別表(7) 栄養給与量

月区分	熱量 (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)
平成 26 年 4 月	1991	73.0	51.6
5 月	1991	73.0	53.8
6 月	1991	74.4	52.4
7 月	1971	72.6	51.2
8 月	2003	72.5	52.9
9 月	1763	71.0	48.0
10 月	1772	71.5	48.2
11 月	1764	68.6	48.8
12 月	1766	68.6	49.8
平成 27 年 1 月	1783	70.2	48.7
2 月	1841	69.8	56.1
3 月	1818	69.7	51.8
合 計	22454	854.9	613.3
平 均	1871	71.24	51.1

【26 年度研修等出張記録】

期日（期間）	研 修 会 名 称	出張先	参加数
H26 5/14	社会福祉法人役員施設役職者研修会	久留米市	1
6/10	県社協 感染症予防研修	大野城市	1
6/12	県身障協第1回施設長・職員研修会	久留米市	3
6/13	介護食&病院食ソリューションセミナー	福岡市	1
6/20	県セルフ協第1回施設長・職員研修会	福岡市	3
7/ 3 11/19	県社協 事務職員研修	春日市	1
8/27	出店者説明会、県食品表示制度研修会	福岡市	2
9/ 5～7	日本摂食嚥下リハビリ学会学術大会	東京都	1
9/11, 12	九州身体障害児者施設研究大会	佐賀市	3
10/ 7, 8 12/ 5	県社協 リスクマネジメント研修	福岡市	1
10/15～17	全国重心施設職員研修会調理師コース	大阪市	1
10/21	県 社会福祉大会	春日市	1
11/ 5～ 7	九州セルフ研究大会	大分市	2
11/18, 19	第25回「福祉QC」全国発表大会	東京都	1
12/ 9, 15, 16	H26 年度 県相談支援従事者現任研修	福岡市	1
H27 1/14	県社協 身障者施設職員研修	春日市	1
1/28, 29	県障害者虐待防止権利擁護研修	福岡市	1
2/12	県身障協第2回施設長・職員研修会	春日市	2
2/25～27	全国社会就労センター長研修会	横浜市	1
2/26	障害者施設向け官公需先行事例研修会	福岡市	1
3/17	県社協 管理系研修Ⅱ	春日市	2
3/18	県セルフ協第2回施設長・職員研修会	春日市	1
3/24	県身障協 第2回施設長会	春日市	1
3/25	県事業及び共同受注窓口の説明会	春日市	2

## 千歳療護園

### 《概況》

4月より消費税が5%から8%へ増税になり、8月には広島市北部の土砂災害、9月には御嶽山噴火、10月には大型台風が2週連続で列島に上陸し、各地に多くの死傷者を出し、自然災害が多い年であった。

今年度最大の出来事は移転である。平成24年7月の九州北部豪雨の避難生活を期に、久留米市より千歳の新築移転計画について早期移転の打診を受け、平成25年度社会福祉施設等耐震化整備事業として協議書の提出を行い、行政機関である福岡県並びに久留米市にご配慮を頂き、平成26年7月末に竣工、8月の移転に向けて準備を進めて来た。8月に引っ越し作業を無事に終え、新しい施設での生活が始まった。引っ越し当日は台風12号の影響で多少の雨には見舞われたが、直接的な影響は受けず作業は思ったよりスムーズに出来た。

今まで山の斜面に施設があり災害発生時などの避難は安易なものではなかったが、今回の移転により利用者様にとっては最も重要な安全性の確保が可能となった。

新築移転を契機に、より質の高いきめ細かなサービスを提供出来るようユニットケア方式を取り入れ定員を変更した。今までの千歳療護園を定員変更し医療的ケアの大きい利用者様を中心に入所支援40名、生活介護50名、短期入所2名で、現在男性21名、女性20名、計41名の方が利用されている。

新しい施設は平屋で全室個室となり、入浴も天然温泉を提供出来るようになった。また、中央給食になったことにより温冷配膳車を導入し、温かい食事は温かく、冷たい食事は冷たく、献立に合った食事が提供出来るようにした。

法人内の全施設がこの地、中尾に集まり、千歳療護園としては、入所機能を核としながらも地域に開かれた総合的な障害者支援の拠点としての役割を果たすことが求められている。

社会福祉法人の在り方について、透明性確保の観点から財務諸表等の情報開示・公表、地域における公益的な活動の義務化などが本年法案化される見通しとなり、また、社会福祉法人への課税については、今回は先送りになる方向で一安心という感じだが、非課税扱いに相応しい健全な施設運営に努めていかなければならない。次年度は報酬改定も行われる予定で施設運営は益々厳しいものとなっていく。

設備面では施設が新しくなると共に入浴も温泉になり週3回の入浴を楽しみにしているが、利用者様からの要望もあり、4週の内2週は週2回の入浴に変更し、外出等の試行を行っている。外部団体からの招待については、出来るだけ参加する方向で取り組んでいるが、インフルエンザやノロウイルス感染症等により、冬季の外

出が制限される事も多くなってきている。実施していく中で有償の付添者やガイドヘルパー等の社会資源の情報提供等マンパワーの確保が課題である。

利用者様へは個別支援計画の見直しや聴き取りを行い、細やかなサービスの提供に力を入れている。また、サービス管理責任者を中心に各利用者様への“提供サービス確認表”の作成も継続し、月に一度チェックを行っている。

毎年10月に行われていた“法人全体のゆうかり大運動会”は久留米市東部運動公園建設中のため今年も中止となり、各施設・寮にてレクリエーション大会が行われた。千歳療護園・第二千歳療護園合同で千歳療護園の食堂周辺を利用し、工夫を凝らした全員参加のレクリエーションには利用者様はもちろんの事、当日参加されたご家族の皆様にも好評でとても喜んで頂いた。

尚、移転にあたり、紙オムツ納入業者、リネン業者について入札を行い、コストの削減をはかった。又、これまで職員で実施していた施設内清掃業務を業者に委託したことにより、職員の負担軽減となり、その時間を利用者サービスにあてる事が出来た。

## 総務部

### <千歳療護園 経理・庶務課>

- ① 本年度の4月～7月の利用人員は、生活介護は延 10,980 名、96.1%、施設入所支援は延 9,760 名で 101.9%の充足率である。
- ② 本年度の4月～7月のショートステイ利用者は延 36 名、日中一時利用者はなかった。
- ③ 本年度の8月～3月の利用人員は、生活介護は延 10,908 名、92.0%、施設入所支援は延 10,110 名で 106.0%であった。
- ④ 本年度の8月～3月のショートステイ利用者は 73 名、日中一時利用者はなかった。
- ⑤ 本年度の利用者の地域別入退所者状況は別表（1）による。

<給食課>

1) 給食方針

食事は楽しく美味しく食べていただき、かつ健康維持に努める。

身体活動はもちろん心の安定にも繋がるものと考え、利用者様の意欲の向上（食の意欲、生きる意欲、活動する意欲）また、生活支援すべてに関わるものと考え、毎日の給食が利用者様にとって体と心の栄養となるように努めたいと思う。

2) 食糧構成基準量と給与量の比較は別表の通りである。

別表 食糧構成基準量と給与量の比較

食 品 量 表			
食品群別		1人1日あたりの使用量 (g)	食糧構成 (g)
動物性食品	魚介類	71	60
	獣鳥肉類	75	70
	乳類	51	70
	卵類	23	25
野菜果実類	緑黄色野菜類	94	80
	淡色野菜類	190	180
	海藻類	7	5
	いも類	42	45
	果実類	42	60
穀類	米	166	175
	パン類	19	20
	麺類	56	45
豆類	大豆食品	31	35
	豆 類		
	味噌類	13	15
油脂調味料	油脂類	19	12
	砂糖類	8	8
*Caの補充として1人1日3gの乳カル酵素を使用。 ビタミン強化にポリライス1人2g使用。			



3) 栄養給与量は別表の通りである。

別表 栄養給与量

	熱量 (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)
平成 26 年 4 月	1539	61.7	42.4
5 月	1586	61.9	47.7
6 月	1589	61.8	48.1
7 月	1581	63.1	47.3
8 月	1564	61.6	46.4
9 月	1533	61.0	42.7
10 月	1573	63.5	43.7
11 月	1558	62.1	42.4
12 月	1628	63.4	50.5
平成 27 年 1 月	1636	67.1	46.4
2 月	1572	59.8	46.6
3 月	1574	63.3	45.1
合 計	18933	750.3	549.3
平 均	1578	62.5	45.8

#### 4) 給食計画

イ. 喫食状態の把握

ロ. 特別食

糖尿病食 (2名) ……摂取カロリー、炭水化物、塩分の制限

透析食 (1名) ……蛋白、脂質、炭水化物、塩分、K、P、水分の制限

減塩食 (2名) ……5g/日 (2名)、7g/日 (3名)

減脂食 (2名) ……出来る範囲での脂肪制限

#### 5) 行事食

- H26 4/ 2 開園記念日 花見弁当、紅白饅頭
- 7/24 盆踊り大会 カレーライス、模擬店 (焼き鳥、焼きそば、タコ焼き  
かき氷 他)
- 8/10 新千歳、第二千歳へ移転 昼食より新転地にて給食開始
- 10/19 レクリエーション大会 弁当
- 12/11 浮羽消防署指導避難訓練、餅つき慰問  
餅 (おろし餅、餡餅)、おにぎり
- 12/24 忘年会 お弁当形式、オードブル、ケーキ、飲み物 他

H27 1/ 1 正月 おせち料理 (1日)  
 1/ 7 七草粥 七草の味噌汁 他  
 1/13 どんど焼き ぜんざい

## 6) 誕生会

\*希望メニューにスイーツ (デザート)

H26年 4月 サラダ風ちらしずし、すまし、シュークリーム他  
 5月 サイコロステーキ、サラダ、ケーキ、ジュース他  
 6月 魚の南蛮丼、すまし、ケーキ、飲み物  
 7月 巻きずし、いなりずし、すまし、ケーキ、ジュース他  
 8月 ギョーザ、野菜、ブロッコリーソテー、ケーキ、ジュース他  
 9月 吹き寄せご飯、すまし、酢の物、モンブランケーキ  
 野菜ジュース他  
 10月 秋刀魚のかば焼き丼、きのこ野菜のソテー、ケーキ、ジュース  
 11月 ぎんなんごはん、きじ焼き、含め煮、白菜のクリーム煮、ケーキ  
 野菜ジュース、ビール  
 12月 ビーフシチュー、ビーンズサラダ、シュークリーム  
 野菜ジュース、ビール  
 H27年 1月 かにクリームコロッケ、織野菜、みかん缶、ポテトサラダ  
 ケーキ、ビール、野菜ジュース  
 2月 ギョーザスープ、茄子とトマトのチーズ焼き、ケーキ、ビール  
 ジュース  
 3月 ミンチカツ、野菜、えびとブロッコリーのサラダ、ケーキ  
 ジュース、ビール

その他に各個人の誕生日にバースデーカードを添えて、本人の希望のメニューを1品出すようにする。

## 7) 出張関係

H26	5/23	特定給食施設研修会	(久留米)	栄養士	1名	出席
	6/10	感染症予防研修	(春日)	栄養士	1名	出席
H27	3/13	特定給食施設等研修会	(久留米)	栄養士	1名	出席

## 8) 衛生管理

- ① 生鮮食品は夕食分は当日納品とし、昼食分に関しては前日納品とし、品物によっては時間指定とした  
(肉、魚、冷蔵品に関しては、納品時に表面温度の測定)
- ② 納品時の品質のチェックと納品時間の記入
- ③ アルボース・ウエルパスによる手洗い、殺菌の徹底
- ④ バリアスにて除菌 (下膳車)
- ⑤ ノロ感染予防に調理棟入口にテキサント溶液に浸した足ふきマットを準備する。
- ⑥ 調理の出来上がり時間、中心温度 (1分 85℃以上を基準) 記入
- ⑦ 保冷開始時間、終了時間記入
- ⑧ 作業前の衛生検査
- ⑨ 検食の確保—原材料および調理済み食品を食品ごとに 50g 程度ずつビニール袋に密封して-20℃以下で2週間以上保存とする。
- ⑩ 水質検査 給水方式 (井戸水) による規定に基づき残留塩素の測定 (始業前後1日2回)、業者による管理 (毎月・理化学と細菌検査)
- ⑪ 細菌検査 毎月：病原性腸内細菌検査  
10月、3月：ノロウイルス抗原検査
- ⑫ 使い捨て手袋の使用 (盛り付け・調理済み食品に触れる時、手指の怪我など)
- ⑬ アルコールによる除菌 (調理器具・シンクなど) 次亜鉛素酸 Na (200ppm) による消毒 (ノロウイルス) ,  
バリアスー1 (ノロウイルス対応) による除菌
- ⑭ 業者委託によるゴキブリ駆除、ねずみ駆除

## 9) 味彩クラブ

- H26 5/15 味彩クラブ  
6、7月の誕生会希望メニュー  
移転後の希望メニューはどうなるのか。また代替えはしてもらえるのか等  
パンの日プッチンジャムを付けて欲しい
- 7/ 9 味彩クラブ  
8、9月の誕生会希望メニュー  
移転後について

- 9/11 味彩クラブ  
10、11、12月の誕生日希望メニュー  
移転してからの感想、意見、要望など
- 11/10 味彩クラブ  
1、2月の誕生日希望メニュー  
忘年会の希望について
- H27 1/15 味彩クラブ  
3月の誕生日希望メニュー  
忘年会、お正月、どんと焼きについての反省、意見など
- 3/12 味彩クラブ  
4、5月の誕生日希望メニュー

## 11) まとめ

この1年は移転があり、単独の給食施設から中央給食となり個別対応、食形態、勤務の流れ等いろいろな面で壁にぶつかり苦労しているところである。しかし、個別対応については新転地になり調整をしていく中、思わぬところで今まで食べられなかったものが食べられるようになられたりして、好転したことも多く個別対応の見直しを徐々にしていく必要性を感じた。

又、今年度は中央給食となることもあり各個人の誕生日にはささやかではあるが、希望の食べ物とバースデーカードを添えて出した。ご家族の方からも喜びの声を頂き、これからも続けていきとたいと思う。

新しい居室の生活で利用者様の心と体のケアをしていくために、各スタッフと連携を深め、給食課として楽しい食生活を送って頂けるよう努力していきたい。

## 生活部

### (1) 生活援助課

(パートナー係)

ケアプランのニーズを中心に利用者様の立場に立った利用者様本位のサービス提供を基本において、月1回の自治会役員の方との話し合い（暖和会）や園長との懇談会、職員との懇談会、利用者様の話し合いの場（ちとせ会）を通して利用者様の自主性・選択性・対等性を尊重しながら働きかけを行ってきた。

利用者様のニーズとして最も多い外出行事に関しては、利用者様からの希望によ

りコンサートやナイター観戦、障害者スポーツ大会等の希望外出については例年通り実施することが出来たが、6月下旬より8月の移転に備え、利用者様の荷物の整理、備品の確認、不用品の廃棄作業等に人員と時間をとられ、施設からの外出の行事は殆ど実施することが出来なかった。8月より千歳療護園、第二千歳療護園として新たな生活が始まったが、今年度は殆どの利用者様が障害支援区分の見直しの年となっていた為、各市町村からの区分認定の聴き取り調査が9月の中旬より始まり例年のような午前中、又は午後からの短時間の外出も出来ない状況であった。外出に変わる活動として、千歳、第二千歳ともに食堂に収納式の大型スクリーンを設置している為、移転後はそれぞれプロジェクターによるビデオ視聴やカラオケをほぼ毎日実施してきた。11月よりその月の誕生者を対象に午前中と午後に短時間ではあるが近隣のショッピングセンターへ買物外出を実施中である。今年度の行事としての外出回数は11回、延べ人数35名で、昨年度の外出回数29回、延べ人数53名から大幅に減少している。また外部の有料の外出サービスを利用される方については昨年とほぼ同等の回数と人数で、これらのサービスを利用する際の業者との連絡、日時の調整、料金の支払いなどを利用者様に依頼され代行している。今後も誕生月の利用者様の外出を継続し、利用者様からの希望外出やナイターやコンサートなどの招待があれば前向きに検討していきたいと考えている。

月1回の生け花では毎回その季節の美しい花を生け、千歳、第二千歳の各所に飾っている。誕生会についてはそれぞれの施設で実施することが難しく、月1回誕生会メニューの日を設定し、希望者には少量ではあるが夕食時にビール等のアルコール類を飲んで頂いている。

来年度に向け、現在、日中活動の再検討と試行を実施している状態であり、今以上の外出機会を増やすことが難しい状況の中、第二千歳療護園、各部署と連携し、日中活動の更なる充実を行い、利用者様が快適で楽しく、安心、安全に生活を送れるようなサービスを提供していかなければならないと考えている。

週生活表は別表(2)、年間実施行事は別表(3)の通りである。

#### (サポート係)

平成24年7月の九州北部豪雨にて千歳の移転計画が早まり、平成26年8月に移転という形になった。8月の移転までは、千歳療護園として生活介護90名(支援センター含む)施設入所80名、短期入所4名にて利用者様の生活を支援させて頂いていたが、移転に伴ってゆとりある介護・支援が十分に提供出来るようにと、千歳は定員を減員し、生活介護50名(支援センター含む)、施設入所40名(実人数41名)短期入所2名(実人数1名)となり、第二千歳を新設し生活介護40名、施設入所40名(実人数41名)短期入所2名(実人数1名)という2つの施設になった。

その中で、死亡退園(千歳・男1名)、入園(第二千歳・男1名・千歳・女1名)で現在は構成されている。

千歳での居室は、皆の集まる食堂を中心とし、その食堂を囲むように各居室があり、どの部屋からも外の景色が見え、また平屋作りで全室個室となり各居室には大きめの窓を設置し、緊急時にはベッドごと外に出られる様にした。

12月には利用者の希望でもあった32型のTVも許可され、音を気にすることなく其々の空間を楽しめるようになった。

入浴は温泉が設備され、同性介助にて基本的に週3回の入浴を実施している。泉質は、茶色でトロリとしており、お湯貯めも今までは1時間程かかっていたが、10分で準備出来、水不足でお風呂に入れないという心配も無くなった。

食事については、温冷配膳により、熱い物は熱く・冷たい物は冷やして提供出来るようになり、味噌汁が冷たい！等の不満を聞く事もなく満足頂いている。利用者様の一番の楽しみである食事の充実は、食事時、お茶碗の蓋を取っている表情からも伺えるようになった。

また、ゆうかり医療療育センターと同じ敷地となり、夜間帯など体調が悪くなくても即対応出来るという、安心感もある。今年度はインフルエンザが1名でしたが、他利用者に感染すること無く、個室の利便性も実感出来た。ノロウイルスについては、手洗いや換気、掃除などの予防の効果で罹患者が出なかった。個別支援計画については、担当職員が中心となり利用者様の意向を聴きながら計画書を作成している。今迄の同室者様への遠慮や居室の狭さからくる片づけ等の要望については、移転により解消された方も多く、新たな楽しみとして、散歩が安全に自由に出来るようになりストレスが無くなった方や、今迄会えなかった他施設の人に会えるようになり行動範囲が広がった方なども見受けられる。

外出についても11月より誕生月の方を中心に実行出来ており、今までと違った個別支援が作成され、利用者様の要望に添える形でスタッフ一同関わり実行して行きたいと思っている。園での行事(開園記念日・盆踊り大会・納涼祭・運動会・餅つき・忘年会など)の他に、希望外出にて野球やラグビー観戦・買い物等も行っている。施設を利用される方の重度化・加齢に伴う医療的ケアの増加、突然の状態の変化など、常に利用者様の状態の把握に努め、緊張感を持って効率的で質の高いサービスを提供し安全に安心した生活を支援するために、スキルアップ、ケアの質の向上に努めて行きたい。

## (2) 訓練援助課

新築・移転を契機に減員された千歳療護園では、男性 21 名、女性 20 名、計 41 名の利用者様に対し、理学療法士 1 名・機能訓練員 1 名で実施、利用者様一人当たりの訓練回数は身体状況によって週 1～2 回実施し、個別に係る事でより充実した訓練内容となるよう援助を行った。

訓練内容については、利用者様の状態に合わせて体力・筋力の維持、関節可動域の維持、残存機能維持、痛みの軽減を目的とした内容を実施している。実施内容については下記の通りである。また、スキルスクリーンやスキルギャラリー等の作品制作を行うことで手指巧緻性の維持を図りながら、作品を作る事の楽しさや完成した時の喜びを味わう事が出来るように訓練内容に組み入れている。高齢化に伴い体力・筋力の低下や身体の痛みを訴える利用者様が増えており、体力・筋力低下の著しい利用者様には訓練時間以外に自主訓練を行い体力の維持に努め、身体の痛みを訴える利用者様に対してはマッサージやホットパックを施行し痛みの軽減に努めた。訓練援助を行いながらより多くのコミュニケーションを取り、悩みや思いを聞く事でストレスの解消、精神的にも落ち着く事が出来るよう援助を行っている。

車椅子管理、補装具の交付・修理申請手続きについても引き続き訓練援助課にて行っており、移転以降では車椅子交付申請 3 件、車椅子修理申請 10 件、装具修理申請 1 件、福祉用品の購入 4 件を行った。

### (訓練内容)

- 関節可動域維持訓練
- 体力、筋力維持訓練(腕立て、腹筋、背筋、スクワット、バンド等)
- 巧緻動作訓練(紐通し、パズル、はめ絵等)
- 姿勢保持訓練(立位、座位バランス等)
- 日常生活動作訓練(車椅子移動、移乗動作等)
- 歩行訓練(杖歩行、歩行器歩行)
- 趣味活動(スキルスクリーン制作、ゲーム、野球等)
- リラクゼーション(上田法、マッサージ、ホットパック、プロンキーパー等)
- 電動車椅子操作練習

### (3) 生活部相談援助課

#### 《概況》

平成 26 年度は、8 月に引越しがあり千歳は、生活介護 50 名、施設入所 40 名の事業開始となった。相談援助課は、両施設兼務で携わり、業務は引越し前の内容を継続した。一般生活援助業務（食事、入浴、排泄、移動等）で関わりを深めながら利用者様一人ひとりの一日の生活の流れ、身体面、精神面、対人面などを把握することに努めた。また、利用者様一人ひとりと個別活動や集団活動を通してコミュニケーションを図り、更なる信頼関係の構築にも努め知能・発達検査も行った。

そして、情緒の安定を目的として行ってきた読み聞かせの活動を、千歳、第二千歳の相談室の二ヶ所で実施し、前頭前野の活性化を図るためにカードのインプット等にも取り組んだ。

また、引越し後は全室個室となり、プライバシーや一人になれる空間を確保出来る等のメリットはあるものの、他者と関わるコミュニケーションでは希薄になる等のデメリットの部分もあると思われる。そこで、孤独感を感じさせないように各室に出向いた折に、以前以上にコミュニケーションを密にとるように心掛け配慮した。

#### (援助内容)

- ① 面談活動（カタルシス）
- ② 散歩療法（発散、リフレッシュ）
- ③ 表現療法（遊び活動、自己表現、生きがい、興味拡大、信頼関係）
- ④ ポジショニング（リラクゼーション、慢性痛の軽減、QOL の拡大等）
- ⑤ 前頭前野活性化法（読み聞かせ、公文カード、ドリル等）
- ⑥ 介護全般
- ⑦ メンタルヘルス（ドライブ外出、カウンセリング）
- ⑧ 環境整備、その他

#### (心理検査)

発達検査（ 0 回）

知能検査（ 3 回）

性格検査（ 0 回）



#### (4) 生活部看護課

平成 26 年 8 月 千歳療護園は、久留米市田主丸町中尾 1278-8 に新築移転した。  
(生活介護 50 名 (内 10 名通所)・入所利用者 40 名) 新居は、完全個室となり利用者個別の支援もさまざまである。障害者支援施設に於て利用者様の高齢化、障害の重度化・重複化に伴い、園内で医療的行為を必要とする利用者様が徐々に増加する傾向であり対策が必要となる。また、医療的行為が必要な利用者様を積極的に受け入れる事が出来る様にと、福岡県介護士等における喀痰吸引等の研修を受講させ認定者が一人でも増える様に努めている。今後も生活環境の変化に伴う利用者様の気持ちの変化や体調の変化等に気を配り、観察し異常の早期発見に努めて行く事が大切である。また、定期的な協力病院への受診が必要な方々のフォローを行って行く必要があり、今後も協力病院との連携は不可欠である。

《平成 26 年度》

##### ① 院内感染症対策委員会の取り組み

本年度も平成 26 年 11 月より季節性・新型インフルエンザの予防対策として、職員の手洗い励行・出勤時の体温測定・面会者への手指消毒・マスク着用・感染症アンケートの実施など取り組みを行った。また、『外部より感染症を持ち込まない・持ち込ませない』事への意識も定着し、利用者の感染症発生は無かった。  
※一部の地域でインフルエンザウイルス A 型・B 型が流行し、職員家族の罹患により、インフルエンザに罹患し自宅待機となった職員が 1 名あった。

手洗いパトロール報告 (5 月・9 月・1 月)

##### ② 今年度も季節性インフルエンザ予防接種を実施した。

(11 月に利用者・職員)

##### ③ 平成 26 年度福岡県喀痰吸引等研修事業 (特定の者) の講師依頼あり出張 1 名

基本研修：(1 期、演習) 平成 26 年 10 月 27・28・30 日

(2 期、演習) 平成 26 年 12 月 9・15・20 日

(北九州レインボープラザ・エールピア久留米・飯塚研修開発センター・南近代ビル・TNC 放送会館)

##### ④ 現場演習：介護職員 1 名 (口腔吸引・鼻腔吸引) 11 月 18・19・20 日実施

実地研修：介護職員 1 名 (口腔吸引・鼻腔吸引) 11 月 25・26 日実施

##### ⑤ 平成 26 年 10 月 2 日：障害者福祉施設・高齢者施設における感染症予防研修会

「結核及びノロウイルスによる感染症予防対策について」 出張：1 名

今後も利用者様の健康管理・衛生管理を行いサービスの向上に努めて行きたい。

☆疾病表は、別表 (5-1) ~ (5-7) の通りである。

別表(1)

地域別入退園者状況表

平成26年度

	福祉名	区分	前年度末 人員	本年度 入所人員	本年度 退所人員	本年度末 人員	性 別		備 考
							男性	女性	
町 村 福 祉 関 係	志 免 町		1			1		1	
	上 陽 町								
	大 木 町		2		2				
	大 和 町								
	那 珂 川 町								
	星 野 村								
	矢 部 村								
	苧 田 町		1		1				
	筑 前 町		1		1				
	福 智 町		1		1				
小 計		6	0	5	1	0	1		
市 福 祉 関 係	福 岡 市		7		5	2	1	1	
	北 九 州 市		5		2	3	2	1	1名は退園(自宅へ)
	大 牟 田 市		4		2	2	2		
	久 留 米 市		15		9	6	4	2	
	直 方 市								
	飯 塚 市		2		2				
	田 川 市		2			2		2	
	柳 川 市		7		2	5	2	3	
	宗 像 市		1			1	1		
	八 女 市		3		1	2	1	1	
	筑 後 市		1		1				死亡退園
	大 川 市		5		1	4	1	3	
	小 郡 市		1		1				
	筑 紫 野 市		3		2	1	1		
	春 日 市		1			1		1	
	大 野 城 市								
	糸 島 市		1			1	1		
	山 田 市								
	行 橋 市								
	豊 前 市								
中 間 市									
古 賀 市									
う き は 市		6	1	3	4	1	3		
朝 倉 市		5	1	3	3	3			
み や ま 市		4		3	1	1			
福 津 市									
小 計		73	2	37	38	21	17		
県 外	鳥 栖 市		1			1		1	
	日 田 市		1			1		1	
	小 計		2	0	0	2	0	2	
合 計		81	2	42	41	21	20		

別表 (2)

週 生 活 表

千歳療護園

曜日	月	火	水	木	金	土	日
時間							
6:30	起床						
8:00	着替・洗面・移動 朝食						
9:00	移動・排泄・歯磨き (朝礼・申し送り) (寝具交換・掃除)						
9:30	入浴 (女性)	入浴 (男性)	入浴 (女性)	入浴 (男性)	入浴 (女性)	入浴 (男性)	園長懇談会
10:30	訓	訓	訓	訓	訓	訓	
11:00	練	練	練	練	練	練	
12:00	昼食 移動・排泄・歯磨き						
13:30	入浴 (女性)	入浴 (男性)	入浴 (女性)	入浴 (男性)	入浴 (女性)	入浴 (男性)	
14:00	訓	訓	訓	訓	訓	訓	
15:00	練	練	練	練	練	練	
16:00			暖一会				
16:20	※ 入浴は、千歳と第二千歳を1ヶ月交代で午前と午後を入れ替えて実施						
17:00	夕食						
18:00	歯磨き(自立者一部)、後片付け、排泄						
19:00	着替え、自由時間						
20:00	歯磨き(介助者) 歯磨き(自立者)						
21:00	消 灯						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 月 曜 日 ビデオ視聴又はカラオケ(月～木の午後毎日実施)</li> <li>○ 火 曜 日 利用者買物(隔週)</li> <li>○ 水 曜 日 定期診察(男女月1回)、療育会議(外部講師・カンファレンス・園長講義) 暖一会(第2週)</li> <li>○ 木 曜 日 ちとせ会・職員懇談会(第2週)</li> <li>○ 金 曜 日 誕生会(第3週)</li> <li>○ 土 曜 日 利用者と園長懇談会(最終土曜日)、生け花(第3週)</li> <li>○ 月 行 事 体重測定(千歳:第1日曜、第二千歳:第二日曜)、出張散髪(最終月曜日)</li> <li>○ 隔 月 防災教育・避難訓練・味彩クラブ(給食会議)</li> </ul>						

## 別表 (3)

## 年間実施行事記録表

平成 26 年度

月	日	行 事 等	月	日	行 事 等
4	2	開園記念行事	10	10	旧千歳解体工事見学
	19	生け花		18	生け花
	26	★身体障害者スポーツ大会		19	レクリエーション大会・食事会
	28	出張散髪			
	29	天理教ひのきしん (除草作業)			
5		☆2013 サニックスラグビー ワールドユース交流大会	11	5	☆買物外出
	3	★福山雅治コンサート		15	生け花
	10	生け花		21	買物外出
	26	出張散髪			
	29	防災教育			
6	1	家族会・移転計画説明会	12	11	浮羽消防署指導避難訓練 餅つき慰問
	4	☆ナイター観戦		15	☆買物外出
	20	避難訓練		17	生け花
	21	生け花			
	23	出張散髪			
7	24	盆踊り花火大会	1	15	☆買物外出
	28	出張散髪		17	生け花
				28	☆木下サーカス招待
8	10	新千歳療護園へ引っ越し	2	2	出張散髪
				20	☆買物外出
				21	生け花
				23	出張散髪
9	9	竣工記念式典	3	12	☆買物外出
	20	生け花		14	生け花
	25	避難訓練		18	本佛寺より慰問
	26	韓国研修歓迎セレモニー		26	☆買物外出
	29	出張散髪			

## (参) 実習生受け入れ状況

(九州大谷短期大学)

実習期間	人数
5月 12日～ 6月 17日	1名

## \* 介護等体験実習

大 学 名	実習期間	人数
玉川大学	5日間×2名	10名
久留米工業大学	5日間×1名	5名
久留米大学	5日間×1名	5名

◎ 延べ人数 20名

別表(4)

## 日常生活動作の介護状況

生活動作	区分	男性	女性	全体
食 事	自 立	2	3	5
	一部介助	11	11	22
	全介助	8	6	14
起 坐	自 立	7	5	12
	一部介助	4	8	12
	全介助	10	7	17
立ち上がり	自 立	3	2	5
	一部介助	4	6	10
	全介助	14	12	26
排 泄	自 立	3	1	4
	一部介助	3	6	9
	全介助	15	13	28
更 衣	自 立	5	1	6
	一部介助	1	6	7
	全介助	15	13	28
入 浴	自 立	0	0	0
	一部介助	4	0	4
	全介助	17	20	37
歩 行	自 立	1	2	3
	一部介助	1	1	2
	全介助	19	17	36
寝返り	自 立	9	10	19
	一部介助	4	3	7
	全介助	8	7	15
車椅子使用	自 立	5	3	8
	一部介助	7	7	14
	全介助	7	8	15

生活動作	区分	男性	女性	全体	
夜間処遇	排便排尿	1回	2	2	4
		2回	4	3	7
		3回	11	6	17
		5回	4	5	9
		小計	21	16	37
	服 薬	1回	13	9	22
		2回	4	9	13
		3回	0	0	0
		小計	17	18	35
	体位変換	1回	1	2	3
		3回	3	2	5
		4回	1	0	1
		6回	0	0	0
小計		5	4	9	
おむつ使用	昼・夜	4	4	8	
	夜間のみ	3	8	11	

- ・食事⇒配膳された状態で、魚の骨取りも含む。
- ・排泄⇒排泄後の処置、女性は生理処理も含む。
- ・更衣⇒ホック等、着脱が行い易く改良した衣類を使用して。
- ・入浴⇒一部自立とは、浴槽の中に独力で入っていることが出来たり、洗体の一部が出来る事。

別表 (5-1) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 4 月~9 月

病名・他	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
定期処方	74	74	73	146	73	73	73	73	36	36	36	36	365	438
癲癇指導	22	22	22	22	22	22	22	22	8	8	8	8	104	104
女性診察	37	37	37	37	37	37	37	37	19	19	19	19	186	186
男性診察	44	44	44	44	44	44	44	44	22	22	22	22	220	220
上気道炎・咽頭炎	7	7	2	2			4	5	1	1			14	15
気管支炎	1	1											1	1
アレルギー性鼻炎							2	2					2	2
喘息性気管支炎	1	1	1	1	1	2							3	4
末梢循環障害	1	1											1	1
るいそう (栄養失調)											1	1	1	1
口内炎			1	1	1	1							2	2
誤嚥性肺炎	1	1	1	1									2	2
尿路感染症	2	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	7	12
歯痛・歯肉炎					1	2							1	2
気管支拡張症							1	1					1	1
結膜炎			2	2									2	2
腎不全									1	4			1	4
細菌性結膜炎									1	1			1	1
てんかん			7	7	13	13	2	4					22	24
アレルギー性結膜炎							1	1					1	1
食欲不振											1	1	1	1
悪心・嘔吐			1	1									1	1
化膿創・膿瘍			1	1									1	1
脂質異常症	1	1	1	1	1	2	1	2			1	1	5	7
MRSA 保菌者					1	2	1	1					2	3
(合計)	191	192	194	267	195	201	189	193	89	94	89	89	947	1036

別表（5-1） 平成26年度 疾病表 — 外来分（ゆうかり外来） 10月～3月

月別 病名・他	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数
定期処方	36	36	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35	213	213
癲癇指導	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	48	48
女性診察	19	19	19	19	19	19	19	19	20	20	20	20	116	116
男性診察	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	129	129
上気道炎・咽頭炎					1	1	1	1	5	5			7	7
気管支炎			1	1			1	1	1	1	1	2	4	5
アレルギー性鼻炎	1	1							2	2			3	3
喘息性気管支炎	1	1											1	1
発熱・不明熱							1	1			2	2	3	3
気管支拡張症					1	1							1	1
肺炎	2	2							1	1			3	3
アレルギー性結膜炎			1	1									1	1
胃痛・胃炎									1	2			1	2
高血圧症							1	1					1	1
尿閉													0	0
歯痛・歯肉炎	2	3			1	1	1	1					4	5
てんかん									1	1			1	1
痔出血											1	2	1	2
嚥下障害					1	2							1	2
るいそう					1	1							1	1
脂質異常症	2	3	2	4	1	1	1	1					6	9
インフルエンザ 予防接種							1	2					1	2
インフルエンザ							1	1					1	1
(合計)	93	95	89	91	91	92	91	92	95	96	88	90	547	556

別表(5-2) 平成26年度 疾病表 — 外来分(ゆうかり外来) 4月~9月

病名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		合計	
	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数
肩関節周囲炎	1	1											1	1
肝機能障害疑い	1	1											1	1
便秘症	4	5	2	2	1	2	1	2			1	1	9	12
不定愁訴	1	1											1	1
胃痛・胃炎・胃潰瘍							1	1					1	1
内外痔核・裂肛・痔痛			1	1	2	2	1	2					4	5
不正出血									1	1			1	1
蜂窩織炎	4	10	1	1			1	1					6	12
腰痛症	1	1			1	1					1	1	3	3
筋肉痛	3	3											3	3
打撲症	2	2	1	1	1	1	1	1					5	5
座創・切創・擦過創	4	4	2	2			1	1			1	3	8	10
下肢痛									1	1			1	1
巻爪(爪周囲炎)							1	1					1	1
関節痛									1	1			1	1
角化症	1	1	2	2	3	3	1	1	2	2			9	9
鶏眼	1	1											1	1
白癬・湿疹・皮膚炎	17	17	14	17	11	11	13	13	9	9			64	67
皮膚潰瘍			3	3			1	1					4	4
皮膚掻痒症							1	1					1	1
皮膚カンジダ症	1	1	3	3	3	3	3	3	1	1			11	11
口唇ヘルペス	1	2											1	2
皮膚欠乏症	10	10	20	20	11	11	13	13	6	6			60	60
先天性魚鱗癬紅皮症	1	1					1	1					2	2
脂漏性湿疹・皮膚炎			4	4	3	3							7	7
皮膚びらん			1	1									1	1
尋常性痤瘡					1	1					1	1	2	2
フォンレックリング ハウゼン氏病	1	1					1	1					2	2
不眠症	2	2			2	2	2	4					6	8
反応性精神病	1	1											1	1
(合計)	57	65	54	57	39	40	43	47	21	21	4	6	218	236



別表 (5-2) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 10 月～3 月

病名	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
骨折疑い											2	2	2	2
筋肉痛			1	1									1	1
挫創・切創・擦過創	1	1					1	1					2	2
疼痛 (上下肢)									1	2			1	2
角化症			1	1					1	1			2	2
打撲症									1	3			1	3
毛囊炎							1	1					1	1
ガングリオン									1	2			1	2
化膿創・膿瘍											1	2	1	2
白癬・湿疹・皮膚炎	14	14	7	7			13	13	7	7			41	41
皮膚掻痒症	1	1											1	1
皮膚カンジダ症	3	3	1	1			3	3	1	1			8	8
皮脂欠乏症	12	12	5	5			14	14	4	4			35	35
先天性魚鱗癬紅皮症							1	1					1	1
脂漏性湿疹・皮膚炎	1	1					2	2					3	3
尋常性痤瘡			1	1			1	1	2	2			4	4
興奮									1	2			1	2
うつ状態									1	2			1	2
不眠症	1	2	1	2	1	2	2	4					5	10
フォンレックリング ハウゼン氏病							1	1	1	1			2	2
インフルエンザ疑い					1	2							1	2
口唇ヘルペス							1	1	1	1			2	2
(合 計)	33	34	17	18	2	4	40	42	22	28	3	4	117	130

別表 (5-3) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 4 月～9 月

検査	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
健康診断検査 (採血・採尿)	14	14	12	12	14	14	14	14	5	5	8	8	67	67
ECG	7	7	6	6			7	7	3	3	4	4	27	27
胸部 X-P	7	7	6	6			7	7	3	3	4	4	27	27
EEG	1	1	1	1	1	1	1	1					4	4
抗癌薬剤の血中濃度測定			10	10	14	14							24	24
一般検尿	1	1			1	2	1	1	2	2	1	1	6	7
便潜血	7	7	6	6	7	7	7	7	4	4	4	4	35	35
一般検血 (生化学)									2	6			2	6
臨時採血 (CBC, CRP, その他)	1	1					1	1	1	2	1	2	4	6
培養 (尿、咽頭、鼻腔、便)					1	2			2	2			3	4
入園時検査					1	1							1	1
(合 計)	38	38	41	41	39	41	38	38	22	27	22	23	200	208

別表 (5-3) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 10 月～3 月

検査	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
健康診断検査 (採血・採尿)	7	7	5	5	5	5	8	8	6	6	9	9	40	40
ECG	3	3	3	3	2	2	5	5	6	6	5	5	24	24
胸部 X-P	3	3	3	3	2	2	5	5	6	6	5	5	24	24
EEG	1	1							1	1			2	2
一般検血 (生化学)													0	0
一般検尿	1	1	1	1			5	5	6	6	9	9	22	22
便潜血	3	3	3	3	2	2	5	5	2	2	5	5	20	20
抗癌薬剤の血中濃度			3	3	5	5							8	8
臨時採血 (CBC, CRP, その他)	1	1	1	1									2	2
インフルエンザ検査					1	2	2	2					3	4
入園時検査									1	1			1	1
(合 計)	19	19	19	19	17	18	30	30	28	28	33	33	146	147

別表 (5-4) 平成 26 年度 疾病表 — 入院分 (ゆうかり外来) 4 月～9 月

病院名	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		合 計	
	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数
ゆうかり・なかよし寮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゆうかり・おひさま寮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(合 計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

別表 (5-4) 平成 26 年度 疾病表 — 入院分 (ゆうかり外来) 10 月～3 月

病院名	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数
ゆうかり・なかよし寮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゆうかり・おひさま寮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(合 計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

別表 (5-5) 平成 26 年度 疾病表 — 入院分 4 月～9 月

病院名	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		合 計	
	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数
久留米大学病院														
田主丸中央病院	3	38	1	8	2	22	3	39	1	3	2	35	12	145
たなか病院					1	28	1	31					2	59
(入院合計)	3	38	1	8	3	50	4	70	1	3	2	35	14	204

別表 (5-5) 平成 26 年度 疾病表 — 入院分 10 月～3 月

病院名	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数
久留米大学病院	1	11	1	30	1	5							3	46
田主丸中央病院	3	53	2	38	1	1	1	31	1	20	1	6	9	149
(入院合計)	4	64	3	68	2	6	1	31	1	20	1	6	12	195

別表 (5-6) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 4 月～9 月

病院名	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
久留米大学病院			2	2									2	2
田主丸中央病院	11	32	8	24	11	24	11	25	5	19	6	18	52	142
聖マリア病院			1	1									1	1
古賀歯科							2	2					2	2
林田耳鼻咽喉科医院	1	6	1	6	2	5	1	1					5	18
筑後吉井こころホスピタル			1	1									1	1
境泌尿器科	1	1											1	1
深川レディースクリニック									1	1			1	1
たなか病院	1	2	1	1									2	3
なご整形外科医院	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	6	7
(ゆうかり以外外来合計)	15	42	15	36	14	30	15	30	7	21	7	19	73	178

別表 (5-6) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 10 月～3 月

病院名	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
久留米大学病院	1	1			1	1							2	2
田主丸中央病院	5	17	4	17	6	18	2	15	3	15	7	28	27	110
聖マリア病院													0	0
古賀歯科					1	2			1	3	2	4	4	9
林田耳鼻咽喉科医院	1	4											1	4
なご整形外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6
(ゆうかり以外外来合計)	8	23	5	18	9	22	3	16	5	19	10	33	40	131

別表(5-7) 平成26年度 疾病表 — 外来分(ゆうかり外来) 4月~9月

月別 処置・他	4月		5月		6月		7月		8月		9月		合計	
	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数
皮膚科処置	60	761	61	797	61	749	61	743	29	330	29	341	301	3721
包交処置	7	91	9	140	6	108	2	39	1	31	2	55	27	464
湿布貼付	2	6	2	9	5	18							9	33
浣腸	21	130	27	154	26	137	22	149	13	73	13	40	122	683
点鼻	1	30	1	31	1	30	1	31					4	122
点眼	8	230	8	248	8	230	8	248	6	186	6	180	44	1322
血圧測定	13	104	13	108	13	111	13	110	6	53	6	49	64	535
排気	1	15	1	31	1	30	1	31					4	107
坐薬挿肛	15	153	16	176	14	149	13	150	5	51	5	56	68	735
点耳/処置	7	91	6	101	5	79	7	67	1	12	1	11	27	361
注腸	1	9	1	9	1	8	1	9					4	35
吸引	1	7	1	4	1	7							3	18
吸入	6	150	5	155	5	150	6	186	3	93	3	90	28	824
園内歯科											6	6	6	6
経鼻経管栄養									1	31	1	19	2	50
(合計)	143	1777	151	1963	147	1806	135	1763	65	860	72	847	713	9016

別表(5-7) 平成26年度 疾病表 — 外来分(ゆうかり外来) 10月~3月

月別 処置・他	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数
皮膚科処置	29	355	30	313	30	337	28	303	30	302	30	346	177	1956
包交処置	3	47	2	48	3	67	1	1	2	31	3	85	14	279
湿布薬貼付									1	1	1	4	2	5
浣腸	8	32	9	29	11	30	9	35	13	38	9	32	59	196
点鼻													0	0
点眼	6	176	6	172	5	155	5	155	4	86	6	186	32	930
血圧測定	6	49	5	47	6	54	6	54	6	72	6	63	35	339
園内歯科	7	12	5	5	3	5	4	4	4	12	6	10	29	48
坐薬挿肛	6	52	6	50	5	44	6	32	7	40	9	61	39	279
耳処置/点耳	1	12	1	13	5	53	1	10	1	2	1	11	10	101
排気													0	0
導尿									2	2	2	2	4	4
吸入	3	93	3	90	2	62	3	93	3	84	3	38	17	460
吸引	1	5	1	4			1	4	1	6	1	7	5	26
(合計)	70	833	68	771	70	807	64	691	74	676	77	845	423	4623

## 障害者支援センター ちとせ

「障害者支援センターちとせ」は、障害者支援施設千歳療護園の通所による日中活動（生活介護）として事業を実施した。現在、久留米市、うきは市、朝倉市、朝倉郡の一部を事業実施地域としてサービスを提供している。

平成27年3月31日現在の、支援センター利用契約者様は15名で、内訳は下記の通りである。

久留米市	8名
うきは市	5名
朝倉市	1名
朝倉郡	1名

朝倉郡からの利用者様1名は医療行為が常時必要となり平成25年12月より、ゆうかり医療療育センターを利用されている。支援センターとの契約はご家族様の意向もあり継続している。

今年度は、延べ 1,613名の方が利用され、1日平均6.8名の利用があった。内訳は下記の通りである。

久留米市	917名
うきは市	540名
朝倉市	141名
朝倉郡	15名

延べ利用人数は前年と比較すると187名の減となった。市町村別で減数となったのは久留米市、うきは市、朝倉郡の利用者様で、それぞれ延べ20名、81名、96名の減であった。朝倉市の利用者様は延べ10名の増であった。

利用者様の状況として、本年度初めは契約者様が18名であったが、年度途中で障害者支援施設への施設入所や転院により3名（久留米市・うきは市）が契約終了され、介護保険サービスへの移行により1名（久留米市）が契約終了された。また、疾病などで入院される利用者様もおられ、利用減につながった。なお、新規の契約者様は1名（久留米市）であった。現在20歳から76歳（男性7名・女性8名）の方が利用されており平均年齢47歳（男性49歳・女性45歳）となっている。又、15名中11名の方（全体の73%）が車椅子を使用されている。

※痰吸引・経管栄養は基本研修・実地研修を終了した介護職員が、「特定の方」（2名）に対し利用者様（及びご家族様）の意向や必要に応じて看護職員と連携し実施している。実施状況は以下のとおりである。

- ・たん吸引は2名の利用者様に対し、それぞれ1回から2回実施。
- ・経鼻経管栄養は1名の利用者様に対し、16回実施。

☆障害支援区分、主たる起因疾患別年齢表は、別表(A)の通りである。

☆月別・市別利用者数表は、別表(B)の通りである。

活動においては、制作・創作活動（掲示物制作や季節の飾り物、習字など）や各種行事（花見、端午の節句、七夕、秋のドライブ外出、クリスマス、初詣、節分、交流会、桃の節句など）、個別的機能訓練、なぞなぞクイズやトランプなどを実施した。毎年恒例となっている年賀貼り絵の制作は利用者様全員で行った。完成した作品は、1月の耳納学園の展示即売会会場に展示し、利用者様にとって大きな励みとなっている。

本年は8月の施設移転に伴い、何かと慌ただしい面もあったものの、新施設では屋外や他施設との交流・散策が容易に行えるようになり、利用者様の活動範囲が広がった。また、温泉入浴が可能となり、入浴時間を楽しみにされている。

外出行事（ドライブ外出や買い物、初詣など）や法人の各行事（コンサート、夏祭り・レクリエーション大会・落成式など）にも積極的に参加頂いた。中でも2月末に実施した支援センター交流会には、ご家族の皆様にも参加頂き、施設の見学やレクリエーションを行い、情報交換の場ともなり、大変好評であった。

次年度からはサービス等利用計画が開始されるが、利用者様のニーズに沿った行事や活動を模索し、利用者様のQOLの向上を目指していきたい。また、医療的行為が必要な利用者様への対応・対策を万全(安全・安心)にする必要があり、看護課との連携が必要不可欠である。

#### 日中活動の支援内容

- 身体介護 食事、入浴、排泄、移動、移乗介助
- 創作的活動、文化的活動、社会適応訓練（個別活動・グループ活動）

##### <手工芸>

- 折り紙細工 花 小物 輪飾り
- 小物づくり さげもん 紙皿 編み物 キーホルダー
- 造形 紙 布 ボタン テープや毛糸  
木の実などの様々な材料を利用
- スキルギャラリー ジグソーパズルなど

<習字、読み、書き> 毛筆 読み書き練習 模写 作詞 詩

<制作> 貼り絵 自由画 ぬり絵 折り紙制作など

<外出> 見学 買い物 ドライブなど

○機能訓練

日常生活動作訓練、四肢他動・抵抗運動、器具運動、積み木、紐通しなど

○スポーツ、趣味娯楽活動

風船バレー、ポケネット、輪投げ、ナンバーストライク、玉入れ、カラオケ、トランプ、オセロ、ジェンガ、ビー玉、おはじき、合唱・楽器演奏  
映画鑑賞（映写機利用）など

○更生相談

利用者様の要望や必要に応じて医療、福祉、介護等の相談を行っている。

別表（A）平成 26 度

障害程度区分表

障害者支援センター ちとせ

	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
19 歳以下						
20～29				2	3	5
30～39					1	1
40～49			2			2
50～59				1		1
60～64	1	1				2
65 歳以上		2	1		1	4
計	1	3	3	3	5	15

主たる起因疾患別年齢表

起因疾患 年齢	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	合 計
	脳 性 ま ひ	脳 血 管 障 害	脊 髄 損 傷	頭 部 外 傷	特 定 疾 病	特 定 疾 患	リ ウ マ チ	進 行 性 筋 萎 縮 症	そ の 他	
(1) 19 歳以下										
(2) 20～39	1								5	6
(3) 40～64		1	1						4	6
(4) 65 歳以上	1	1			1					3
合 計	2	2	1		1				9	15



別表 (B) 平成 26 年度 月別・市別利用者数表

障害者支援センター ちとせ

月	利用 日数	利用 者数	1 日 平均
4	21	155	7.4
5	20	140	7.0
6	21	165	7.9
7	21	152	7.2
8	15	109	7.3
9	20	144	7.2
10	22	138	6.3
11	18	122	6.8
12	19	128	6.7
1	19	116	6.1
2	19	115	6.1
3	22	129	5.9
計	237	1613	6.8

月	久留米市			うきは市			朝倉市		朝倉郡	
	全 体	男 性	女 性	全 体	男 性	女 性	全 体	女 性	全 体	男 性
4	87	45	42	56	27	29	12	12		
5	81	42	39	49	21	28	10	10		
6	96	49	47	51	21	30	12	12	6	6
7	83	40	43	48	20	28	12	12	9	9
8	65	28	37	34	12	22	10	10		
9	84	36	48	50	25	25	10	10		
10	87	34	53	40	21	19	11	11		
11	66	30	36	46	26	20	10	10		
12	69	28	41	48	25	23	11	11		
1	57	26	31	45	27	18	14	14		
2	66	32	34	38	19	19	11	11		
3	76	36	40	35	18	17	18	18		
計	917	426	491	540	262	278	141	141	15	15

## 第二千歳療護園

### 《概況》

社会福祉法人の在り方について、透明性確保の観点から財務諸表等の情報開示・公表、地域における公益的な活動の義務化などが本年法案化される見通しとなり、また、社会福祉法人への課税については、今回は先送りになる方向で一安心という感じだが、非課税扱いに相応しい健全な施設運営に努めていかなければならない。次年度は報酬改定も行われる予定で施設運営は益々厳しいものとなっていく。

4月より消費税が5%から8%へ増税になり、8月には広島市北部の土砂災害、9月には御嶽山噴火、10月には大型台風が2週連続で列島に上陸し、各地に多くの死傷者を出し、自然災害が多い年であった。

平成24年7月の九州北部豪雨の避難生活を期に、久留米市より千歳の新築移転計画について早期移転の打診を受けていたが、新築移転に向け準備をすすめ平成26年7月末に竣工、8月1日新天地での事業を再開した。今まで山の斜面に施設があり災害発生時などの避難は安易なものではなかったが、今回の移転により利用者様にとっては最も重要な安全性の確保が可能となった。

新築移転を契機に、より質の高いきめ細かなサービスを提供出来るようユニットケア方式を取り入れ定員を変更した。医療的ケアの高い利用者様を中心に入所支援40名、生活介護50名、短期入所2名の千歳療護園(男性21名、女性20名、計41名)と施設入所支援40名、生活介護40名、短期入所2名の第二千歳療護園を開設した。(男性23名、女性18名、計41名)

新しい施設の生活スペースは平屋で全室個室となり、入浴も天然温泉を提供出来るようになった。また、中央給食になったことにより温冷配膳車を導入し、温かい食事は温かく冷たい食事は冷たく献立に合った食事が提供出来るようにした。

法人内の全施設がこの地、中尾に集まり、第二千歳療護園としては、入所機能を核としながらも地域移行、グループホーム、一人暮らし体験等、地域に開かれた総合的な障害者支援の拠点としての役割を果たすことが求められている。

設備面では施設が新しくなると共に入浴も温泉になり週3回の入浴を楽しみにしているが、利用者様からの要望もあり、4週の内2週は週2回の入浴に変更し、外出等の試行を行っている。外部団体からの招待については、出来るだけ参加する方向で取り組んでいるが、インフルエンザやノロウイルス等感染症等により、冬季の外出が制限される事も多くなってきている。

利用者様へは個別支援計画の見直しや聴き取りを行い、細やかなサービスの提供に力を入れている。また、サービス管理責任者を中心に各利用者様への“提供サー

ビス確認表”の作成も継続し、月に一度チェックを行っている。

毎年10月に行われていた“法人全体のゆうかり大運動会”は久留米市東部運動公園建設中のため今年も中止となり、各施設・寮にてレクリエーション大会が行われた。千歳療護園・第二千歳療護園合同で千歳療護園の食堂周辺を利用し、工夫を凝らした全員参加のレクリエーションには利用者様はもちろんの事、当日参加されたご家族の皆様にも好評でとても喜んで頂いていた

尚、移転にあたり、紙オムツ納入業者、リネン業者について入札を行い、コストの削減をはかった。又、これまで職員で実施していた施設内清掃業務を業者に委託したことにより、職員の負担軽減となり、その時間を利用者サービスにあてる事が出来た。

## 総務部

### <第二千歳療護園 経理・庶務課>

- ① 本年度の利用人員は、生活介護は延9,740名、100.2%で、施設入所支援は9,740名で100.2%の充足率である。
- ② 本年度のショートステイ利用者は年間延べ30名、日中一時利用者はなかった。
- ③ 本年度の利用者の地域別入退所者状況は別表(1)による。

### <給食課>

#### 1) 給食方針

食事は楽しく美味しく食べていただき、かつ健康維持に努める。

身体活動はもちろん心の安定にも繋がるものと考え、利用者様の意欲の向上(食の意欲、生きる意欲、活動する意欲)また、生活支援すべてに関わるものとする。毎日の給食が利用者様にとって体と心の栄養となるように努めたいと思う。

2) 食糧構成基準量と給与量の比較は別表の通りである。

別表 食糧構成基準量と給与量の比較

食 品 量 表			
食品群別		1人1日あたりの使用量 (g)	食糧構成 (g)
動物性食品	魚介類	71	60
	獣鳥肉類	75	70
	乳類	51	70
	卵類	23	25
野菜果実類	緑黄色野菜類	94	80
	淡色野菜類	190	180
	海藻類	7	5
	いも類	42	45
	果実類	42	60
穀類	米	166	175
	パン類	19	20
	麺類	56	45
豆類	大豆食品	31	35
	豆 類		
	味噌類	13	15
油脂調味料	油脂類	19	12
	砂糖類	8	8
*Caの補充として1人1日3gの乳カル酵素を使用。 ビタミン強化にポリライス1人2g使用。			

3) 栄養給与量は別表の通りである。

別表 栄養給与量

	熱量 (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)
平成 26 年 8 月	1564	61.6	46.4
9 月	1533	61.0	42.7
10 月	1573	63.5	43.7
11 月	1558	62.1	42.4
12 月	1628	63.4	50.5
平成 27 年 1 月	1636	67.1	46.4
2 月	1572	59.8	46.6
3 月	1574	63.3	45.1
合 計	12638	501.8	363.8
平 均	1580	62.7	45.5

#### 4) 給食計画

イ. 喫食状態の把握

ロ. 特別食

糖尿病食 (3名) ……摂取カロリー、炭水化物、塩分の制限

減塩食 (2名) ……5g/日 (2名)、7g/日 (3名)

減脂食 (5名) ……出来る範囲での脂肪制限

軟菜食 (2名) ……不溶性植物繊維をなるべく避ける

#### 5) 行事食

- H26 8/10 第二千歳開設 昼食より新転地にて給食開始  
10/19 レクリエーション大会 弁当  
12/11 浮羽消防署指導避難訓練、餅つき慰問  
餅 (おろし餅、餡餅)、おにぎり  
12/24 忘年会 お弁当形式、オードブル、ケーキ、飲み物 他  
H27 1/ 1 正月 おせち料理 (1日)  
1/ 7 七草粥 七草の味噌汁他  
1/13 どんど焼き ぜんざい

#### 6) 誕生会

\*希望メニューにスイーツ

- H26年 8月 ギョーザ、野菜、ブロッコリーソテー、ケーキ、ジュース他  
9月 吹き寄せご飯、すまし、酢の物、モンブランケーキ  
野菜ジュース他  
10月 秋刀魚のかば焼き丼、きのこ野菜のソテー、ケーキ、ジュース  
11月 ぎんなんごはん、きじ焼き、含め煮、白菜のクリーム煮、ケーキ  
野菜ジュース、ビール  
12月 ビーフシチュー、ビーンズサラダ、シュークリーム  
野菜ジュース、ビール  
H27年 1月 かにクリームコロッケ、繊野菜、みかん缶、ポテトサラダ  
ケーキ、ビール、野菜ジュース  
2月 ギョーザスープ、茄子とトマトのチーズ焼き、ケーキ、ビール  
ジュース  
3月 ミンチカツ、野菜、えびとブロッコリーのサラダ、ケーキ  
ジュース、ビール

## 7) 出張関係

H26	9/5~9/7	第20回日本接触嚙下リハビリテーション学会学術大会 (東京)	調理師 1名	出席
H27	3/13	特定給食施設等研修会 (久留米)	栄養士 1名	出席

## 8) 衛生管理

- ① 生鮮食品は夕食分は当日納品とし、昼食分に関しては前日納品とし、品物によっては時間指定とした  
(肉、魚、冷蔵品に関しては、納品時に表面温度の測定)
- ② 納品時の品質のチェックと納品時間の記入
- ③ アルボース・ウエルパスによる手洗い、殺菌の徹底
- ④ バリアスにて除菌 (下膳車)
- ⑤ ノロウイルス感染予防に調理棟入口にテキサント溶液に浸した足ふきマットを準備する。
- ⑥ 調理の出来上がり時間、中心温度 (1分 85℃以上を基準) 記入
- ⑦ 保冷開始時間、終了時間記入
- ⑧ 作業前の衛生検査
- ⑨ 検食の確保—原材料および調理済み食品を食品ごとに 50g程度ずつビニール袋に密封して-20℃以下で2週間以上保存とする。
- ⑩ 水質検査 給水方式 (井戸水) による規定に基づき残留塩素の測定 (始業前後1日2回)、業者による管理 (毎月・理化学と細菌検査)
- ⑪ 細菌検査 毎月：病原腸内細菌検査  
10月、3月：ノロウイルス抗原検査
- ⑫ 使い捨て手袋の使用 (盛り付け・調理済み食品に触れる時、手指の怪我など)
- ⑬ アルコールによる除菌 (調理器具・シンクなど) 次亜鉛素酸 Na (200ppm) による消毒 (ノロウイルス) ,  
バリアスー1 (ノロウイルス対応) による除菌
- ⑭ 業者委託によるゴキブリ駆除、ねずみ駆除

## 9) 味彩クラブ

H26	9/11	味彩クラブ 10, 11, 12月の誕生会希望メニュー 移転してからの感想、意見、要望など
-----	------	---

- 11/10 味彩クラブ  
1,2月の誕生日希望メニュー  
忘年会の希望について
- H27 1/15 味彩クラブ  
3月の誕生日希望メニュー  
忘年会、お正月、どんと焼きについての反省、意見など
- 3/12 味彩クラブ  
4,5月の誕生日希望メニュー

#### 11) まとめ

この1年は移転があり、単独の給食施設から中央給食となり個別対応、食形態、勤務の流れ等いろいろな面で壁にぶつかり苦労しているところである。しかし、個別対応については新転地になり調整をしていく中、思わぬところで今まで食べられなかったものが食べられるようになられたりして、好転したことも多く個別対応の見直しを徐々にしていく必要性を感じた。

又、今年度は中央給食となることもあり各個人の誕生日にはさきやかではあるが、希望の食べ物とバースデーカードを添えて出した。ご家族の方からも喜びの声を頂き、これからも続けていきとたいと思う。

新しい居室の生活で利用者様の心と体のケアをしていくために、各スタッフと連携を深め、給食課として楽しい食生活を送って頂けるよう努力していきたい。

### 生活部

#### (1) 生活援助課

##### (パートナー係)

ケアプランのニーズを中心に利用者様の立場に立った利用者様本位のサービス提供を基本において、月1回の自治会役員の方との話し合い（暖和会）や園長との懇談会、職員との懇談会、利用者様の話し合いの場（ちとせ会）を通して利用者様の自主性・選択性・対等性を尊重しながら働きかけを行ってきた。

利用者様のニーズとして最も多い外出行事に関しては、利用者様からの希望によりコンサートやナイター観戦、障害者スポーツ大会等の希望外出については例年通り実施することが出来たが、6月下旬より8月の移転に備え、利用者様の荷物の整理、備品の確認、不用品の廃棄作業等に人員と時間をとられ、施設からの外出の行

事は殆ど実施することが出来なかった。8月より千歳療護園、第二千歳療護園として新たな生活が始まったが、今年度は殆どの利用者様が障害支援区分の見直しの年となっていた為、各市町村からの区分認定の聴き取り調査が9月の中旬より始まり例年のような午前中、又は午後からの短時間の外出も出来ない状況であった。外出に変わる活動として、千歳、第二千歳ともに食堂に収納式の大型スクリーンを設置している為、移転後はそれぞれプロジェクターによるビデオ視聴やカラオケをほぼ毎日実施してきた。11月よりその月の誕生者を対象に午前中と午後に短時間ではあるが近隣のショッピングセンターへ買物外出を実施中である。今年度の行事としての外出は千歳療護園と合同で行い、回数としては昨年度より減少している。また外部の有料の外出サービスを利用される方については利用する際の業者との連絡、日時の調整、料金の支払いなどを利用者様に依頼され代行している。今後も誕生月の利用者様の外出を継続し、利用者様からの希望外出やナイターやコンサートなどの招待があれば前向きに検討していきたいと考えている。

月1回の生け花では毎回その季節の美しい花を生け、千歳、第二千歳の各所に飾って頂いている。誕生会についてはそれぞれの施設で実施することが難しく、月1回誕生会メニューの日を設定し、希望者には少量ではあるが夕食時にビール等のアルコール類を飲んで頂いている。

来年度に向け、現在、日中活動の再検討と試行を実施している状態であり、今以上の外出機会を増やすことが難しい状況の中、千歳療護園、各部署と連携し日中活動の更なる充実を行い、利用者様が快適で楽しく、安心、安全に生活を送れるようなサービスを提供していかなければならないと考えている。

☆ 週生活表は別表(2)、年間実施行事は別表(3)の通りである。

(サポート係)

ハード面で建物や全てが新しくなり新鮮な気持ちで生活出来たが、全室個室ということから生活空間の広がりや把握するのに時間を要し、トイレや自室が分からずに探している、と言った利用者様もいた。施設の中心に食堂を配置する事で、食事のみの使用に限らず、利便性に優れ活動や憩いの場として活用出来ている。入浴では、天然温泉を提供し好評を得ており、食事面は温冷配膳車を使用する事により、温かい物は温かく、冷たい物は冷たくと献立に合わせた提供が出来ている。敷地も平地となり、屋外散歩を楽しまれる利用者様もおられる。

生活介護面に於いては、施設が単に新しくなったのであれば、今までの業務や日課を変更せずに済んだのかも知れないが、職員数も二分したことで、入浴は千歳・第二千歳の職員が協力して午前中に千歳の利用者様、午後に第二千歳の利用者様(1



ヶ月交代)にて週3回実施してきた。しかし、利用者様の「外出もしたい」との声があり月の2週は入浴を2回に減らし外出やちとせ会・暖和会等を行うようにした。利用者様は加齢に伴い、身体機能の低下等によりコールによる職員を呼ぶ声は多くなっている。

ケアに要する時間、介護量の増加など日常業務等に追われ、利用者様にとってのゆとりある介護・支援は、十分には提供出来ない状況であった。

個別支援計画については、担当職員が中心となり利用者様の思い・意向を聴きながら全員見直しを行い家族の同意も得ている。

施設を利用される方の身体面での重度化・加齢に伴う医療的ケアの増加、突然の状態の変化など常に利用者様の状態の把握に努め、緊張感を持って効率的で質の高いサービスを提供し、精神的にも安全に安心した生活を支援するために、スキルアップ・ケアの質の向上に努めていきたい。

## (2) 訓練援助課

新築・移転を契機に新設された第二千歳療護園においては、利用者様41名（男性23名・女性18名）に対し、作業療法士1名・機能訓練員1名で訓練を実施した。利用者様一人あたり一回の訓練時間を40分とし、身体状況によって週1～2回実施、個別に係ることでより充実した訓練内容となるよう援助を行った。

訓練内容については、利用者様の状態や希望に合わせ主に体力・筋力・バランス能力の維持、関節可動域の維持、残存機能の維持、痛みの軽減等を目的として実施している。実施内容については下記の通りである。またスキルスクリーンやスキルギャラリー等の制作活動を行うことで、手指巧緻性の維持を図りながら作品を作ることへの意欲や楽しさ、完成した時の喜びを味わえるようにも組み入れている。加えてバッティングやキャッチボールといった体を使った活動、オセロやトランプ、パソコン等の趣味活動、散歩（屋内外）といったことも行っていくことで、機能面のみでなく、精神面へのアプローチへも繋げ、気分転換や訓練時間をより楽しいものと感じてもらえるよう係っている。そしてコミュニケーションを取りながら様々なことを行うことで、利用者様の日常生活にとって少しでも刺激となり、環境の変化に繋がる、変化を感じられるように心掛けている。

また車椅子管理、補装具の交付・修理申請手続き、福祉用具購入等についても引き続き行っている。この8ヶ月間では交付5名、修理11名、購入5名行った。

#### (訓練内容)

- 関節可動域維持訓練
- 体力、筋力、バランス能力維持訓練  
(腕立て、腹筋、背筋、スクワット、バンド等)
- 巧緻動作訓練(紐通し、パズル、はめ絵、折り紙等)
- 姿勢保持訓練(立位、座位バランス等)
- 日常生活動作訓練(車椅子移動、移乗動作等)
- 歩行訓練(杖歩行、歩行器歩行)
- 趣味活動  
(スキルスクリーン制作、バッティング、キャッチボール、ゲーム等)
- リラクゼーション(上田法、マッサージ、ホットパック、プロンキーパー等)
- 電動車椅子操作練習

### (3) 生活部相談援助課

#### 《概況》

平成26年度は、8月に引越しがあり第二千歳は、生活介護40名、施設入所40名の事業開始となった。相談援助課は、両施設兼務で携わり、業務は引越し前の内容を継続した。一般生活援助業務(食事、入浴、排泄、移動等)で関わりを深めながら利用者様一人ひとりの一日の生活の流れ、身体面、精神面、対人面などを把握することに努めた。また、利用者様一人ひとりと個別活動や集団活動を通してコミュニケーションを図り、更なる信頼関係の構築にも努め知能・発達検査も行った。

そして、情緒の安定を目的として行ってきた読み聞かせの活動を、千歳、第二千歳の相談室の二ヶ所で実施し、前頭前野の活性化を図るためにカードのインプット等にも取り組んだ。

また、引越し後は全室個室となり、プライバシーや一人になれる空間を確保できる等のメリットはあるものの、他者と関わるコミュニケーションでは希薄になる等のデメリットの部分もあると思われる。そこで、孤独感を感じさせないように各室に出向いた折に、以前以上にコミュニケーションを密にとるように心掛け配慮した。

#### (援助内容)

- ① 面談活動(カタルシス)
- ② 散歩療法(発散、リフレッシュ)

- ③ 表現療法（遊び活動、自己表現、生きがい、興味拡大、信頼関係）
- ④ ポジショニング（リラクゼーション、慢性痛の軽減、QOLの拡大等）
- ⑤ 前頭前野活性化法（読み聞かせ、公文カード、ドリル等）
- ⑥ 介護全般
- ⑦ メンタルヘルス（ドライブ外出、カウンセリング）
- ⑧ 環境整備、その他

（心理検査）

発達検査（ 0回）

知能検査（ 2回）

性格検査（ 0回）

#### （4）生活部看護課

平成26年8月、久留米市田主丸町中尾1247-1に、新設（生活介護40名・施設入所者40名）し第二千歳療護園としてスタートした。新居は、完全個室となり利用者個別の支援もさまざまである。障害者支援施設に於いて利用者様の高齢化、障害の重度化・重複化に伴い、第二千歳療護園も医療的行為を必要とする利用者様が徐々に増加する傾向であり対策が必要となる。また、医療的行為が必要な利用者様を積極的に受け入れる事が出来る様にと、福岡県介護士等における喀痰吸引等の研修を受講させ認定者が一人でも増える様に努めている。今後も生活環境の変化に伴う利用者様の気持ちの変化や体調の変化等に気を配り、観察し異常の早期発見に努めて行く事が大切である。また、定期的な協力病院への受診の必要な方々のフォローを行って行く必要があり、今後も協力病院との連携は不可欠である。

《平成26年度》

##### ① 院内感染症対策委員会の取り組み

本年度も平成26年11月より季節性・新型インフルエンザの予防対策として、職員の手洗い励行・出勤時の体温測定・面会者への手指消毒・マスク着用・感染症アンケートの実施など取り組みを行った。また、『外部より感染症を持ち込まない・持ち込ませない』事への意識も定着し、利用者の感染症発生は無かった。

手洗いパトロール報告（5月・9月・1月）

##### ② 今年度も季節性インフルエンザ予防接種を実施した。

（11月に利用者・職員）

今後も利用者様の健康管理・衛生管理を行いサービス向上に努めて行きたい。

☆疾病表は、別表（5-1）～（5-7）の通りである。

別表（1） 地域別入退園者状況表 平成26年度

	区分 福祉名	前年度末 人員	本年度 入所人員	本年度 退所人員	本年度末 人員	性 別		備 考
						男性	女性	
町 村 福 祉 関 係	志 免 町							
	上 陽 町							
	大 木 町	2			2	1	1	
	大 和 町							
	那 珂 川 町							
	星 野 村							
	矢 部 村							
	苧 田 町	1			1	1		
	筑 前 町	1			1	1		
	福 智 町	1			1		1	
小 計	5			5	3	2		
市 福 祉 関 係	福 岡 市	5			5	3	2	
	北 九 州 市	1			1	1		
	大 牟 田 市	2			2		2	
	久 留 米 市	9			9	5	4	
	直 方 市							
	飯 塚 市	2			2	1	1	
	田 川 市							
	柳 川 市	2			2	1	1	
	宗 像 市							
	八 女 市	1			1	1		
	筑 後 市							
	大 川 市	1			1	1		
	小 郡 市	1			1		1	
	筑 紫 野 市	2			2	1	1	
	春 日 市							
	大 野 城 市							
	糸 島 市							
	山 田 市							
	行 橋 市							
	豊 前 市							
中 間 市								
古 賀 市								
う き は 市	3	1		4	2	2		
朝 倉 市	3			3	2	1		
み や ま 市	3			3	2	1		
福 津 市								
小 計	35	1	0	36	20	16		
県 外	鳥 栖 市							
	日 田 市							
	小 計	0	0	0	0	0	0	
合 計		40	1	0	41	23	18	

別表 (2)

## 週 生 活 表

第二千歳療護園

曜日	月	火	水	木	金	土	日	
時間								
6:30	起床							
8:00	着替・洗面・移動 朝食							
9:00	移動・排泄・歯磨き (朝礼・申し送り) (寝具交換・掃除)							
9:30	入浴 (女性)	入浴 (男性)	入浴 (女性)	入浴 (男性)	入浴 (女性)	入浴 (男性)	園長懇談会	
10:30	訓練	訓練	訓練	外出	外出	訓練		【生花】
11:00	練習	練習	練習	練習	練習			
12:00	昼食 移動・排泄・歯磨き							
13:30	入浴 (女性)	入浴 (男性)	入浴 (女性)	入浴 (男性)	入浴 (女性)	入浴 (男性)		
14:00	訓練	訓練	療育会議 定期診察 外出	訓練	外出 ちとせ会 職員懇談会	訓練		
15:00	練習	練習	訓練	練習	練習	練習		
16:00			暖和会					
16:20	※ 入浴は、千歳と第二千歳を1ヶ月交代で午前と午後を入れ替えて実施							
17:00	夕食							
18:00	歯磨き (自立者一部)、後片付け、排泄							
19:00	着替え、自由時間							
20:00	歯磨き (介助者) 歯磨き (自立者)							
21:00	消 灯							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 月 曜 日 ビデオ視聴又はカラオケ (月～木の午後毎日実施)</li> <li>○ 火 曜 日 利用者買物(隔週)</li> <li>○ 水 曜 日 定期診察(男女月1回)、療育会議(外部講師・カンファレンス・園長講義) 暖和会 (第2週)</li> <li>○ 木 曜 日 ちとせ会・職員懇談会(第2週)</li> <li>○ 金 曜 日 誕生会 (第3週)</li> <li>○ 土 曜 日 利用者と園長懇談会(最終土曜日)、生け花(第3週)</li> <li>○ 月 行 事 体重測定(千歳：第1日曜、第二千歳：第二日曜)、出張散髪 (最終月曜日)</li> <li>○ 隔 月 防災教育・避難訓練・味彩クラブ (給食会議)</li> </ul>							

## 別表 (3)

## 年間実施行事記録表

平成 26 年度

月	日	行 事 等	月	日	行 事 等
4	2	開園記念行事	10	10	旧千歳解体工事見学
	19	生け花		18	生け花
	26	★身体障害者スポーツ大会		19	レクリエーション大会・食事会
	28	出張散髪			
	29	天理教ひのきしん (除草作業)			
5		☆2013 サニックスラグビー ワールドユース交流大会	11	5	☆買物外出
	3	★福山雅治コンサート		15	生け花
	10	生け花		21	買物外出
	26	出張散髪			
	29	防災教育			
6	1	家族会・移転計画説明会	12	11	浮羽消防署指導避難訓練 餅つき慰問
	4	☆ナイター観戦		15	☆買物外出
	20	避難訓練		17	生け花
	21	生け花			
	23	出張散髪			
7	24	盆踊り花火大会	1	15	☆買物外出
	28	出張散髪		17	生け花
				28	☆木下サーカス招待
8	10	新千歳療護園へ引っ越し	2	2	出張散髪
				20	☆買物外出
				21	生け花
				23	出張散髪
9	9	竣工記念式典	3	12	☆買物外出
	20	生け花		14	生け花
	25	避難訓練		18	本佛寺より慰問
	26	韓国研修歓迎セレモニー		26	☆買物外出
	29	出張散髪			

## (参) 実習生受け入れ状況

(九州大谷短期大学)

実習期間	人数
5月 12日～ 6月 17日	1名

## \* 介護等体験実習

大 学 名	実習期間	人数
玉川大学	5日間×2名	10名
久留米工業大学	5日間×1名	5名
久留米大学	5日間×1名	5名

◎ 延べ人数 20名

別表(4)

## 日常生活動作の介護状況

生活動作	区分	男性	女性	全体
食 事	自 立	2	1	3
	一部介助	11	9	20
	全介助	10	8	18
起 坐	自 立	8	5	13
	一部介助	2	2	4
	全介助	13	11	24
立ち上がり	自 立	3	2	5
	一部介助	5	3	8
	全介助	15	13	28
排 泄	自 立	1	3	4
	一部介助	7	2	9
	全介助	15	13	28
更 衣	自 立	3	3	6
	一部介助	5	2	7
	全介助	15	13	28
入 浴	自 立	0	0	0
	一部介助	4	1	5
	全介助	19	17	36
歩 行	自 立	2	0	2
	一部介助	1	3	4
	全介助	20	15	35
寝返り	自 立	11	7	18
	一部介助	3	4	7
	全介助	9	7	16
車椅子使用	自 立	5	2	7
	一部介助	6	8	14
	全介助	9	6	15

生活動作	区分	男性	女性	全体	
夜間処遇	排便排尿	1回	2	1	3
		2回	5	7	12
		3回	5	4	9
		4回	4	1	5
		小計	16	13	29
	服 薬	1回	11	8	19
		2回	10	9	19
		3回	0	0	0
		小計	21	17	38
	体位変換	1回	1	0	1
		2回	0	0	0
		3回	0	2	2
		6回	0	1	1
小計		1	3	4	
おむつ使用	昼・夜	6	6	11	
	夜間のみ	2	6	8	

- ・食事⇒配膳された状態で、魚の骨取りも含む。
- ・排泄⇒排泄後の処置、女性は生理処理も含む。
- ・更衣⇒ホック等、着脱が行い易く改良した衣類を使用して。
- ・入浴⇒一部自立とは、浴槽の中に独力で入っていることが出来たり、洗体の一部が出来る事。

別表 (5-1) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 4 月～9 月

病名・他	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
定期処方									37	37	37	37	74	74
癲癇指導									13	13	13	13	26	26
女性診察									18	18	18	18	36	36
男性診察									22	22	22	22	44	44
上気道炎・咽頭炎									1	1	1	1	2	2
発熱・不明熱											1	1	1	1
アレルギー性結膜炎									1	1			1	1
喘息性気管支炎									1	2	1	2	2	4
脂質異常症									1	2	2	2	3	4
誤嚥											1	1	1	1
口内炎									1	1			1	1
てんかん									2	4	2	2	4	6
尿路感染症											2	2	2	2
(合計)									97	101	100	101	197	202

別表 (5-1) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 10 月～3 月

病名・他	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
定期処方	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	222	222
癲癇指導	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	78	78
女性診察	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	108	108
男性診察	22	22	22	22	22	22	22	22	23	23	23	23	134	134
上気道炎・咽頭炎	1	2	1	1			1	1			2	2	5	6
気管支炎							1	2					1	2
アレルギー性鼻炎									1	1	3	3	4	4
喘息性気管支炎									1	2			1	2
発熱・不明熱	1	1											1	1
蜂窩織炎									2	2			2	2
感冒性胃腸炎					1	2							1	2
アレルギー性結膜炎					1	1							1	1
尿路感染症	3	3	1	1	1	1	1	1					6	6
口内炎・口腔内アフタ	1	1									2	2	3	3
尿崩症	1	1											1	1
歯痛・歯肉炎			1	1	1	1							2	2
頭痛・片頭痛			1	1									1	1
てんかん	2	4	2	4			4	4	1	1	1	1	10	14
S 状結腸軸捻転	1	1							1	2			2	3
腸閉塞	1	1			1	1							2	2
脂質異常症	1	2	1	2	1	1	1	1					4	6
(合計)	102	106	97	100	96	97	98	99	97	99	99	99	589	600



別表（5-2） 平成26年度 疾病表 — 外来分（ゆうかり外来） 4月～9月

病名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
肩関節周囲炎									1	1	2	4	3	5
便秘症									1	2			1	2
角化症											2	2	2	2
白癬・湿疹・皮膚炎									4	4	11	13	15	17
接触性皮膚炎											1	1	1	1
皮膚カンジダ症											2	2	2	2
口唇ヘルペス											1	1	1	1
皮脂欠乏症									9	9	9	9	18	18
虫刺症											1	1	1	1
脂漏性湿疹・皮膚											6	6	6	6
不眠症									1	2	1	1	2	3
反応性精神病											1	1	1	1
(合 計)									16	18	37	41	53	59

別表（5-2） 平成26年度 疾病表 — 外来分（ゆうかり外来） 10月～3月

病名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
便秘症			1	1	1	1					1	1	3	3
蜂窩織炎					1	2							1	2
逆流性食道炎					1	1							1	1
排便障害			1	1									1	1
下顎関節脱臼											1	2	1	2
疼痛（上下肢）											2	2	2	2
角化症					1	1					1	1	2	2
打撲症	1	2											1	2
腰痛症					1	1							1	1
口唇咬傷							1	1					1	1
白癬・湿疹・皮膚炎			2	2	8	8			1	1	8	8	19	19
接触性皮膚炎					1	1					1	1	2	2
皮膚カンジダ症			1	1	2	2					2	2	5	5
皮脂欠乏症			5	5	8	8			7	7	7	7	27	27
脂漏性湿疹・皮膚炎					5	5					4	4	9	9
褥瘡											2	2	2	2
不眠症	1	2			1	2	1	2			1	1	4	7
フォンレックリング ハウゼン氏病			1	1									1	1
反応性精神病			1	1			1	2					2	3
躁うつ病			1	2									1	2
口唇ヘルペス							1	1					1	1
(合 計)	2	4	13	14	30	32	4	6	8	8	30	31	87	95

別表 (5-3) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 4 月~9 月

検査	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
健康診断検査 (採血・採尿)									7	7	6	6	13	13
ECG									2	2	3	3	5	5
胸部 X-P									2	2	3	3	5	5
EEG											1	1	1	1
抗癌薬剤の血中濃度測定											1	1	1	1
一般検尿											2	2	2	2
便潜血									2	2	3	3	5	5
臨時採血 (CBC, CRP, その他)									1	1	2	2	3	3
(合 計)									14	14	21	21	35	35

別表 (5-3) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 10 月~3 月

検査	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
健康診断検査 (採血・採尿)	7	7	7	7	6	6	3	3	8	8	5	5	36	36
ECG	4	4	3	3	4	4	2	2	5	5	2	2	20	20
胸部 X-P	4	4	3	3	4	4	2	2	5	5	5	5	23	23
EEG			1	1	1	1	1	1			1	1	4	4
一般検尿	3	5					3	3	5	5	5	5	16	18
便潜血	4	4	3	3	4	4	2	2	5	5	2	2	20	20
抗癌薬剤の血中濃度			7	7	7	7							14	14
臨時採血 (CBC, CRP, その他)	1	1			1	2							2	3
培養 (尿、咽頭、鼻腔、便)					1	1							1	1
ロタウイルス検査					1	1							1	1
アデノウイルス検査					1	1							1	1
ノロウイルス検査					1	1							1	1
入園時検査									1	1			1	1
(合 計)	23	25	24	24	31	32	13	13	29	29	20	20	140	143

別表 (5-4) 平成 26 年度 疾病表 — 入院分 (ゆうかり外来) 4 月～9 月

病院名	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		合 計	
	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数
ゆうかり・なかよし寮									0	0	0	0	0	0
ゆうかり・おひさま寮									0	0	0	0	0	0
(合 計)									0	0	0	0	0	0

別表 (5-4) 平成 26 年度 疾病表 — 入院分 (ゆうかり外来) 10 月～3 月

病院名	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数
ゆうかり・なかよし寮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゆうかり・おひさま寮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(合 計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

別表 (5-5) 平成 26 年度 疾病表 — 入院分 4 月～9 月

病院名	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		合 計	
	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数
久留米大学病院														
田主丸中央病院									2	20			2	20
たなか病院									1	30	1	9	2	39
(入院合計)									3	50	1	9	4	59

別表 (5-5) 平成 26 年度 疾病表 — 入院分 10 月～3 月

病院名	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数	人 数	入院 日数
久留米大学病院														
田主丸中央病院	1	12			3	21			1	19	2	31	7	83
(入院合計)	1	12			3	21			1	19	2	31	7	83

別表 (5-6) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 4 月~9 月

病院名	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
筑後吉井こころ									1	1			1	1
田主丸中央病院									2	2	5	5	7	7
(ゆうかり以外外来合計)									3	3	5	5	8	8

別表 (5-6) 平成 26 年度 疾病表 — 外来分 (ゆうかり外来) 10 月~3 月

病院名	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数	人 数	受 診 回 数
田主丸中央病院	2	2	2	2	8	9	2	3	4	4	6	7	24	27
古賀歯科					1	2					1	3	2	5
林田耳鼻咽喉科							2	14	3	5	1	1	6	20
くるめ病院	1	1											1	1
久大医療センター									1	1	1	1	2	2
(ゆうかり以外外来合計)	3	3	2	2	9	11	4	17	8	10	9	12	35	55

別表（5-7） 平成26年度 疾病表 — 外来分（ゆうかり外来） 4月～9月

月別 処置・他	4月		5月		6月		7月		8月		9月		合計	
	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数
皮膚科処置									31	333	31	368	62	701
包交処置													0	0
湿布貼付													0	0
洗腸									14	65	14	94	28	159
点鼻									1	31	1	30	2	61
点眼									2	62	2	60	4	122
血圧測定									6	53	6	52	12	105
排気									1	31	1	30	2	61
坐薬挿肛									5	82	4	86	9	168
点耳/処置									4	41	4	48	8	89
注腸									1	9	1	9	2	18
吸引											1	6	1	6
吸入									2	62	2	60	4	122
園内歯科											1	1	1	1
経鼻経管栄養													0	0
(合計)									67	769	68	844	135	1613

別表（5-7） 平成26年度 疾病表 — 外来分（ゆうかり外来） 10月～3月

月別 処置・他	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数	人数	受診回数
皮膚科処置	31	360	30	324	30	323	30	320	30	275	30	346	181	1948
包交処置					2	11	3	58	3	62	2	62	10	193
湿布貼付					1	1	1	1					2	2
洗腸	11	59	14	66	12	71	12	70	13	59	13	63	75	388
点鼻	1	31	1	30	1	31	1	31	1	28	1	31	6	182
点眼	2	62	2	60	2	62	2	62	2	56	2	62	12	364
血圧測定	6	53	6	51	6	54	6	52	6	48	6	54	36	312
園内歯科	1	2	1	1	3	5	3	3	4	15	5	17	17	43
坐薬挿肛	4	70	6	68	4	75	5	71	5	65	4	68	28	417
耳処置/点耳	5	50	4	51	5	53	4	40	6	51	5	36	29	281
排気	2	41	2	59	2	45	2	46	1	8	2	30	11	229
注腸	1	9	1	8	1	9	1	9	1	8	1	9	6	52
吸入	2	62	2	60	2	62	2	62	2	56	2	62	12	364
吸引													0	0
(合計)	66	799	69	778	71	802	72	825	74	731	73	840	425	4775

# 委員会報告

- 苦情解決委員会
- 安全管理委員会
- 防災対策委員会
- 院内感染対策委員会
- 広報委員会
- 療育会議運営委員会
- 福祉 QC 委員会

## 苦情解決委員会

### 《概況》

平成 26 年度苦情解決委員会は、施設ごとの定期委員会において、苦情・要望への対応・調整・解決等に取り組んだ。その取り組みを利用者様・保護者様とのコミュニケーションの機会あるいは職員のサービス内容・サービス提供のあり方等の修正・改善・点検の手掛かりとしても活用した。

法人委員会としては、療育会議において、年 2 回の外部講師による人権研修会、12 月の第三者委員への報告会、1 月に虐待防止研修会、3 月の職員報告会を行った。特に第三者委員への報告会においては、守秘義務に配慮した上で苦情・要望記入票等を事前に第三者委員へ送付し、吟味して頂いた上で報告会を開催した。

### 《苦情・要望件数》 ー平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日ー

	ゆうかり	耳納学園	千歳療護園
1. 職員の言動・対応等に対する苦情	0	0	2
2. 施設への要望・苦情	2	0	3
3. 外部よりの苦情	0	0	1
4. 保護者（後見人）よりの苦情・要望	7	1	0
5. 利用者から保護者への苦情	0	0	0
6. 利用者から利用者への苦情	0	1	0

### 《基本的取り組み内容及び状況》

法人各施設は利用者様の心身の状態、年齢、施設機能により、苦情・要望の訴え方、内容、件数に違いがあるが、取り組みの過程でそれぞれ継続した課題を有している。

ゆうかり医療療育センターでは、苦情を汲み上げる目的と園内後見人として権利侵害への気づきを啓発する意味で、権利擁護専門委員会が各寮で活動しているが、利用者様の虐待防止、権利擁護の意識の向上につながっている。苦情では、在宅児の入所に伴いケアが充分出来ていないことが出ており、見直すきっかけとなっている。課題としては、在宅児（コアラ園、外来）の保護者様の期待に施設がどれだけ応えることが出来るか、地域貢献という意味でも解決していかなければならない。今年度も虐待防止のための自己チェックを行い、福祉施設職員としての認識の向上に努めた。

千歳療護園では、昨年 8 月に引越し、千歳療護園と第二千歳療護園での事業展開となった。それに伴い、日課や行事の変更、設備、備品などで不具合な点での苦情や要望が挙がった。また、久留米市からの身体拘束（鍵がかかり、自身で自由に出られない部屋）の事案について、聴き取り後、改善計画案の回答書の指導があり、この件については真摯に受け止め速やかに回答書を提出している。現在身体拘束の廃止に向けた取り組みを継続している。

耳納学園では、在宅から施設入所となった利用者様より今までの生活との違いから様々な相談があった。利用者様の希望される生活の仕方をどれだけ施設の中で実現できるかなどを、根気よく話し合いながら、対応を続けている。また、利用者様への医療面の説明が足りなかったことにより、利用者様が不安になられてご家族に連絡をされ、保護者様より質問の電話があったが、速やかに対応し、理解が得られ

た。今後も、気軽に相談できるような窓口を確保し、問題解決だけでなく、精神的な不満の解消も図っていききたい。

## 安全管理委員会

### 《概況》

当委員会は、利用者様が安全で信頼に値する生活、または、良質な医療を受けられるよう環境を整え、利用者様本位のサービスの質の向上を重点課題とし、医療介護事故防止を図る事を目的とし、各施設において活動を行った。特に職員より提出されたアクシデント報告及びインシデント報告を基に、事故防止対策の具体的内容について検討し事故の再発、未然防止に努めた。千歳療護園においては、8月の移転にともない新しい環境のもと安全面の配慮を心掛けた。法人全体においては10月に看護師による安全管理啓発の為の研修会を実施。3月に職員への全体報告会を行った。

### 《具体的取り組みと事故発生状況》

#### [ゆうかり]

- \*今年度の目標を「誤薬0」とした。
- \*毎月の委員会開催にて職員の安全に対する意識をたかめた。
- \*7月・・・法人全体行事（盆踊り）において利用者様の移動時の安全面に充分注意するよう実行委員会を通じ職員へ周知徹底してもらった。

#### (事故報告件数)

転倒・・・18件	薬関係・・・25件	外傷・・・56件	
その他・・・134件			合計・・・233件

#### [千歳]

- \*8月に移転となり利用者様、職員とも新生活に当初は慣れず、戸惑う事が多々あったが、利用者様に対し旧千歳での生活をそのまま負担の無いように送って頂くよう職員全員が意識した。入浴場面でのアクシデントに対しては職員に意識を高めるよう厳重に注意し、また、入浴方法の改善を徹底した。誤薬に対しては移転後報告がなく、施設体系が千歳・第二千歳に分かれ、定員が減員した事により服薬に対しての確認が行ないやすくなった為か、このような結果になった。



(事故報告件数)

転倒・・・2件      転落・・・2件      加害・・・1件  
入浴時・・・3件      外傷・・・4件      合計・・・12件

[耳納]

\*利用者様及び職員に対して転倒事故防止への意識向上をはかった。利用者様が移転に伴う環境の変化にも慣れられた為か、昨年と比べ転倒事故が減少した。

(事故報告件数)

転倒・・・5件      熱傷・・・2件      針刺し・・・1件      合計・・・8件

## 防災対策委員会

《概況》

社会福祉施設においては、各種の災害時の際に特に配慮を要する利用者様が入所されており、その防災対策を確立することが強く要請されている中、当委員会ではより良い防災対策を確立することを目的に活動を行った。その中でも火災時の対策に重点をおき、各施設（耳納・千歳・ゆうかり）定期的に避難訓練を実施し、常日頃から職員及び利用者様の防災に対する意識向上を図った。本年度は8月に千歳療護園が移転して、ゆうかり学園施設内に新たに千歳療護園、第二千歳療護園の2施設が建てられた。敷地の拡大により防災意識を高めるとともに、災害時マニュアルの見直しを行っている。12月にはゆうかり学園総合夜間想定避難訓練を実施しており千歳療護園を出火想定として、浮羽消防署・久留米消防署善導寺出張所合同立ち会いによる総合訓練を行った。内容については、消火・避難訓練、消防車による放水訓練、消防署による千歳療護園からの負傷者（ダミー一人形使用）の救出訓練等を行っている。

毎年開催されている浮羽消防署管内の屋内消火栓・消火器操法大会にも出場しており、消火栓の部にゆうかり学園から3チーム、消火器の部に千歳療護園から1チームが出場し、消火栓の部に出場した1チームが5位入賞を果たしている

《避難訓練実施状況》

(耳納学園)

2回実施（内1回はゆうかり学園合同夜間想定総合避難訓練・・・12月）

(千歳療護園)

3回実施 (内1回はゆうかり学園合同夜間想定総合避難訓練・・・12月)

(ゆうかり)

ゆうかり学園合同夜間想定総合避難訓練・・・12月

毎月1回各寮別に実施。

## 院内感染対策委員会

### 《概況》

今年度は、インフルエンザウイルス A 型 15 名、ノロウイルス感染症 16 名、ロタウイルス感染症 1 名発症。昨年度は新築移転によりワンフロアから 4 人部屋と生活空間が変わり、感染症拡大は見られなかったが、今年度は三寮同時に発症、その原因は不明で、さらなる感染症対策の重要性を痛感した。

月	内 容
4 月	平成 26 年度年間計画について
5 月	風疹について 手洗いパトロール
6 月	腸管出血性大腸菌感染症 (O-157) について
7 月	ノロウイルス感染症について
8 月	針刺し・噛みつき事故による感染症について
9 月	アデノウイルス感染症について 環境パトロール
10 月	結核について
11 月	ESBL 産生菌について
12 月	ノロウイルス感染症について
1 月	インフルエンザ感染症対策・予防について
2 月	手足口病について
3 月	平成 26 年度感染症報告について 手洗いパトロール

開催日 毎月第 1 金曜日

開催時間 9 : 30 ~ 10 : 00

委員 所長他 17 名

- ◆ インフルエンザは、なかよし寮の学生を中心に感染拡大したと思われる。原因として通学用のバス内での感染も考えられる。発生状況をみながら全員に予防投与実施。流行時期には、登下校時できる限りマスク着用を促していく必要がある。
- ◆ ノロウイルス感染症は、三寮同時に発症し、原因不明、症状があっても1回目の検査では陰性、2回目の検査で陽性であった。症状を認める場合は厳重に感染症対応を徹底していくことが大事である。職員各自が不顕性感染の意識を持ち、感染拡大の怖さを十分に知り、手洗いの徹底を行うことが感染拡大防止に繋がることを痛感した。
- ◆ ESBL 産生菌の保菌者発生、看護・介護場面における対応を統一するため、マニュアルを作成する。

(手洗いパトロール)

手洗いパトロールと環境パトロールを実施。6月は新人職員を中心に行い、9月は環境パトロールを行う。手洗い場所の液体石鹸や手指消毒剤の設置、換気扇等環境整備の確認を行う。現場での看護、介助場面での手指消毒・手洗いは、職員一人ひとりの意識の差はまだ見られるが、引き続き委員会より手洗いの必要性を周知徹底していかなければならない。

#### 衛生管理の年間議事内容

月	内 容
4月	福祉施設と感染症：結核について
5月	福祉施設における結核予防対策
6月	夏に流行するウイルス感染症について
7月	夏型過敏性肺炎について
8月	最近の予防注射について
9月	呼吸器感染症シリーズ その1：百日咳
10月	呼吸器感染症シリーズ その2：マイコプラズマ
11月	呼吸器感染症シリーズ その3：肺炎クラミジア
12月	呼吸器感染症シリーズ その4：RSウイルス
1月	インフルエンザ感染症の合併症について
2月	インフルエンザ脳症について
3月	ヒトメタニューモウイルス感染症について

### 《概況》

広報委員会は、広報紙の発行とホームページの管理を担っている。

広報紙は6月1日（44号）、10月1日（45号）、2月1日（46号）の年間3回発行し、委員6名で構成した編集会議は、施設内LANを活用して年間3～4回にとどめ、締め切り内に発行することが出来た。

ホームページに関しては、インフォメーションなど手軽に更新できるようにリニューアルしているが、更新数が増えてこない現状である。

広報紙各号の内容および配布先や発行部数は、以下の通りである。

### [発行内容]

- 第44号（平成26年6月1日発行） 表紙…支援センターちとせの活動風景
  - ・ これからの障害者施策について…日野理事長
  - ・ こえだ物語 39（皆で楽しいことを！作業療法による集団活動の紹介）
  - ・ 今日の仲間 27（小学部、高等部計8名の入学者紹介）
  - ・ 施設だより（各施設・寮の行事紹介）、お知らせや善意のかずかず他
  - ・ 25年度事業報告、決算状況報告および26年度事業計画の報告記事
- 第45号（平成26年10月1日発行） 表紙…千歳療護園の落成式風景
  - ・ 千歳療護園の竣工記念記事…日野園長並びに利用者様や職員の声
  - ・ こえだ物語 40（タッチケア推進委員会の活動紹介）
  - ・ 今日の仲間 28（耳納学園、千歳・第二千歳療護園、なかよし寮の仲間）
  - ・ 施設だより（各施設・寮の行事紹介）
  - ・ ニュースやお知らせ、善意のかずかず、新人職員紹介他
- 第46号（平成27年2月1日発行） 表紙…コアラ園
  - ・ 新春インタビュー「年頭に当って」…日野博愛理事長
  - ・ こえだ物語 41（音楽療法士の活動紹介）
  - ・ 今日の仲間 29（おひさま寮、コアラ園、ともだち寮、第二千歳療護園の仲間）
  - ・ 施設だより（各施設・寮の行事紹介）
  - ・ ニュースやお知らせ、善意のかずかず、永年勤続表彰、新人職員紹介他

### [配布先および発行部数]

- ◎学園関係（利用者様及び園内各部署、賛助会員様等に配布…400部）
- ◎行政や地域、関連諸施設、学校などに配布（700部）
- ◎1回の発行部数は1,200部、年間発行部数は3,600部であった。

## 療育会議運営委員会

平成 26 年度は表の通り実施した。

8 月千歳療護園移転に伴い、療育会議の時間を 13:30～14:30 へ戻している。

今年度の人権問題（外部講師）については、講師の先生を橋津和寛様から西尾紀臣様へ変更し 9 月には『人と人とのつながりを求めて』サブタイトル～東日本大震災から 3 年 進む風化と排除～と題し自然災害を切り口に人権や差別等考えるものだった。2 月には『“いのちと幸せ” を考える』サブタイトル～人と人とのつながりを求めて～と題し、ゆうかり学園創始者の言葉「福祉の原点は心である」という言葉が印象深かったとの感想から本題に入り、新年早々世界に衝撃をあたえた連続テロと人権や講師のパッカー車乗車体験を通し「鏡は人の姿を映すが、ゴミは人の心を映す」「勉強しないと、あのおじさんのようになりますよ」と母子の会話などから人権を考え、人権とは『いのちと幸せ』につきる、という内容で実施している。

「虐待防止研修会」では、千歳療護園での行動障害のある利用者様への処遇が行政より身体拘束になっているとの指摘を受け、その改善に向けた取り組みの発表があった。

### (平成 26 年度) 療育会議実施 H26 年 4 月～H27 年 3 月

日付	会議名 (担当)	司会	記録	準備・片付	日付	会議名 (担当)	司会	記録	準備・片付
4/9	講義 (理事会)	K・M	K・T	訓練	10/8	安全管理研修会	S・U	K・F	おひさま 看護
4/23	各施設・寮				10/22	各施設・寮			
5/14	QC 発表会	K・T	R・N	ともだち 看護	11/12	感染症研修会	K・F	S・U	なかよし 育成
5/28	各施設・寮				11/26	各施設・寮			
6/11	QC 発表会	R・N	Y・O	なかよし 看護	12/10	感染症にて中止			千歳
6/25	各施設・寮				12/24	各施設・寮			
7/9	衛生管理研修会 (メンタルヘルス)	Y・O	G・K	おひさま 育成	1/14	虐待防止研修会	Y・S	Y・M	第二千歳
7/23	盆踊り準備				1/28	各施設・寮			
8/13	お盆休み			耳納 給食	2/11	休み (建国記念の日)			訓練
8/27	予備日				2/25	外部講師 (人権問題)	Y・F	H・I	
9/10	外部講師 (人権問題)	G・K	Y・M	ともだち 育成	3/11	報告会 (苦情解決・ 安全管理・感染症委員会)	H・I	K・F	ともだち 看護
9/24	各施設・寮				3/25	各施設・寮			

※ 第 2 週目にできなかった場合、第 4 週目に変更することがある。

## 福祉QC委員会

昨年度まで、ゆうかり医療療育センターの三寮は看護介護課・育成部・訓練部が合同でQC活動を行ってきたが、今年度より看護介護課・育成部・訓練部三寮それぞれの部署でQC活動を実施した。

QC委員より、「今までよりしっかり人数が集まり取組やすい。」「同じ部署内のメンバーなので、やりやすい。」との意見が出されていたと報告があった。又、現状では、三寮それぞれの活動の進捗状況などを確認する事が難しいので、看護介護課・育成部よりQC担当者を選出、QC委員と連絡を取り合いながら活動を実施して行く事を話あった。千歳療護園も二つの施設になったのでQC委員を1名増員。次年度からはQC委員1名とQC担当者5名が増え計14名で活動サークルへの支援を行いたい。今回も「福祉QC」全国大会に2チームが出場し、給食部「なでしこ給食隊」が敢闘賞を受賞した。

### 第25回「福祉QC」全国発表大会出場サークルについて

平成26年11月18日～11月19日（東京にて開催）

（平成25年度優秀チーム2組が出場）

- ・ ゆうかり医療療育センター なかよし寮 「山から里へ」  
テーマ「車いす乗車時間を減らそう」  
行徳豊仁・花田正剛
- ・ 給食部 「なでしこ給食隊」  
テーマ「より良い幼児食にするためには」  
伊東奈津美・山海友紀

26年度 活動サークル

所 属	サークル名	テーマ
おひさま寮 看護・介護	久留米マキジョーズ	よりよい生活空間づくりを目指して - 排泄編 -
なかよし寮 看護・介護	快潔セブン	さあ！トイレに行こう - 排泄介助の見直し -
ともだち寮 看護・介護	S ガールズ	短期利用者様の情報をスムーズに把握 出来るようにしよう！
おひさま寮 育成	さんさんクラブ	さんぽに行こう
なかよし寮 育成	あるある探検隊	おロスッキリ！！ - 残渣物をなくそう -
ともだち寮 訓練	ともだちたびだち	屋外にでかけよう
コアラ園	コアリズム	リトミックを楽しもう
外来・医療	リベンジ隊	医療廃棄物を正しく分別して出そう